

小都市
子ども・子育て支援等に関する調査
結果報告書

令和7年3月

小都市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施要領	3
3. 調査結果利用上の注意.....	3
第2章 調査結果.....	5
1. お子さんのご家族の状況について.....	7
2. お子さんを育む環境について.....	11
3. 保護者の就労状況について	20
4. 平日の定期的（月単位）な教育・保育事業等の利用状況等について.....	28
5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について....	36
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	41
7. 病気の際の対応について	45
8. 「不定期」の預かりなどの利用について.....	52
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	59
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	71
11. ヤングケアラーについて.....	76
12. これからの子ども・子育て支援全般について	77

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和7年度を開始年度とする「小郡市こども計画」策定に向け、子どもや子育て世帯等の生活実態や動向、既存データでは把握困難な潜在的なニーズ等を把握・分析し、計画の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の実施要領

調査時期	令和7年1月
調査対象者	小郡市在住の未就学児・就学児の保護者
調査方法	郵送による配布・回収 インターネット調査

	未就学児の保護者	就学児の保護者
配布数	1,200件	3,000件
有効回収数	600件	1,262件
有効回答率	50.0%	42.1%

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

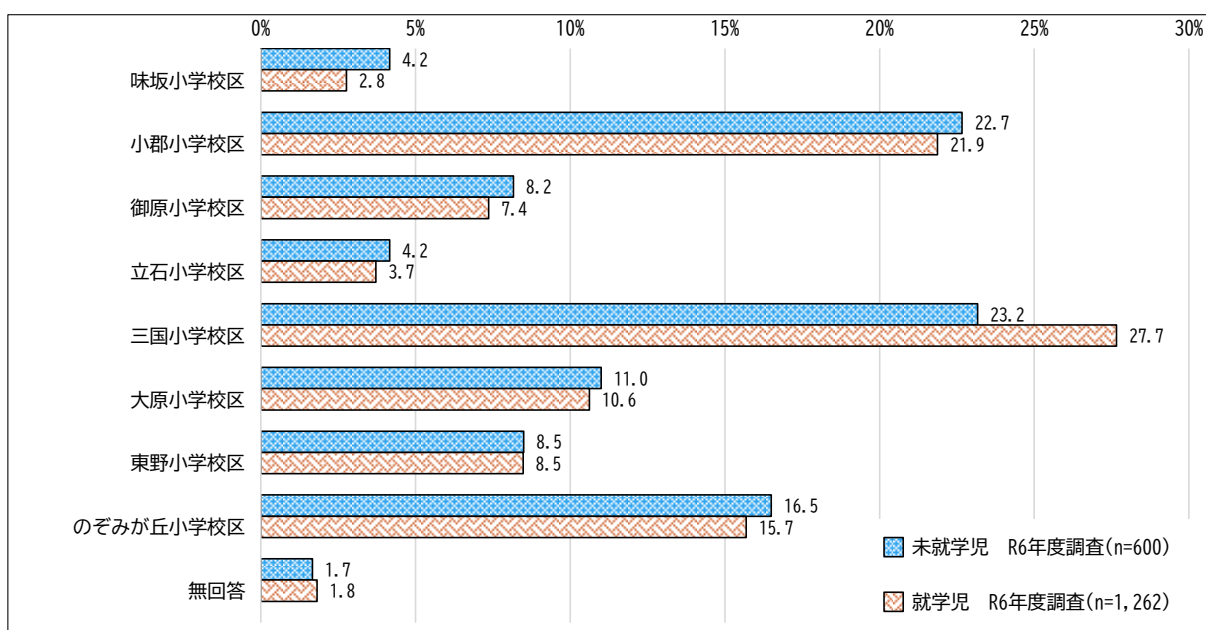
第2章 調査結果

調査結果については、未就学児保護者向け調査票の問番号の順に記載しており、その中に就学児保護者向け調査にある同一設問の結果を併記しています。就学児保護者向け調査のみの設問については、別途記載をしています。

1. お子さんご家族の状況について

問1 どちらの地域にお住まいですか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「三國小学校区」(未就学児：23.2%、就学児：27.7%)が最も高く、次いで「小郡小学校区」(未就学児：22.7%、就学児：21.9%)、「のぞみが丘小学校区」(未就学児：16.5%、就学児：15.7%)となっています。



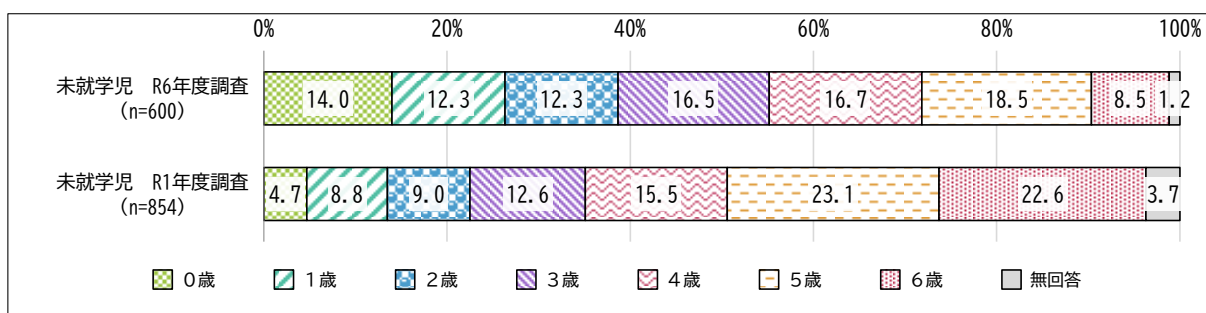
問2 調査対象のお子さんの生年月をご記入ください。

○未就学児の年齢については、「5歳」が18.5%と最も高く、次いで「4歳」16.7%、「3歳」16.5%となっています。

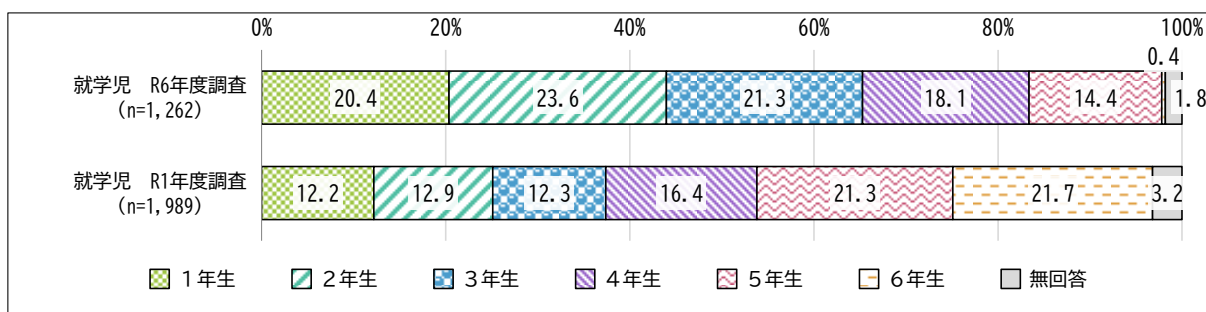
○就学児の学年については、「2年生」が23.6%と最も高く、次いで「3年生」21.3%、「1年生」20.4%となっています。

○前回調査との比較をみると、未就学児では「6歳」が14.1ポイント低くなっています。就学児では「2年生」が高く、「6年生」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

【お子さんの年齢：未就学児】



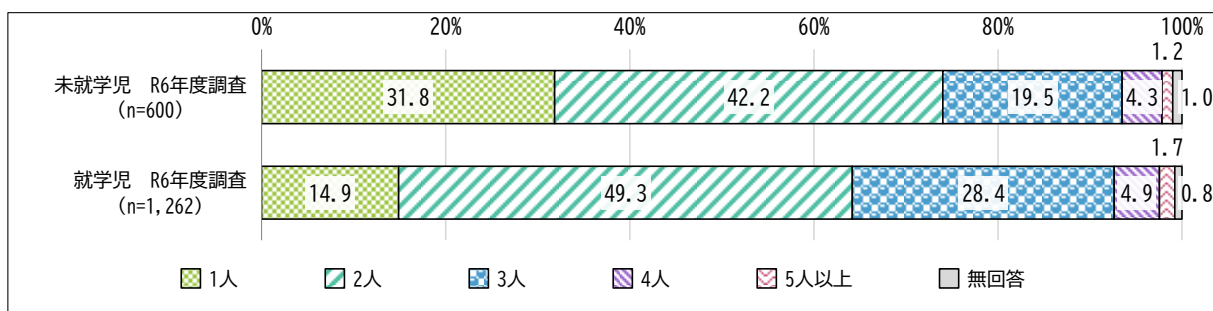
【お子さんの学年：就学児】



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

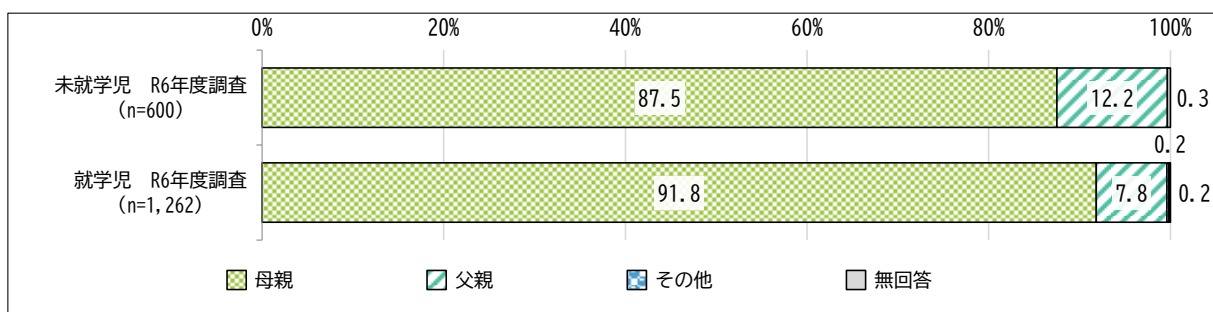
○未就学児では「2人」が42.2%と最も高く、次いで「1人」31.8%、「3人」19.5%となっています。

○就学児では「2人」が49.3%と最も高く、次いで「3人」28.4%、「1人」14.9%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(単数回答)

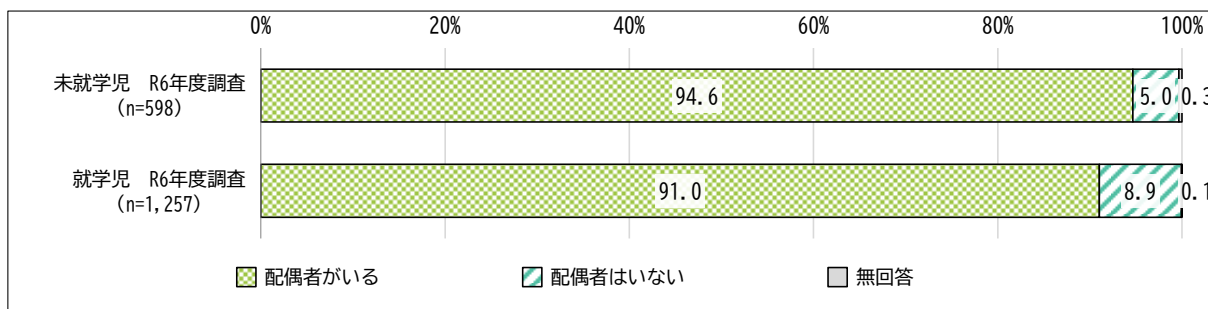
○未就学児及び就学児ともに「母親」(未就学児：87.5%、就学児：91.8%)が9割程となっており、「父親」(未就学児：12.2%、就学児：7.8%)は1割程度となっています。



問4で「1」または「2」を回答した方のみ

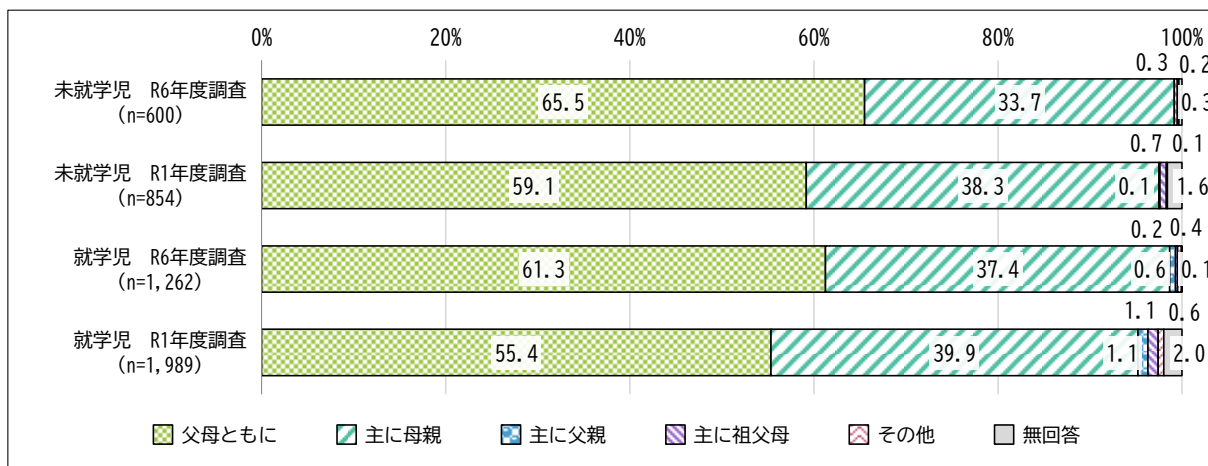
問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「配偶者がいる」(未就学児：94.6%、就学児：91.0%)が9割を超えています。



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのは、お子さんから見た関係でどなたですか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「父母ともに」(未就学児：65.5%、就学児：61.3%)が最も高く、次いで「主に母親」(未就学児：33.7%、就学児：37.4%)となっています。



2. お子さんを育む環境について

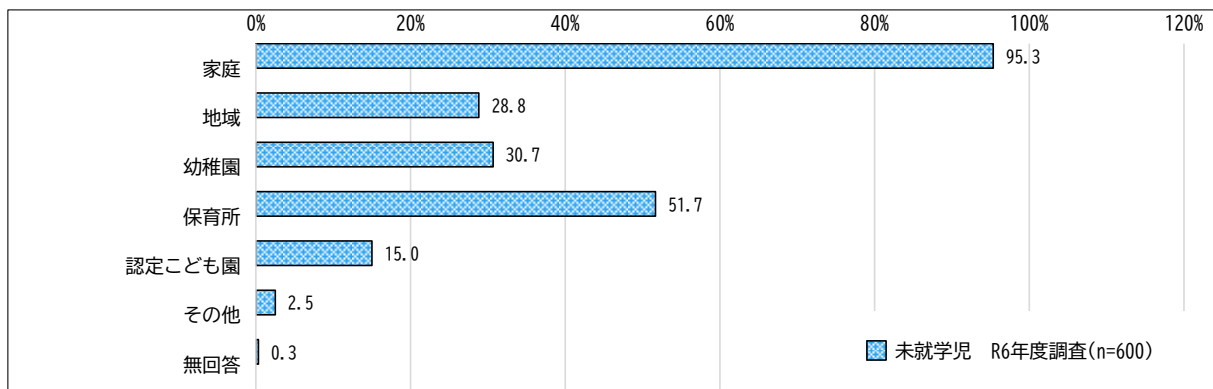
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思う環境はどこですか。（複数回答）

○未就学児では「家庭」が95.3%と最も高く、次いで「保育所」51.7%、「幼稚園」30.7%となっています。

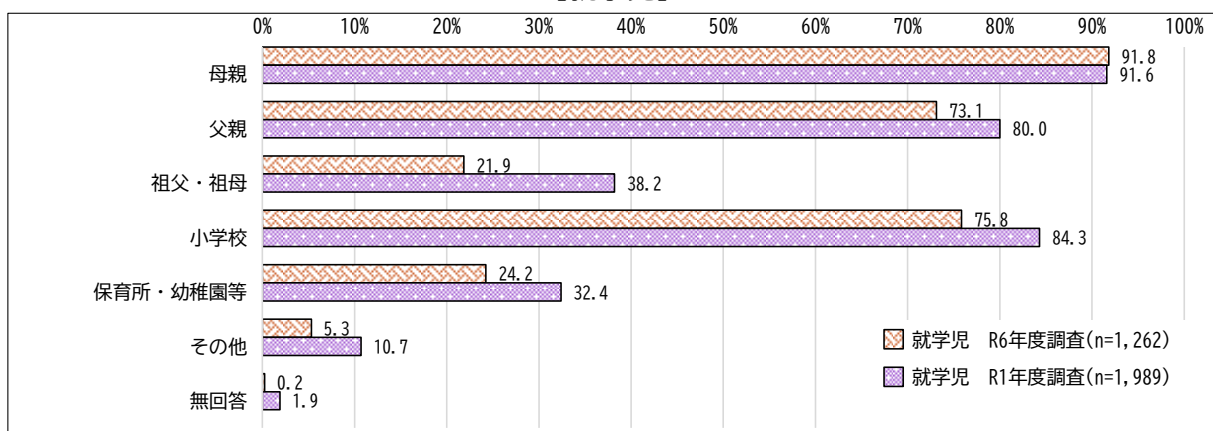
○就学児では「母親」が91.8%と最も高く、次いで「小学校」75.8%、「父親」73.1%となっています。

○前回調査との比較をみると、就学児では「祖父・祖母」が16.3ポイント低くなっています。

【未就学児】

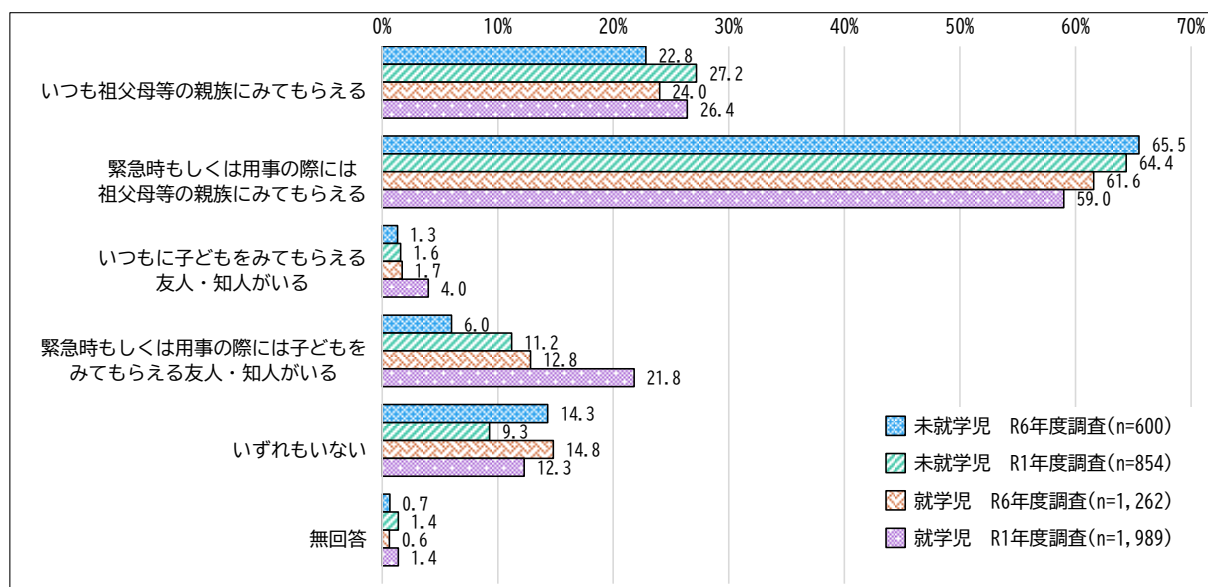


【就学児】



問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

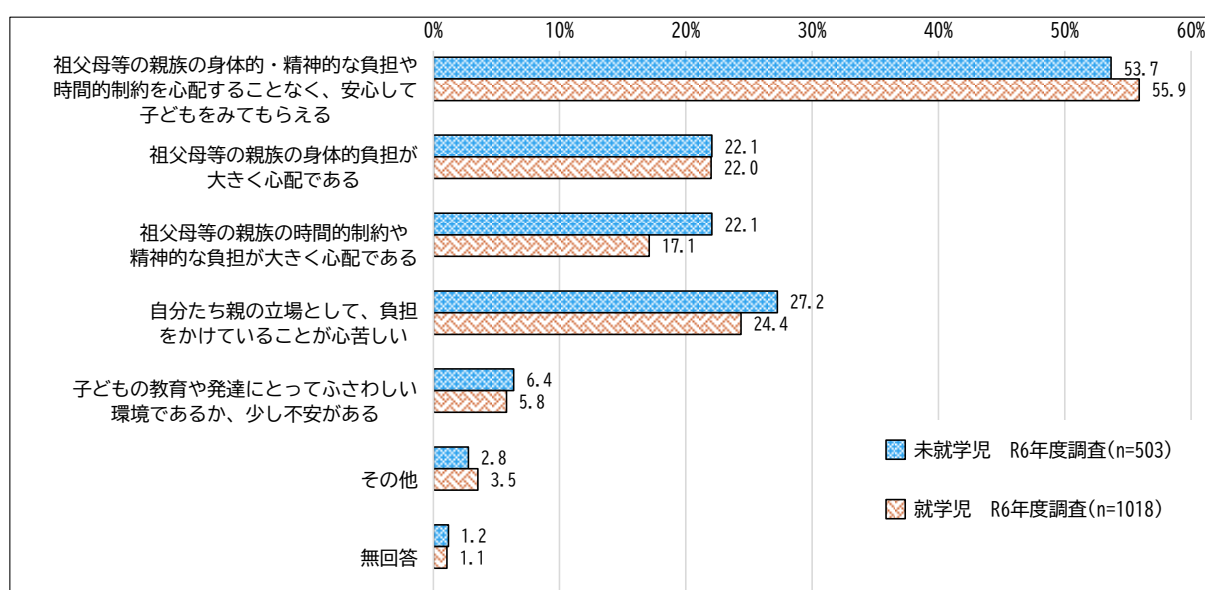
○未就学児及び就学児ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(未就学児：65.5%、就学児：61.6%)が最も高く、次いで「いつも祖父母等の親族にみてもらえる」(未就学児：22.8%、就学児：24.0%)となっています。



問8で「1」または「2」を回答した方のみ

問8－1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

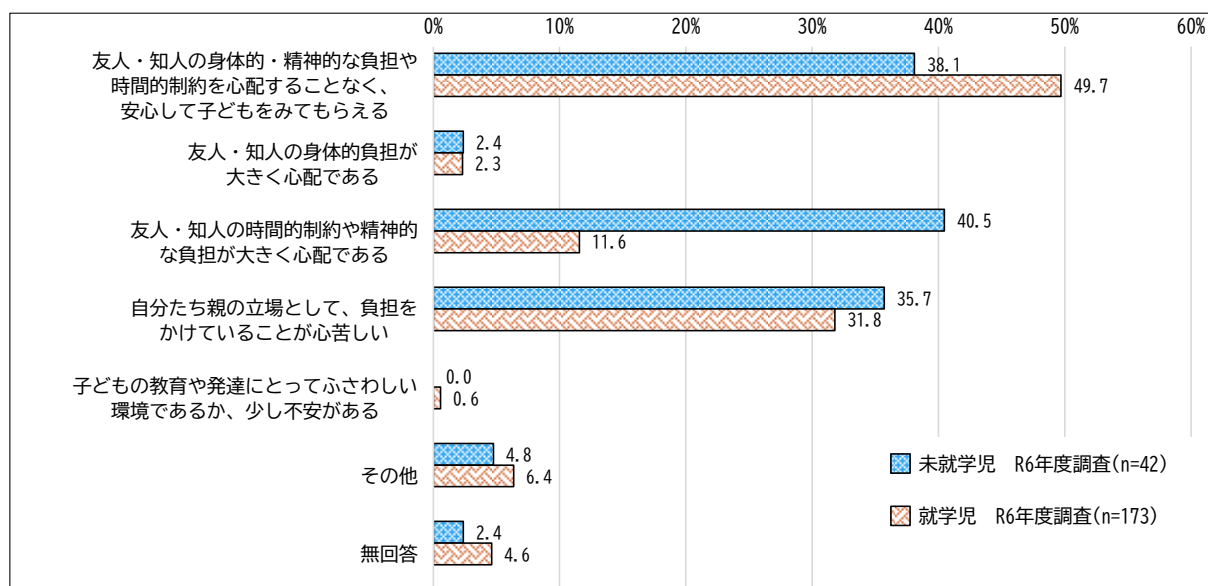
○未就学児及び就学児ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(未就学児：53.7%、就学児：55.9%)が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(未就学児：27.2%、就学児：24.4%)となっています。



問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

○未就学児では「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が40.5%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」38.1%となっています。

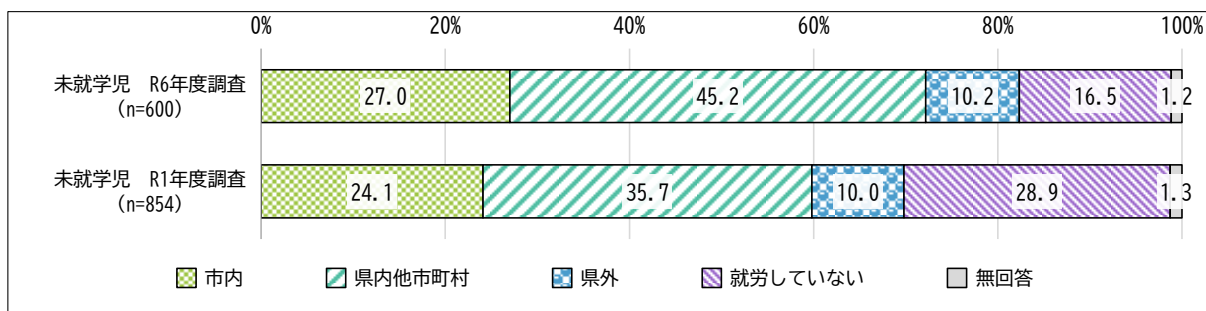
○就学児では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が49.7%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」31.8%となっています。



問9 あなたの勤務先の所在地はどこですか。(単数回答)

○「県内他市町村」が45.2%と最も高く、次いで「市内」27.0%、「就労していない」16.5%となっています。

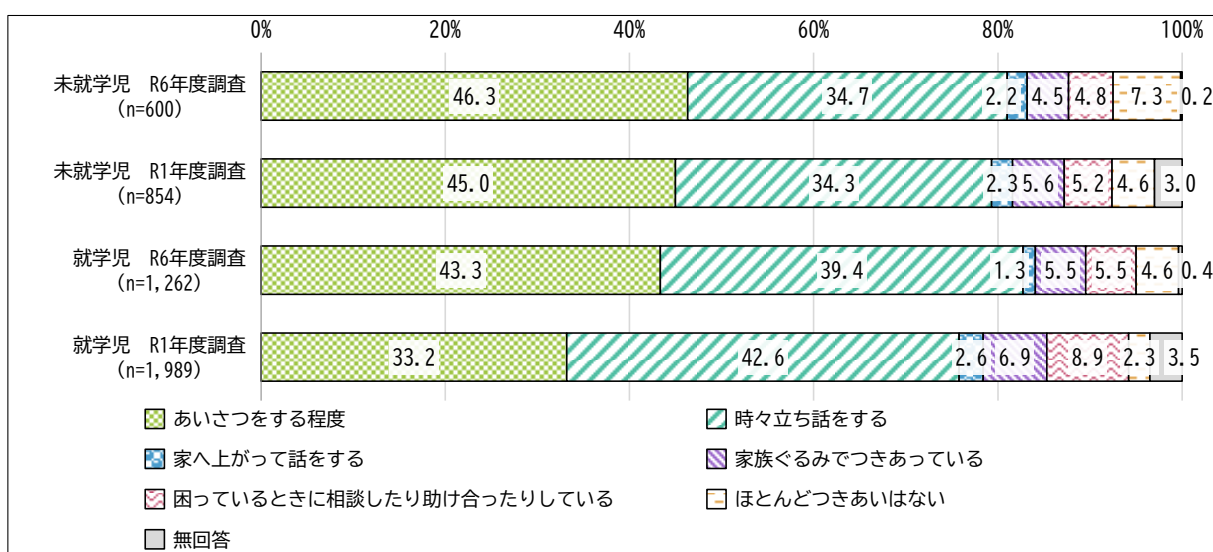
○前回調査との比較をみると、「就労していない」が12.4ポイント低くなっています。



問10 近所や地域の人とのつきあいはどの程度ですか。(単数回答)

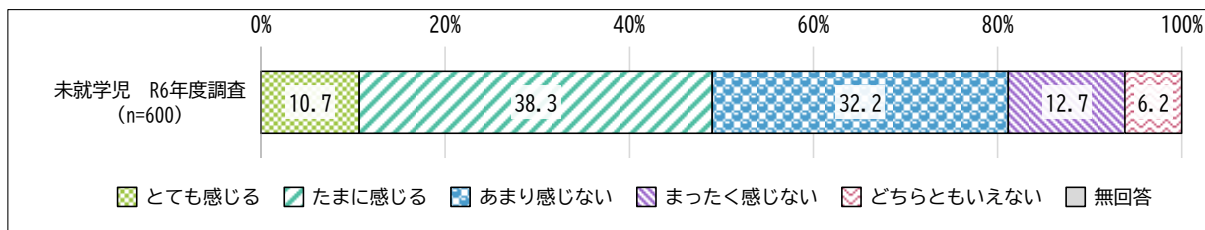
○未就学児及び就学児ともに「あいさつをする程度」(未就学児：46.3%、就学児：43.3%)が最も高く、次いで「時々立ち話をする」(未就学児：34.7%、就学児：39.4%)となっています。

○前回調査との比較をみると、就学児では「あいさつをする程度」が10.1ポイント高くなっています。



問11 あなたは子育てをしていて、地域の人とのかかわりにより、支えられていると感じますか。(単数回答)

○「たまに感じる」が38.3%と最も高く、次いで「あまり感じない」32.2%、「まったく感じない」12.7%となっています。

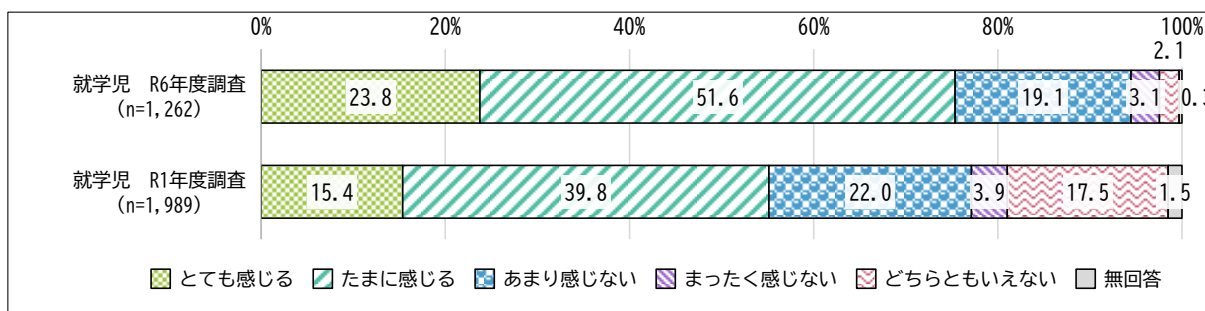


(就学児向け調査のみ)

■ あなたは、地域内の大人からの声かけや、登下校の見守りなど、子どもが地域に見守られていると感じますか。(単数回答)

○「たまに感じる」が51.6%と最も高く、次いで「とても感じる」23.8%、「あまり感じない」19.1%となっています。

○前回調査との比較をみると、「たまに感じる」が高く、「どちらともいえない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(就学児向け調査のみ)

■ 地域で行われている子育てサークルや学びの講座などの交流の場についてうかがいます。(単数回答)

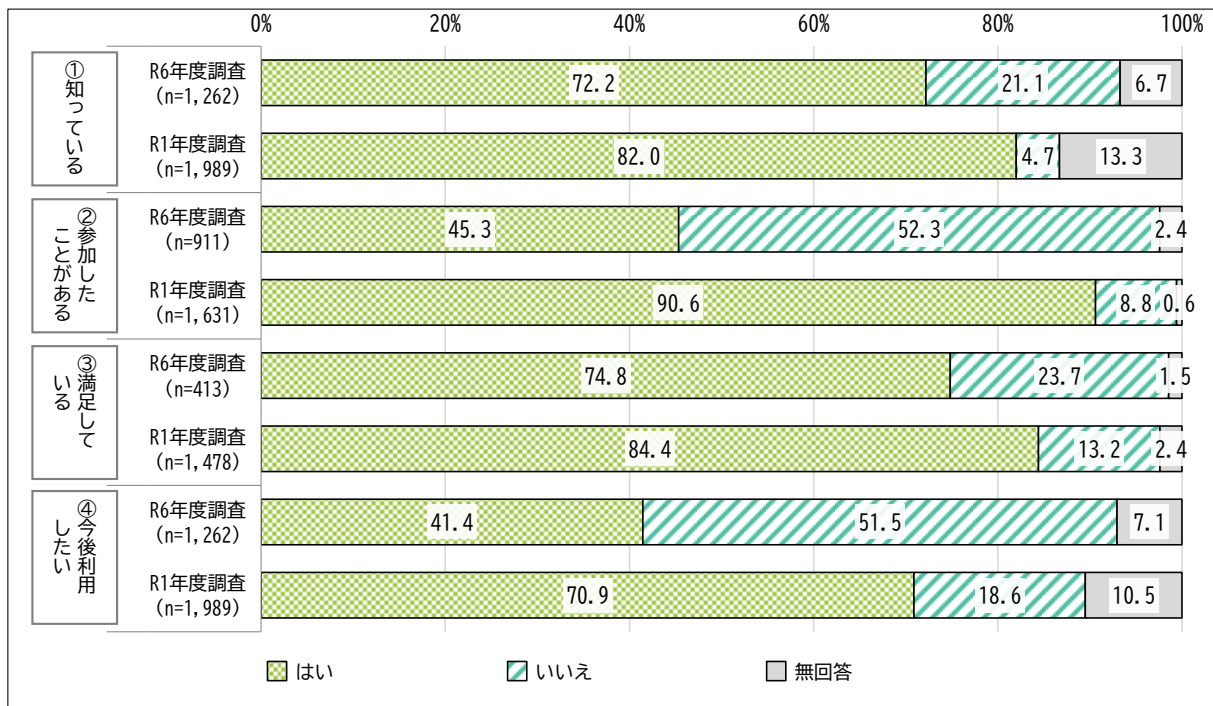
○認知度については、「知っている」が72.2%、「知らない」が21.1%となっています。

○参加経験については、「参加したことがある」が45.3%、「参加したことがない」が52.3%となっています。

○満足度については、「満足している」が74.8%、「満足していない」が23.7%となっています。

○今後の利用意向については、「今後利用したい」が41.4%、「今後利用したくない」が51.5%となっています。

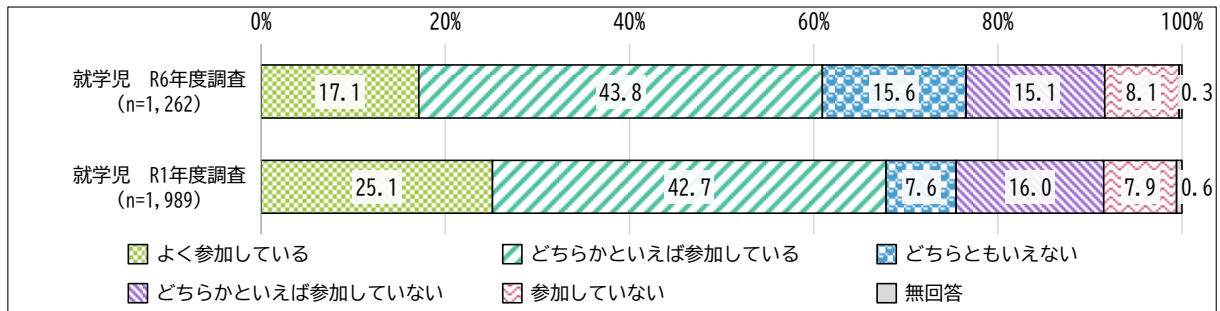
○前回調査との比較をみると、「知らない」、「参加したことがない」、「満足していない」「今後利用したくない」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。



(就学児向け調査のみ)

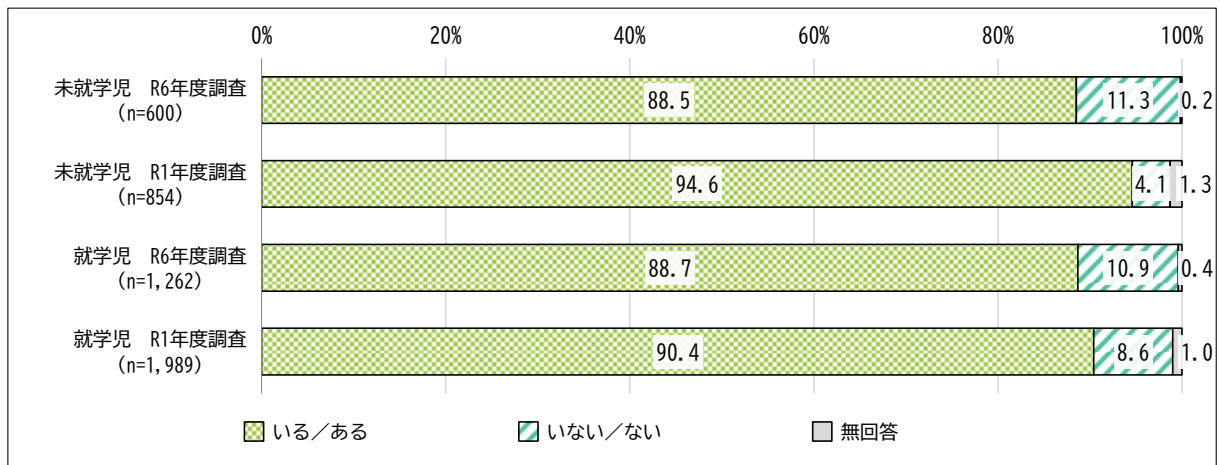
■ お子さんは今住んでいる地域の行事に参加していますか。(単数回答)

○「どちらかといえば参加している」が43.8%と最も高く、次いで「よく参加している」17.1%、「どちらともいえない」15.6%となっています。



問12 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに約9割が「いる／ある」(未就学児：88.5%、就学児：88.7%)と回答しており、「いない／ない」(未就学児：11.3%、就学児：10.9%)は1割程度となっています。



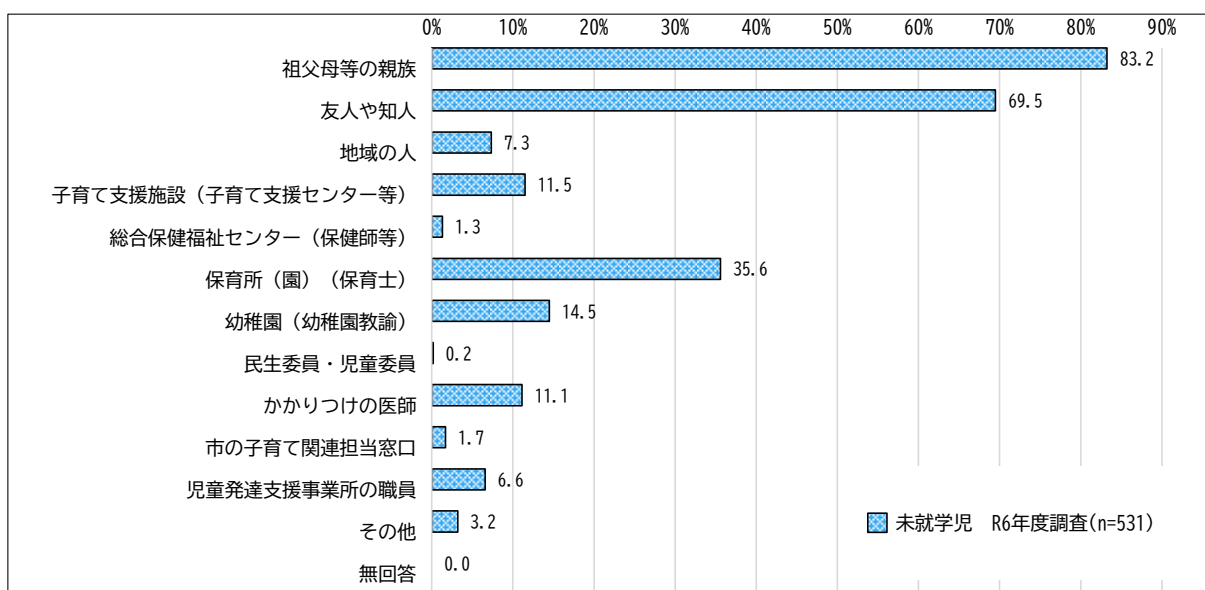
問12で「1. いる/ある」を回答した方のみ

問12—1 相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

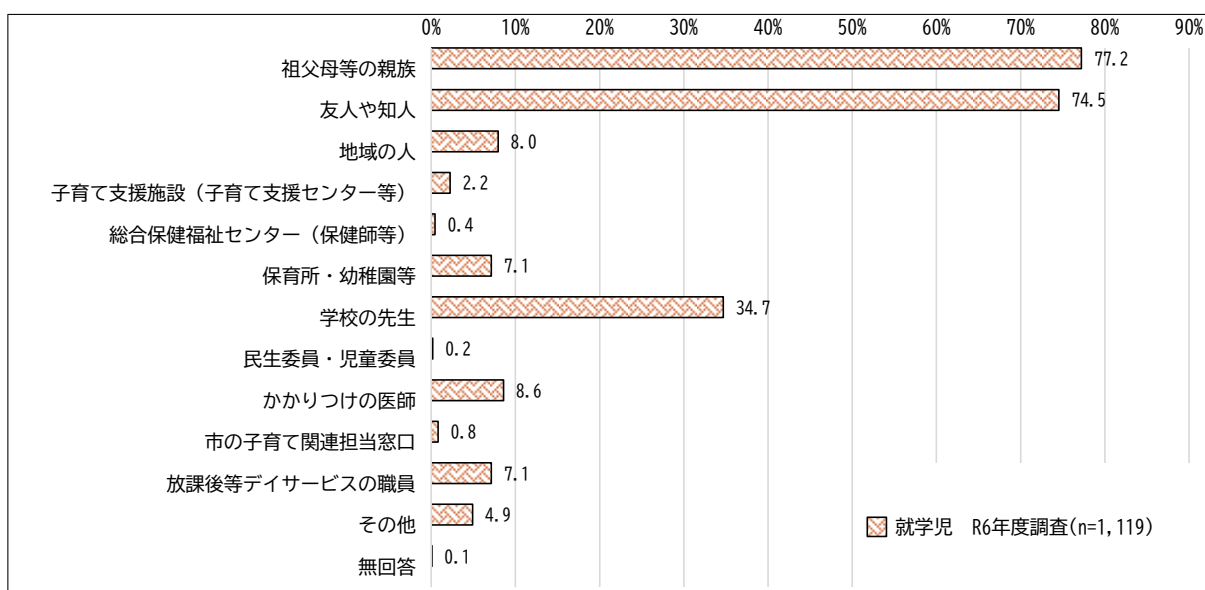
○未就学児では「祖父母等の親族」が83.2%と最も高く、次いで「友人や知人」69.5%、「保育所（園）（保育士）」35.6%となっています。

○就学児では「祖父母等の親族」が77.2%と最も高く、次いで「友人や知人」74.5%、「学校の先生」34.7%となっています。

【未就学児】



【就学児】



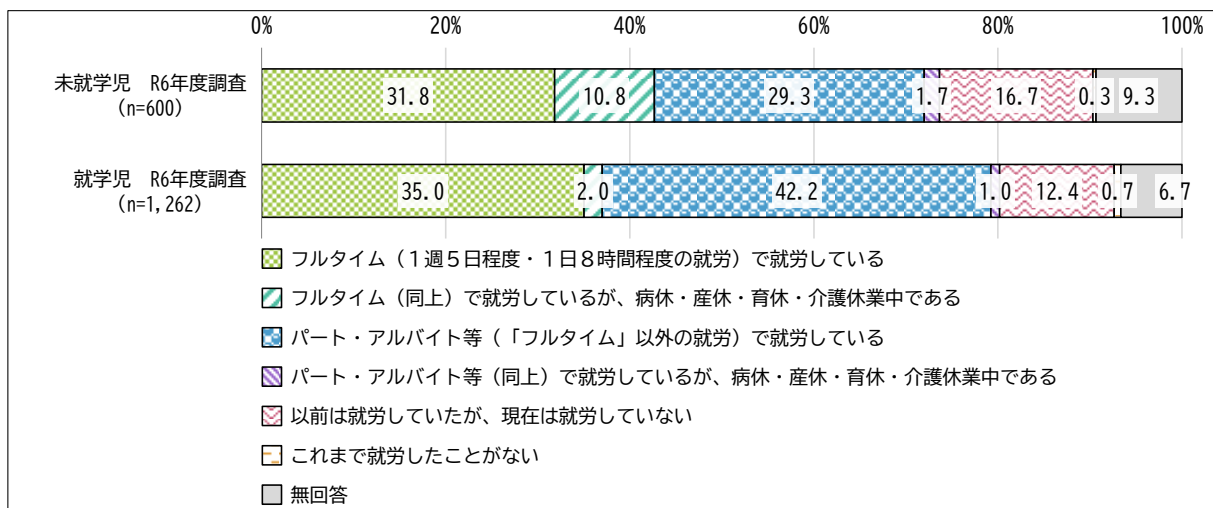
3. 保護者の就労状況について

問13 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（単数回答）

《母親》

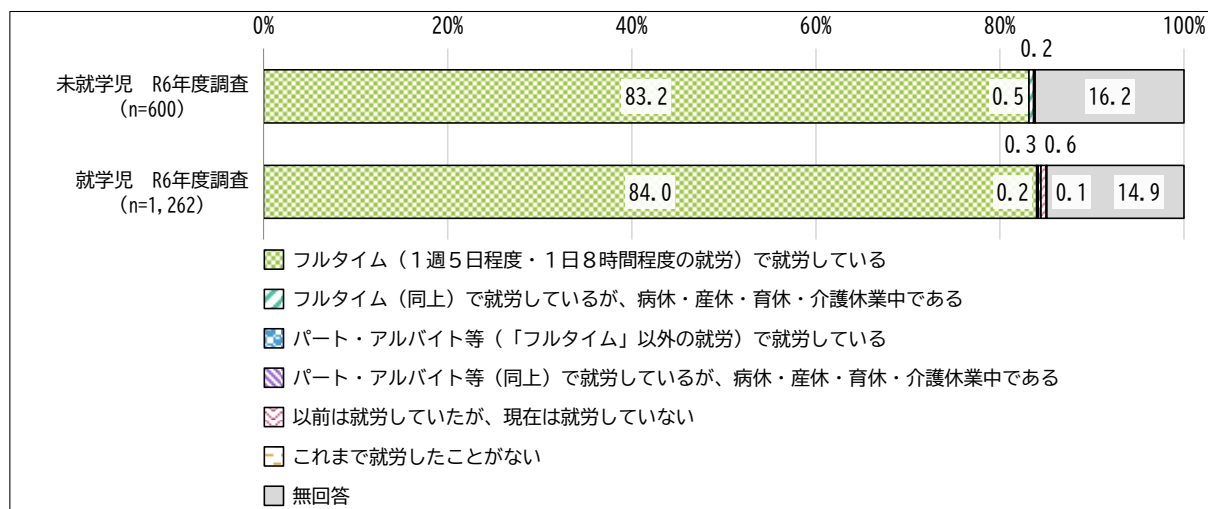
○未就学児では「フルタイムで就労している」が31.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」29.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」16.7%となっています。

○就学児では「パート・アルバイト等で就労している」が42.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労している」35.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」12.4%となっています。



《父親》

○未就学児及び就学児ともに「フルタイムで就労している」（未就学児：83.2%、就学児：84.0%）が最も高く、8割を超えています。



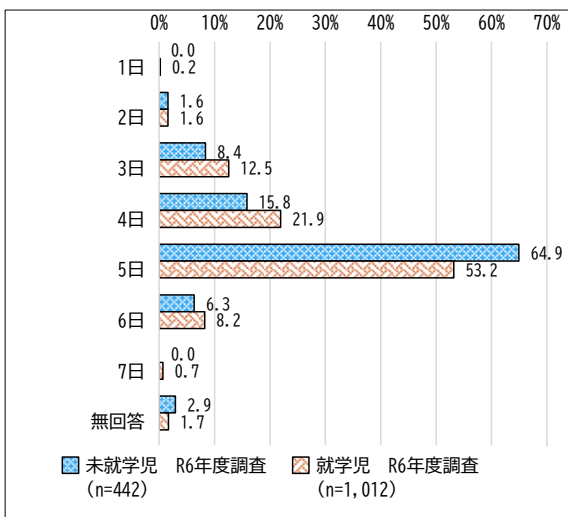
問13-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、
おおよその家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

《母親》

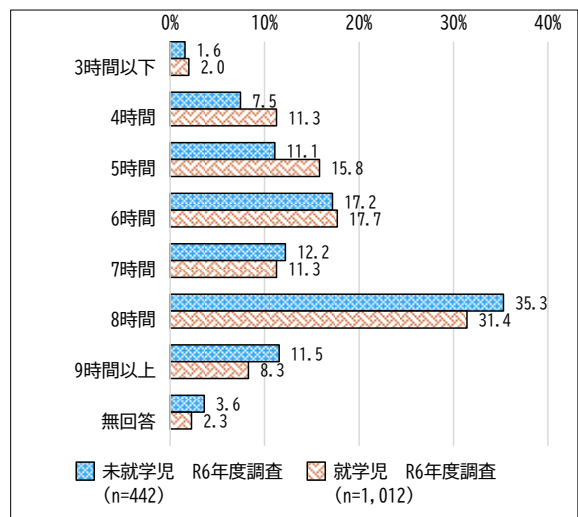
○1週当たりの就労日数では、未就学児及び就学児ともに「5日」(未就学児：64.9%、就学児：53.2%)、1日当たりの就労時間では、「8時間」(未就学児：35.3%、就学児：31.4%)が最も高くなっています。

○未就学児及び就学児ともに、家を出る時刻では「8時台」(未就学児：52.0%、就学児：57.0%)、帰宅時刻では「18時台」(未就学児：34.4%、就学児：29.0%)が最も高くなっています。

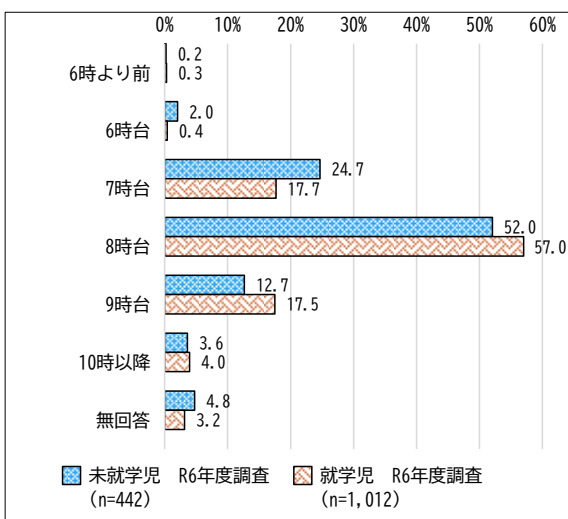
【週当たりの就労日数】



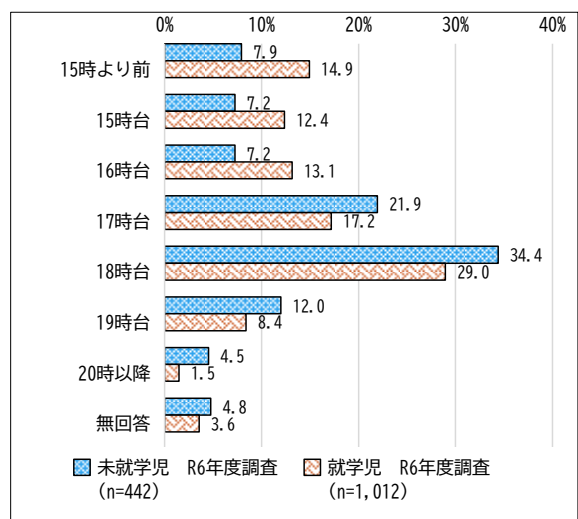
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時刻】



【帰宅時刻】

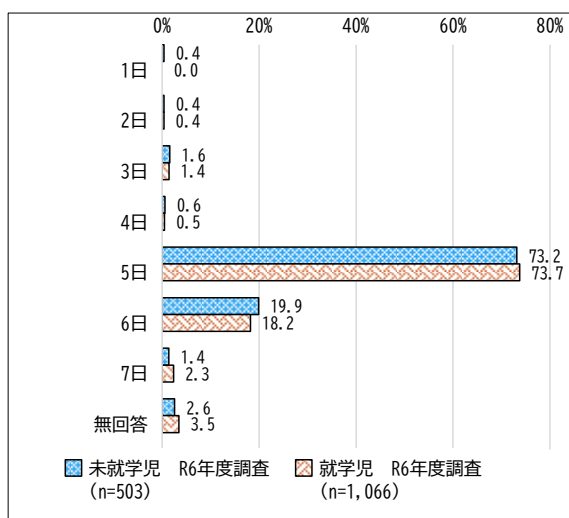


《父親》

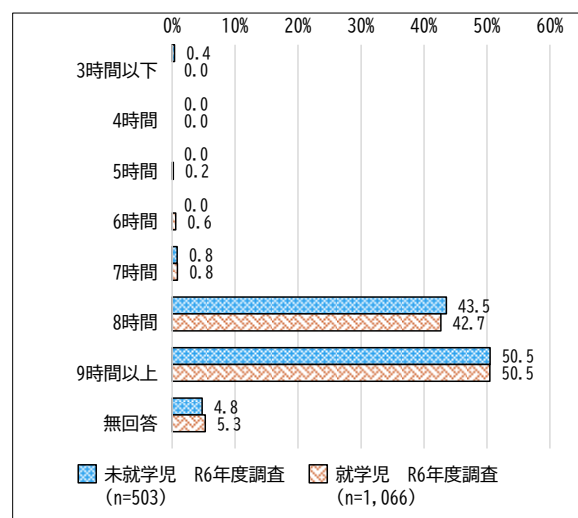
○1週当たりの就労日数では、未就学児及び就学児ともに「5日」（未就学児：73.2%、就学児：73.7%）が最も高く、約7割となっており、1日当たりの就労時間では、「8時間」及び「9時間以上」が4割を超えています。

○未就学児及び就学児ともに、家を出る時刻では「7時台」（未就学児：48.5%、就学児：47.4%）、帰宅時刻では「20時以降」（未就学児：40.0%、就学児：41.8%）が最も高くなっています。

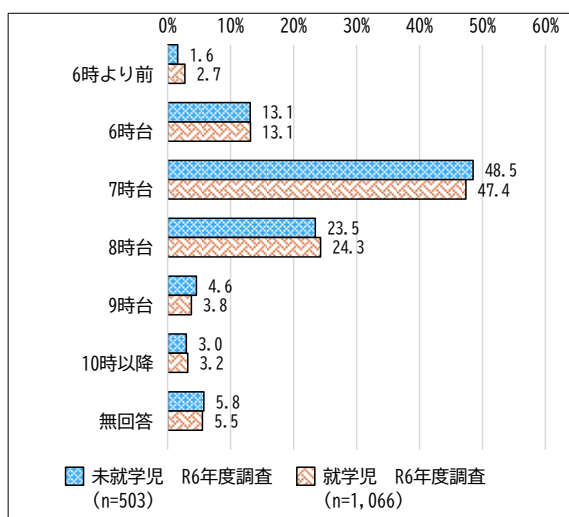
【週当たりの就労日数】



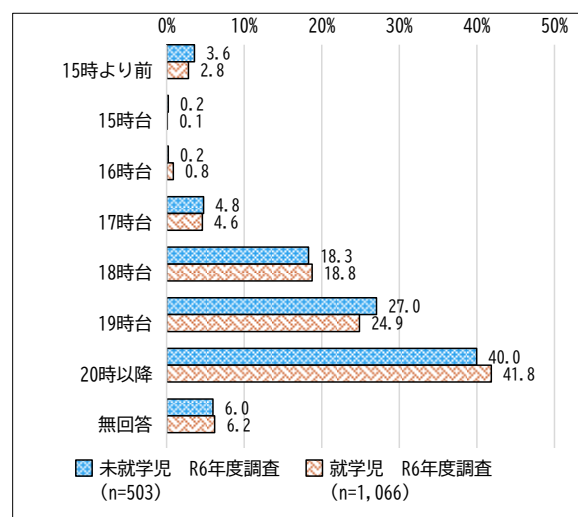
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時刻】



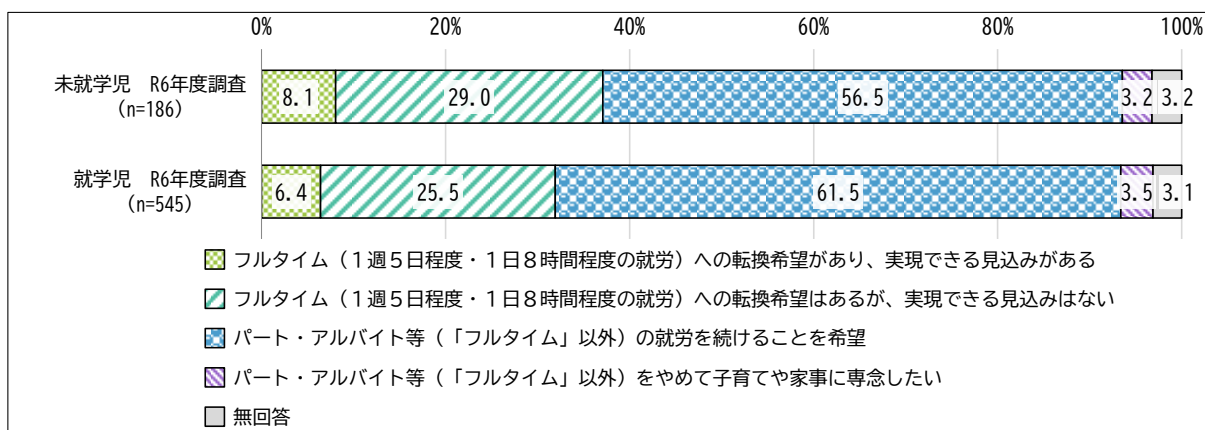
【帰宅時刻】



問14 フルタイムへの転換希望はありますか。（単数回答）

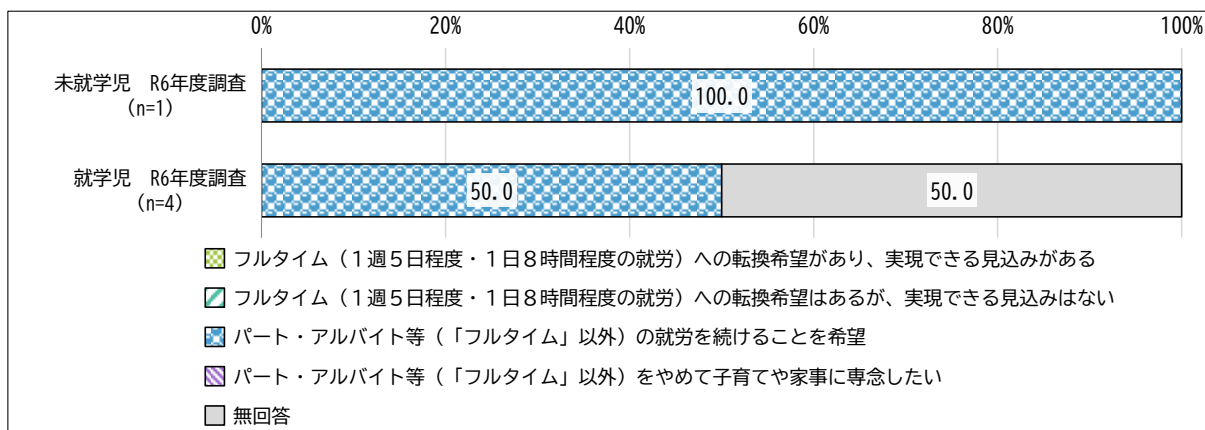
《母親》

○未就学児及び就学児ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（未就学児：56.5%、就学児：61.5%）が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（未就学児：29.0%、就学児：25.5%）となっています。



《父親》

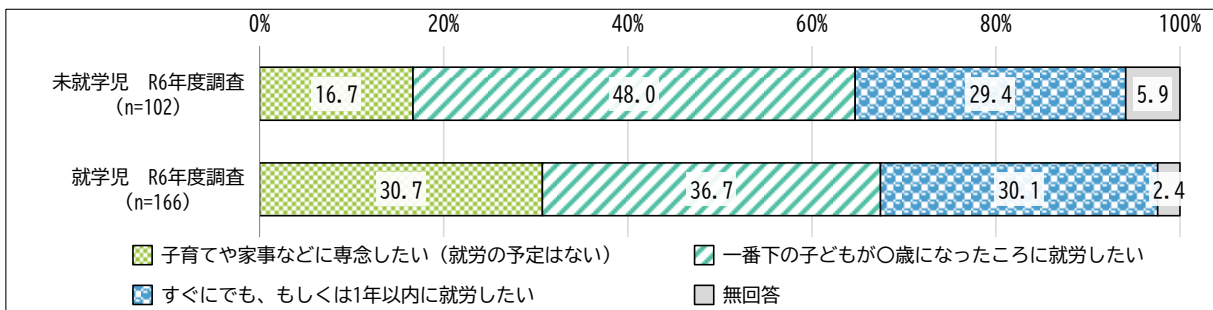
○父親のフルタイムへの転換希望については、サンプル数が少ないため参考程度。



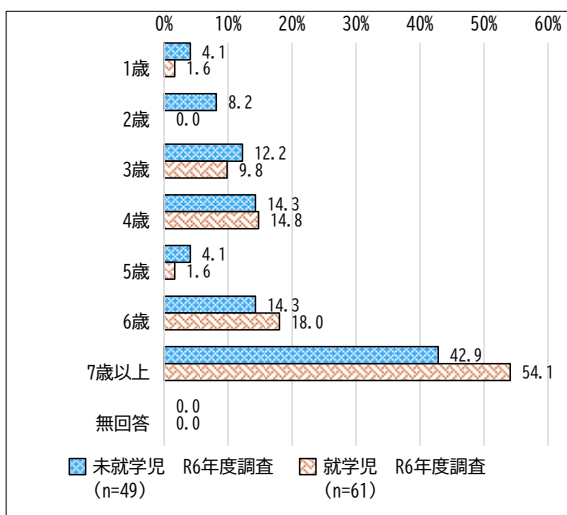
問15 就労したいという希望はありますか。

《母親》

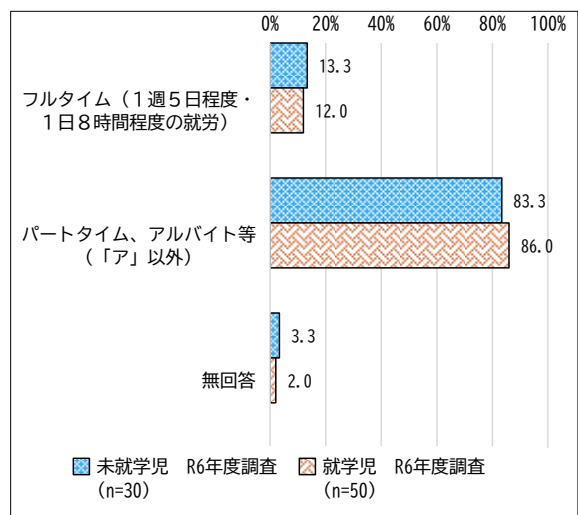
- 未就学児では「一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が48.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」29.4%となっています。
- 就学児では「一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が36.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」30.7%となっています。
- 就労希望時の一番下の子どもの年齢について、未就学児及び就学児ともに「7歳以上」(未就学児：42.9%、就学児：54.1%)が最も高くなっています。
- 希望する就労形態では、未就学児及び就学児ともに「パートタイム、アルバイト等」(未就学児：83.3%、就学児：86.0%)が8割を超えています。
- 希望する週当たりの勤務日数では、未就学児及び就学児ともに「3日」(未就学児：52.0%、就学児：46.5%)が最も高くなっています。
- 希望する1日当たりの勤務時間では、未就学児及び就学児ともに「5時間」(未就学児：40.0%、就学児：62.8%)が最も高くなっています。



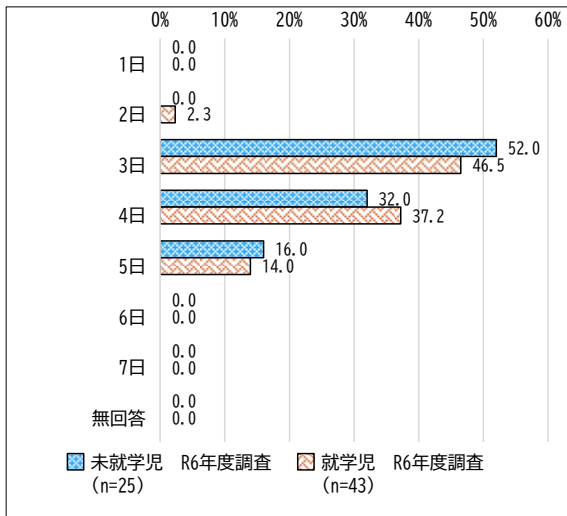
【〇歳になった頃に就労したい】



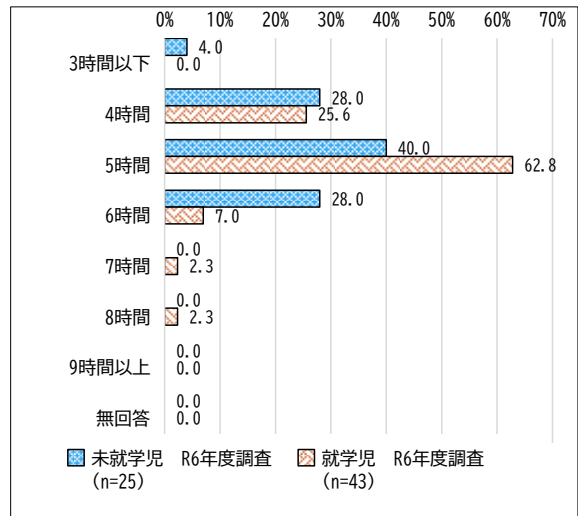
【希望する就労形態】



【希望する週当たり勤務日数】

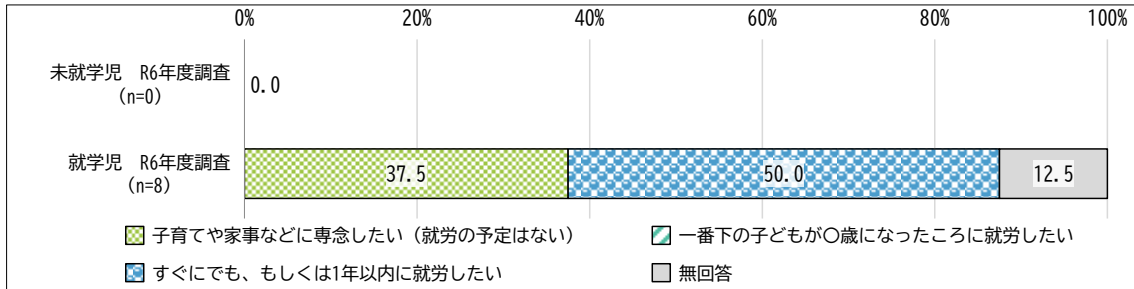


【希望する1日当たり勤務時間】

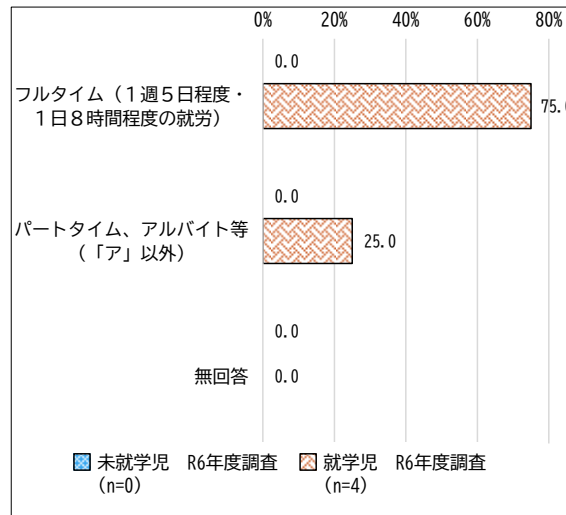


《父親》

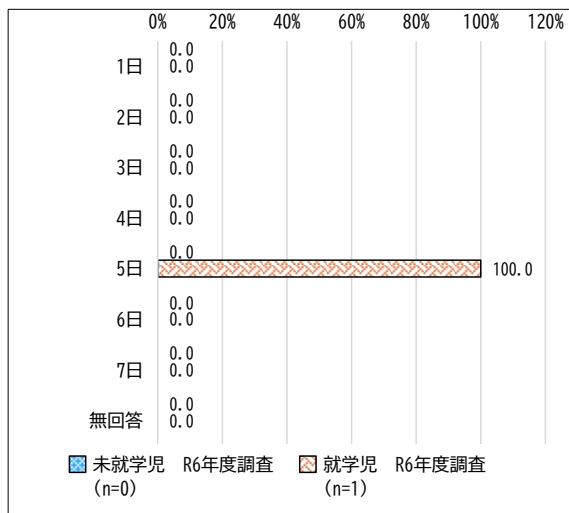
○父親の就労希望については、サンプル数が少ないため参考程度。



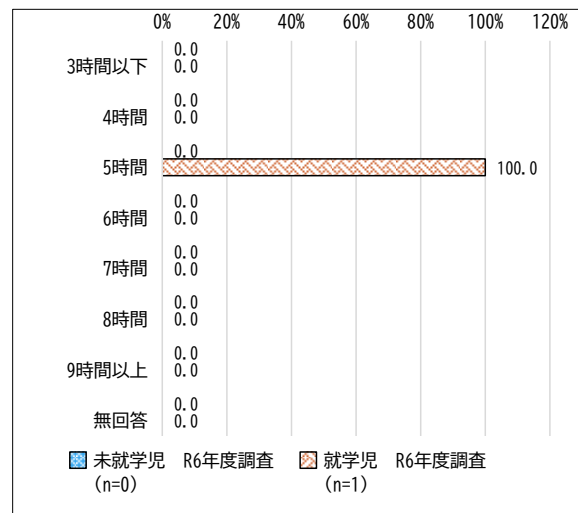
【希望する就労形態】



【希望する週当たり勤務日数】



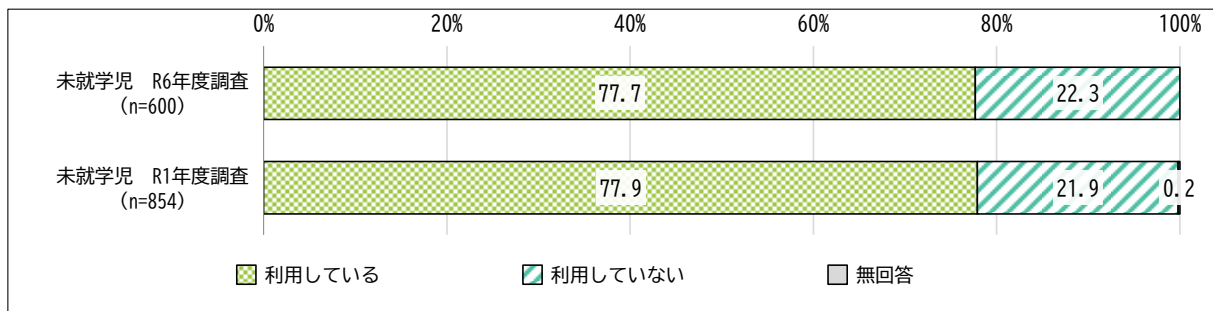
【希望する1日当たり勤務時間】



4. 平日の定期的（月単位）な教育・保育事業等の利用状況等について

問16 お子さんは現在、幼稚園や保育所などを定期的に利用していますか。
（単数回答）

○「利用している」が77.7%、「利用していない」が22.3%となっています。

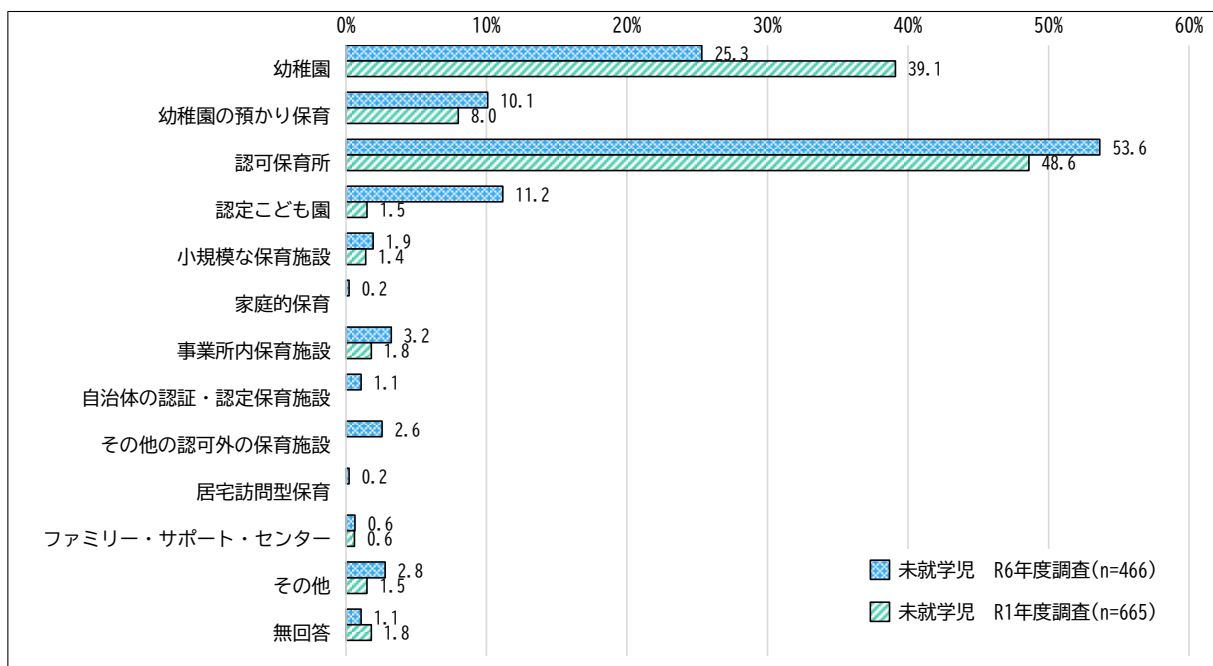


問16で「1. 利用している」と回答した方のみ

問16-1 宛名のお子さんが利用している事業をお答えください。（複数回答）

○「認可保育所」が53.6%と最も高く、次いで「幼稚園」25.3%、「認定こども園」11.2%となっています。

○前回調査との比較をみると、「幼稚園」が13.8ポイント低くなっています。

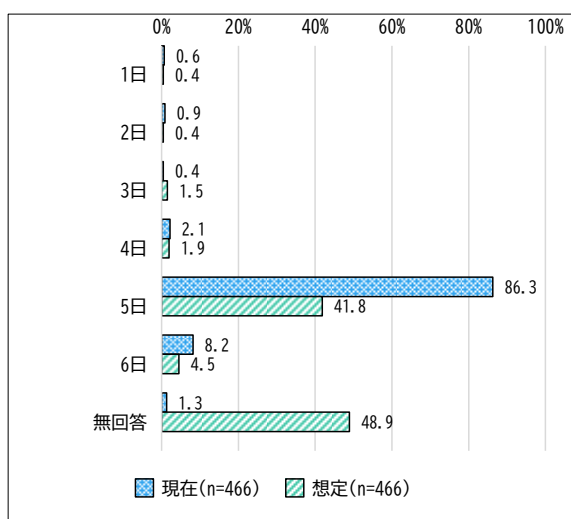


問16で「1. 利用している」と回答した方のみ

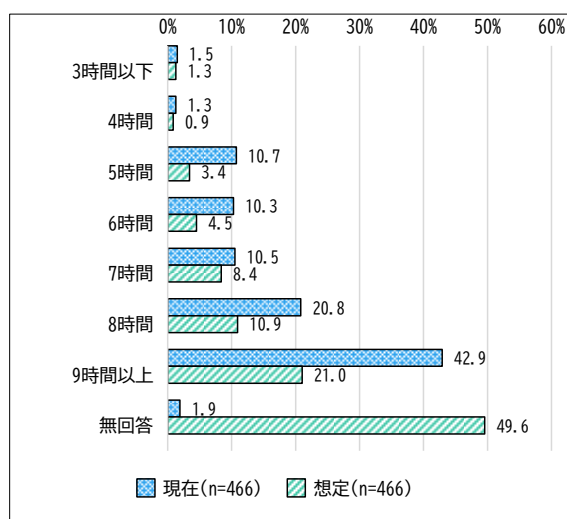
問16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、就労などの希望がかなった場合に想定される利用はどのくらいですか。

- 1週当たりの利用日数では、現在及び想定ともに「5日」（現在：86.3%、想定：41.8%）が最も高くなっています。
- 1日当たりの利用時間では、現在及び想定ともに「9時間以上」（現在：42.9%、想定：21.0%）が最も高く、次いで「8時間」（現在：20.8%、想定：10.9%）となっています。
- 利用開始時刻では、現在では「8時台」が47.2%と最も高く、次いで「9時台」41.6%となっています。想定では「8時台」及び「9時台」が22.7%となっています。
- 利用終了時刻では、現在及び希望ともに「17時台」（現在：33.0%、想定：17.0%）が最も高く、次いで「18時台」（現在：23.8%、想定：12.0%）となっています。

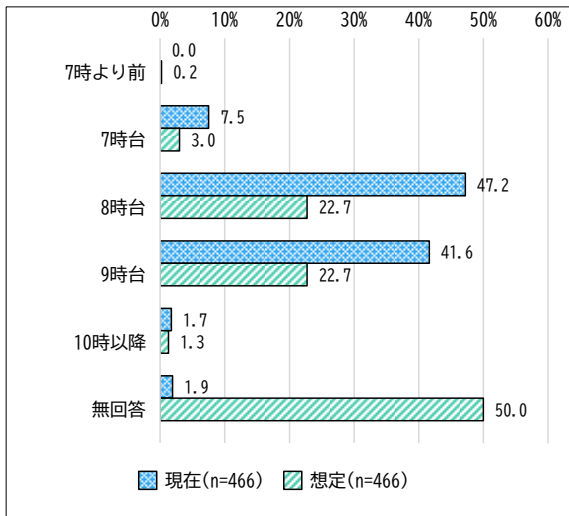
【週当たり利用日数】



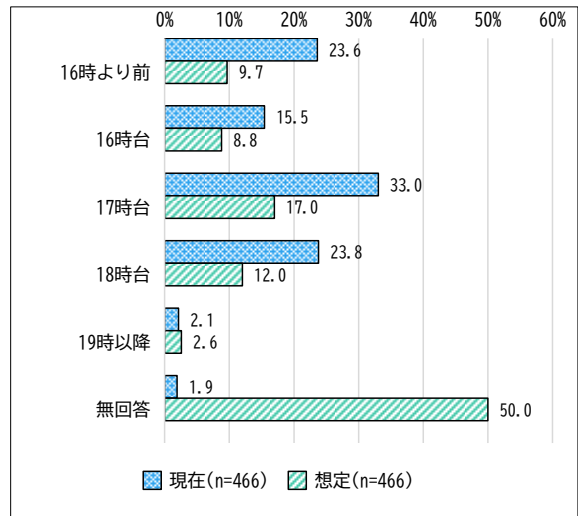
【1日当たり時間】



【利用開始時刻】



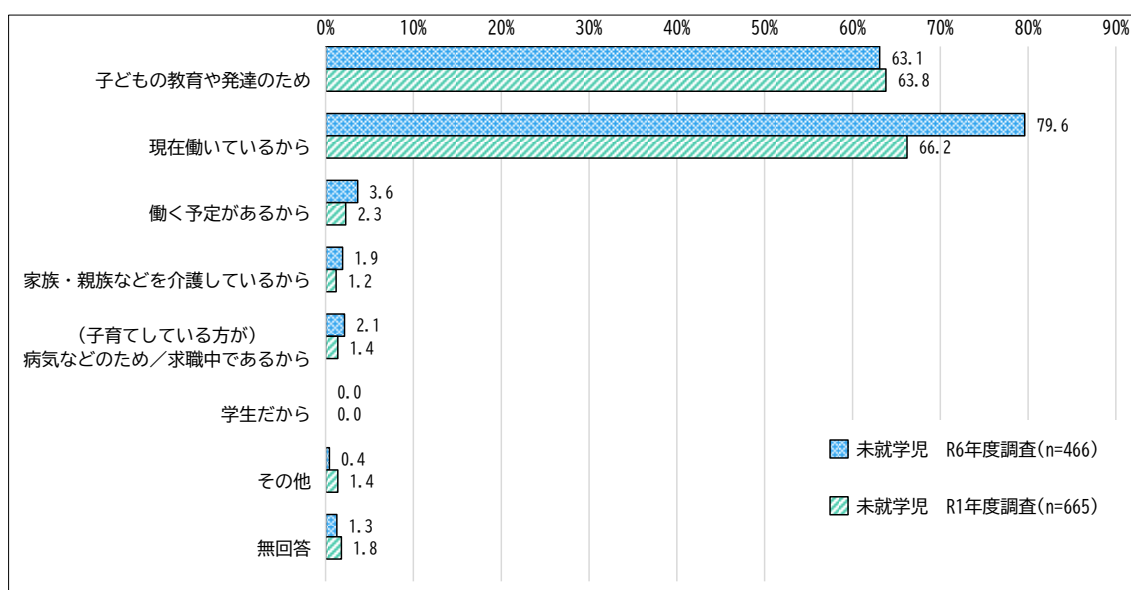
【利用終了時刻】



問16で「1. 利用している」と回答した方のみ

問16-3 平日に定期的に教育・保育施設等を利用している理由についてうかがいます。(単数回答)

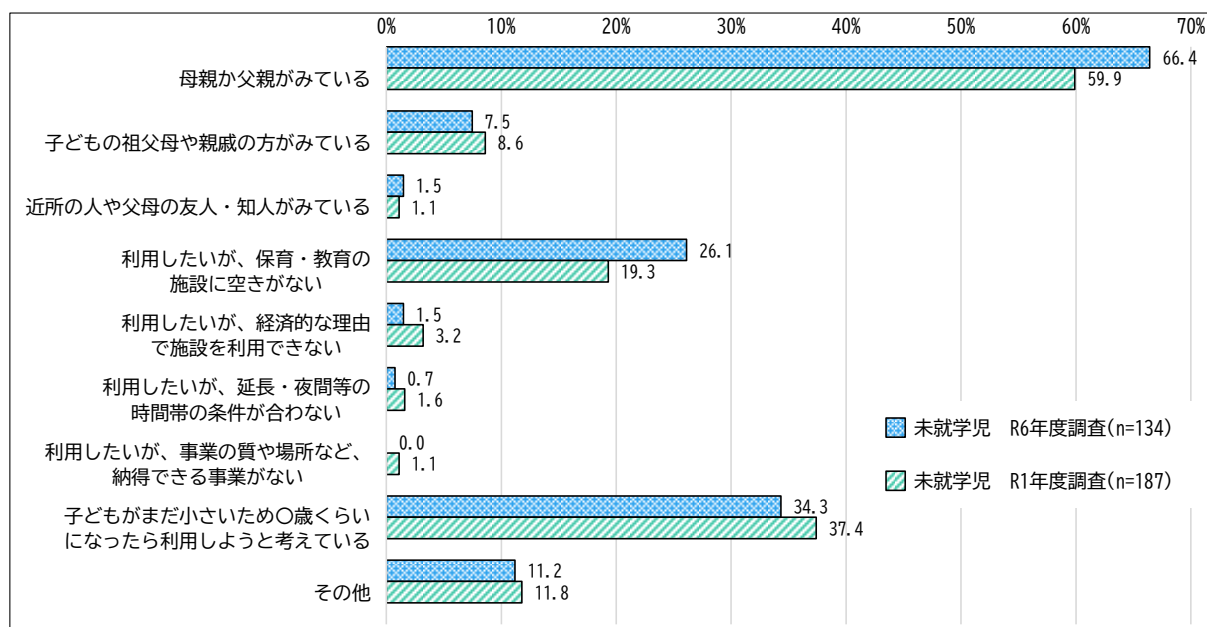
○「現在働いているから」が79.6%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」63.1%となっています。



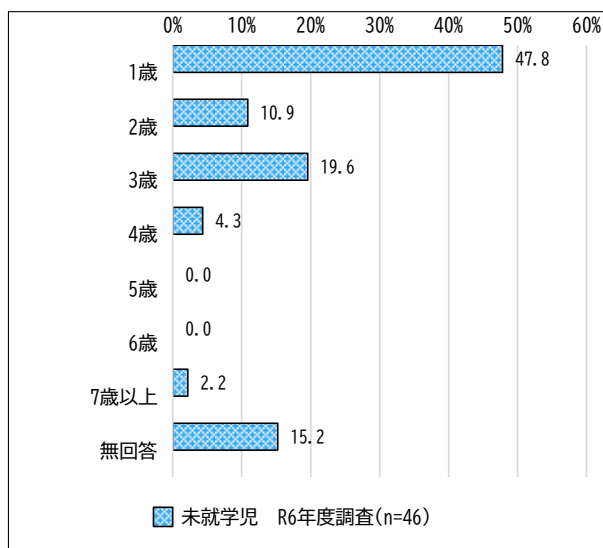
問16-4 利用していない理由は何ですか。(複数回答)

○「母親か父親がみている」が66.4%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため○歳くらいになったら利用しようと考えている」34.3%、「利用したいが、保育・教育の施設に空きがない」26.1%となっています。

○定期的な教育・保育事業を利用しようと考えている子どもの年齢については、「1歳」が47.8%と最も高く、次いで「3歳」19.6%となっています。



【利用しようと考えている年齢】

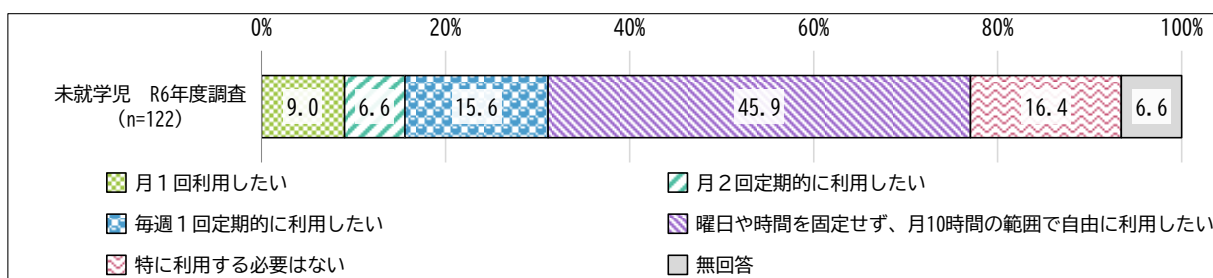


問16で「2. 利用していない」と回答した方で、宛名のお子さんが0～2歳の方のみ

問16-5 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、仮に月10時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。

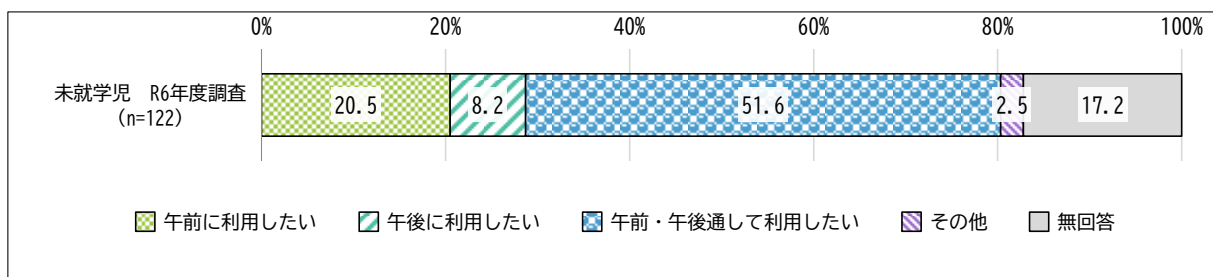
(1) 利用希望

○「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」が45.9%と最も高く、次いで「特に利用する必要はない」16.4%、「毎週1回定期的に利用したい」15.6%となっています。



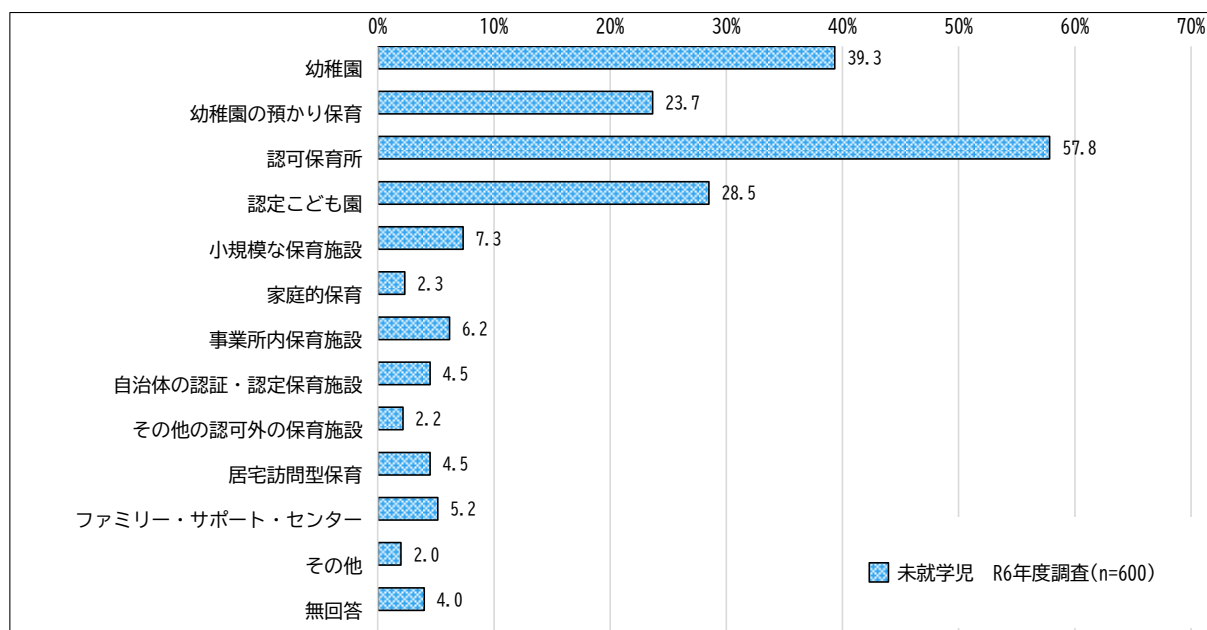
(2) 利用したい時間帯

○「午前・午後通して利用したい」が51.6%と最も高く、次いで「午前に利用したい」20.5%となっています。



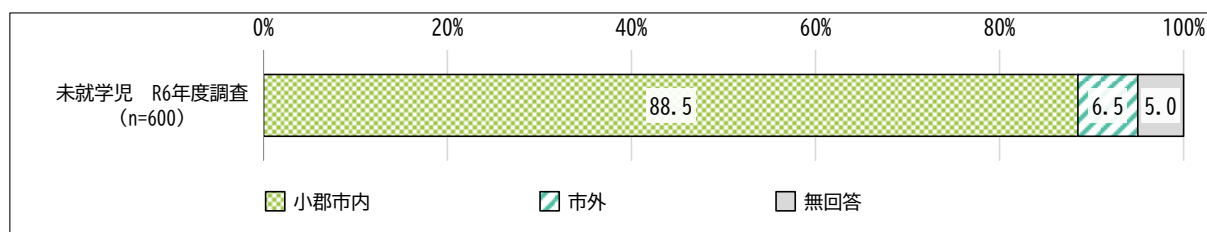
問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日に「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

○「認可保育所」が57.8%と最も高く、次いで「幼稚園」39.3%、「認定こども園」28.5%となっています。



問17-1 平日に「定期的に」利用したいと考える主な事業の場所はどこですか。(単数回答)

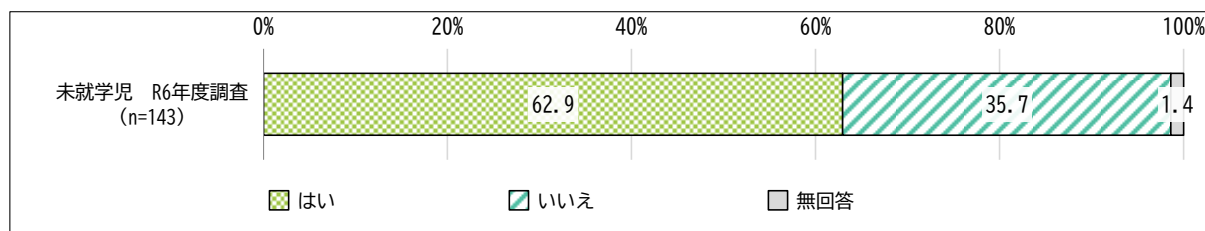
○「小郡市内」が88.5%、「市外」が6.5%となっており、約9割が小郡市内の事業を利用したいと考えています。



問17で「1」または「2」と回答し、かつ「3」～「12」のいずれかも回答した方のみ

問17-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（単数回答）

○「はい」が62.9%、「いいえ」が35.7%となっており、約6割が幼稚園の利用を強く希望するとなっています。



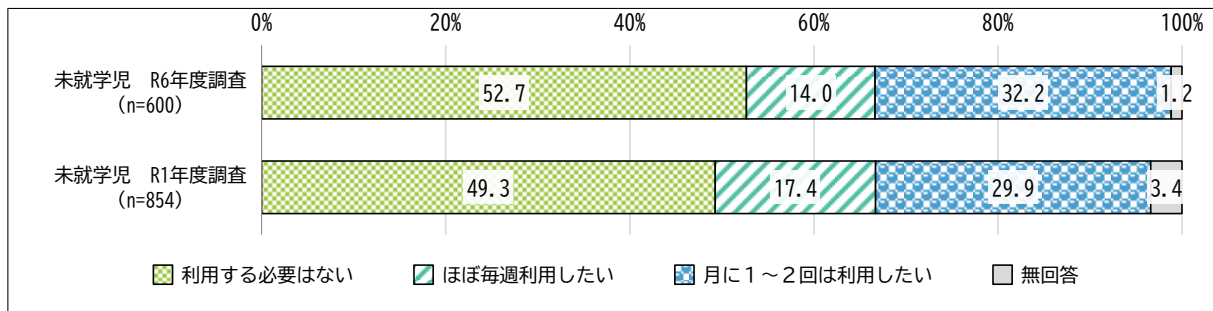
5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（単数回答）

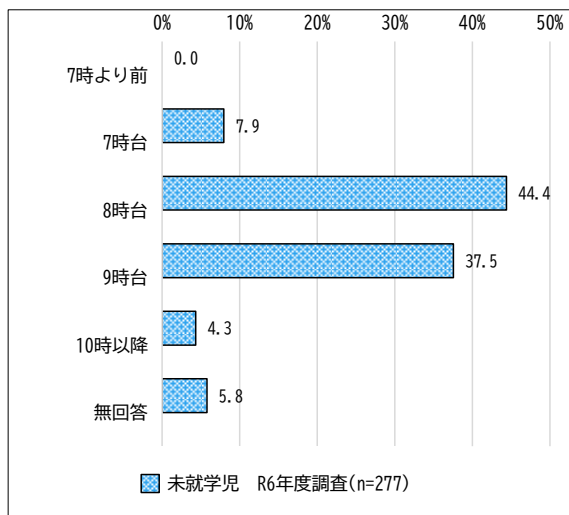
（1）土曜日

○土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が52.7%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」32.2%となっています。

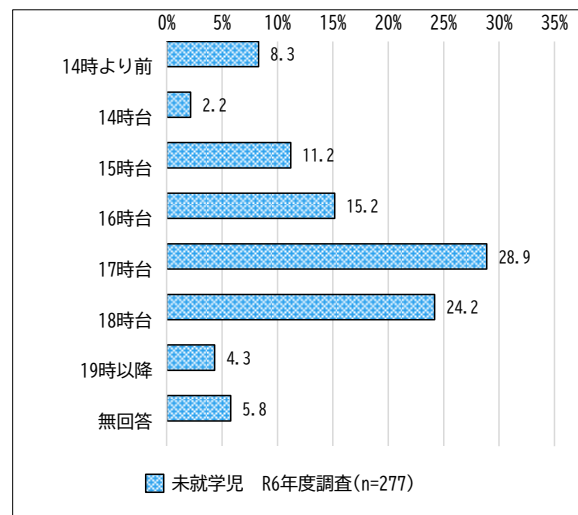
○土曜日の利用希望時刻について、開始時刻では「8時台」「9時台」が3割を超えています。終了時刻では「17時台」「18時台」が2割を超えています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】



【利用したい時間帯（終了時刻）】

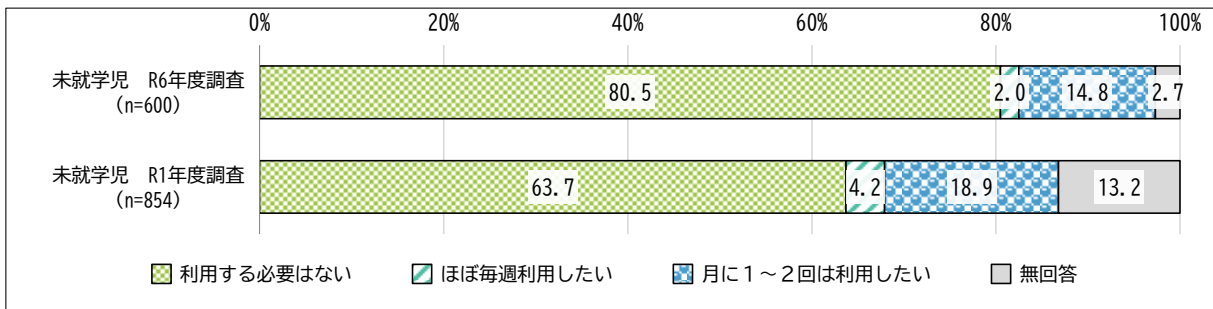


(2) 日曜・祝日

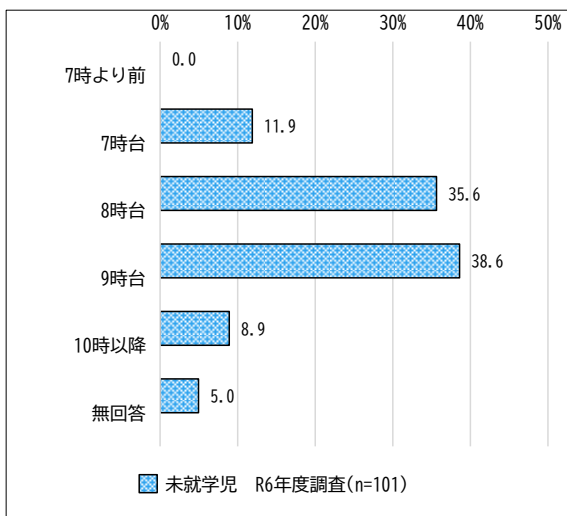
○日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が80.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」14.8%となっています。

○前回調査との比較をみると、「利用する必要はない」が16.8ポイント高くなっています。

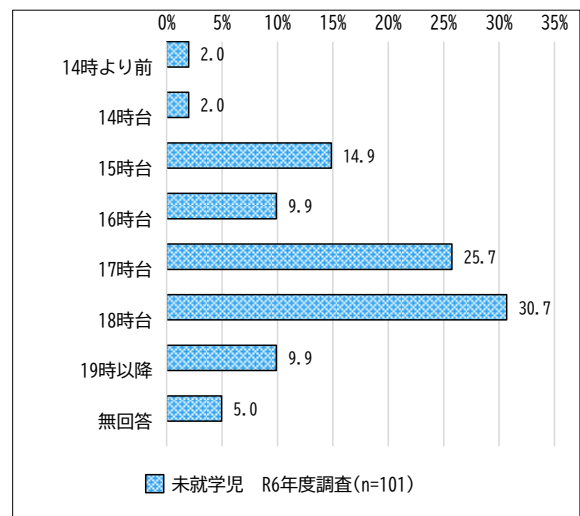
○日曜・祝日の利用希望時刻について、開始時刻では「8時台」「9時台」、終了時刻では「18時台」が3割を超えています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】



【利用したい時間帯（終了時刻）】



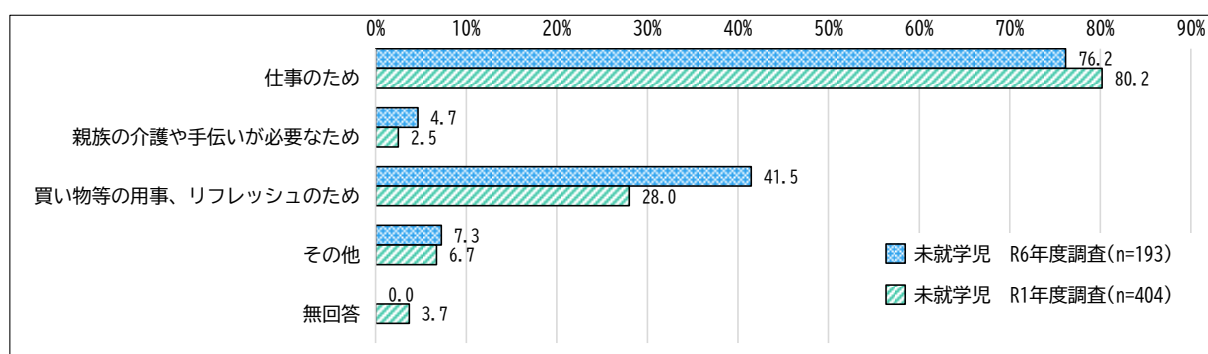
問18の(1)もしくは(2)で「3.月に1~2回は利用したい」と回答した方のみ

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

(1) 土曜日

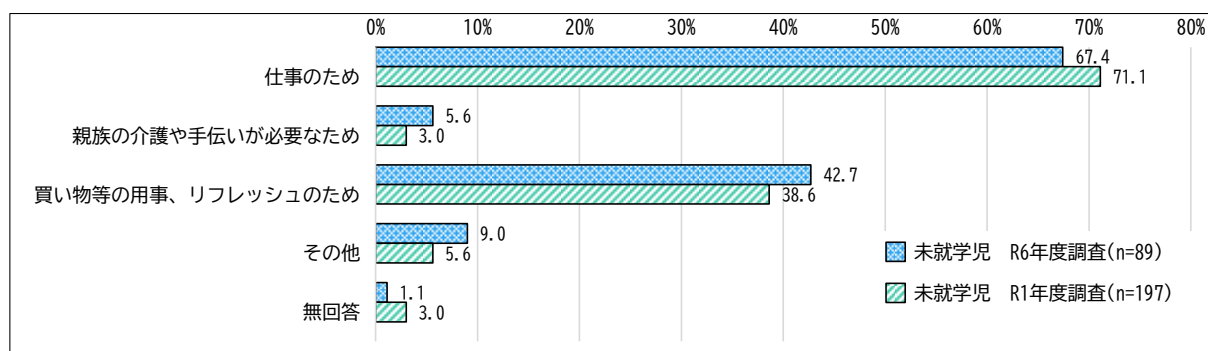
○土曜日の利用理由については、「仕事のため」が76.2%と最も高く、次いで「買い物等の用事、リフレッシュのため」41.5%となっています。

○前回調査との比較をみると、「買い物等の用事、リフレッシュのため」が13.5ポイント高くなっています。



(2) 日曜・祝日

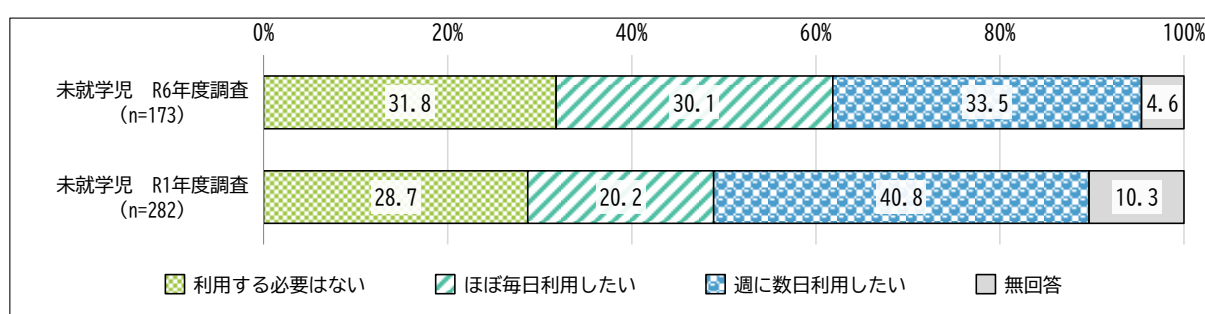
○日曜・祝日の利用理由については、「仕事のため」が67.4%と最も高く、次いで「買い物等の用事、リフレッシュのため」42.7%となっています。



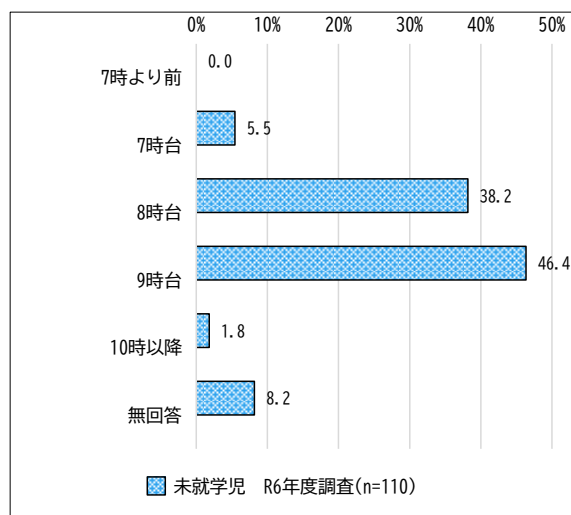
問19 お子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(単数回答)

○長期休暇期間中の利用希望については、「週に数日利用したい」が33.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」31.8%となっています。

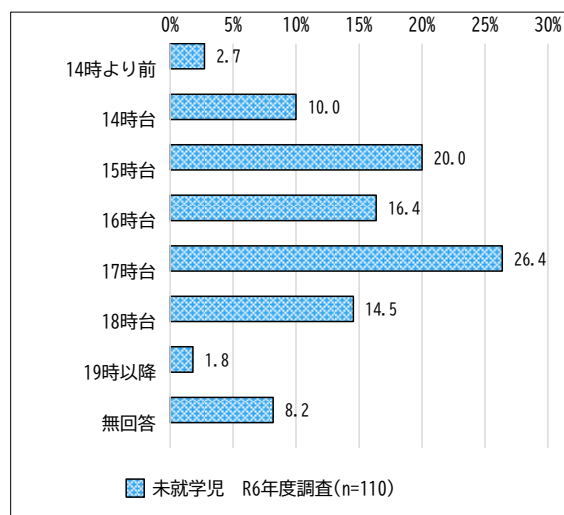
○長期休暇期間中の利用希望時刻について、開始時刻では「8時台」「9時台」が3割を超えており、終了時刻では「15時」「17時台」が2割を超えています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】



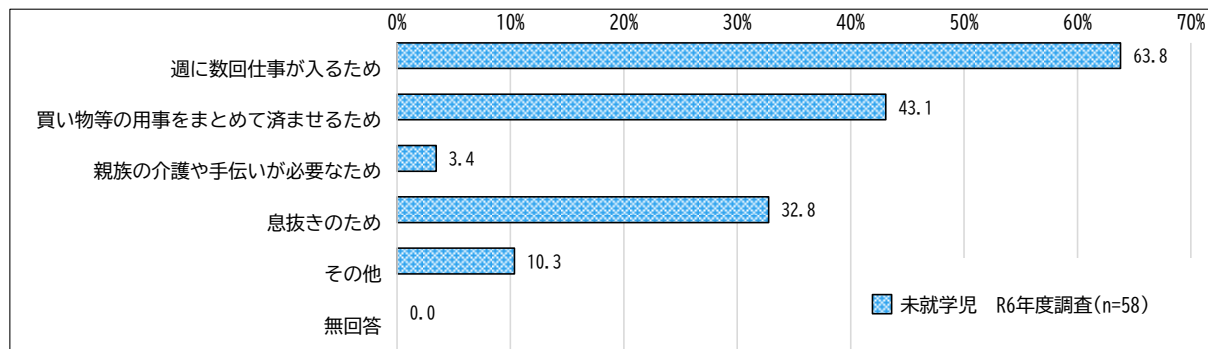
【利用したい時間帯（終了時刻）】



問19で「3. 週に数日利用したい」と回答した方のみ

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

○「週に数回仕事が入るため」が63.8%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」43.1%、「息抜きのため」32.8%となっています。

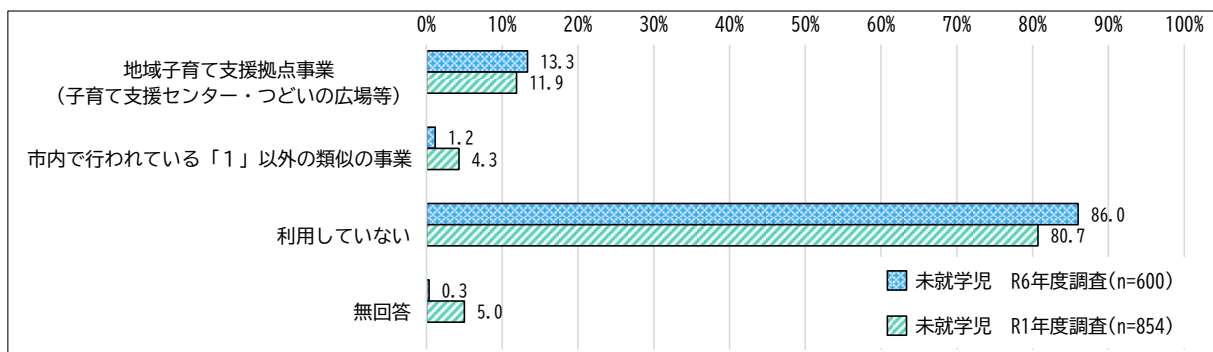


6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

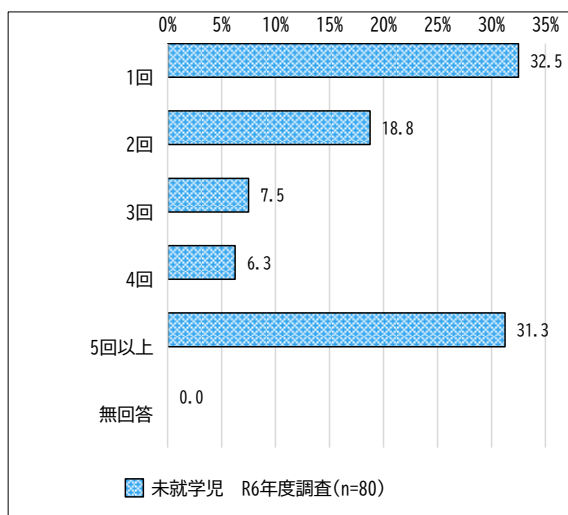
問20 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（保育所や公共施設などにおいて、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（複数回答）

○「利用していない」が86.0%と最も高く、8割を超えています。

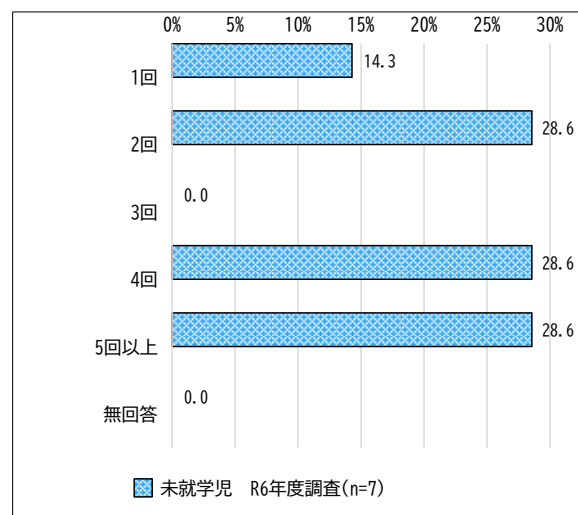
○地域子育て支援拠点事業の月当たり利用回数については、「1回」「5回以上」が3割を超えています。



【地域子育て支援拠点事業：月当たり利用回数】



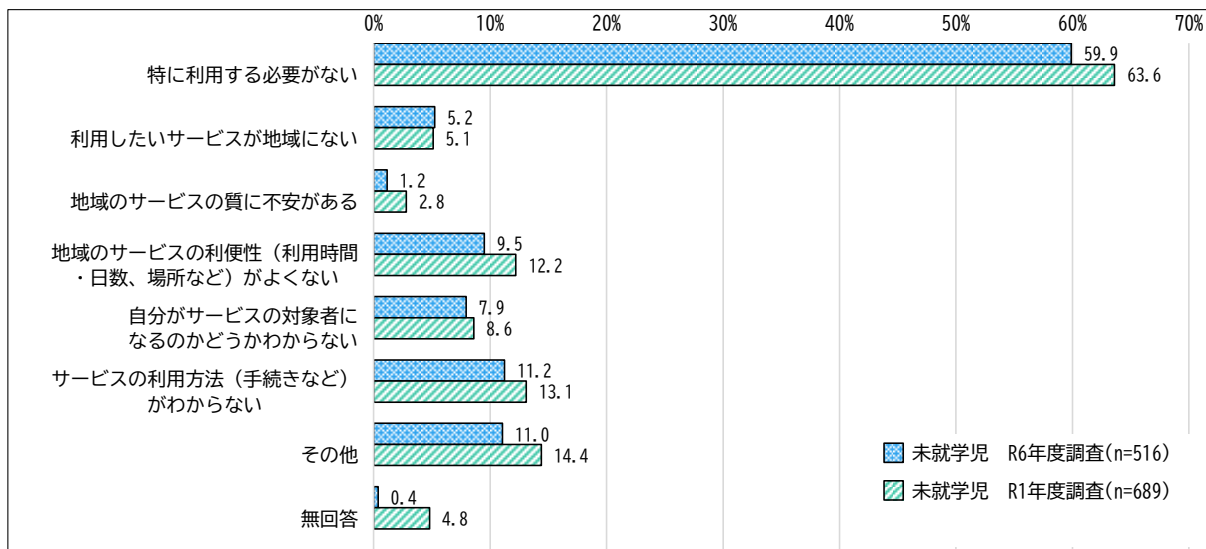
【類似の事業：月当たり利用回数】



問20で「3. 利用していない」と回答した方のみ

問20-1 利用していない理由は何ですか。(複数回答)

○「特に利用する必要がない」が59.9%と最も高く、次いで「サービスの利用方法（手続きなど）がわからない」11.2%となっています。

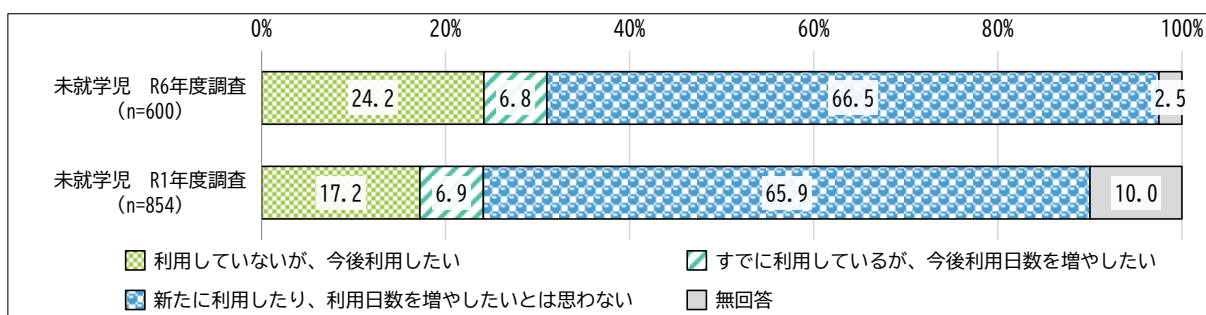


**問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
(単数回答)**

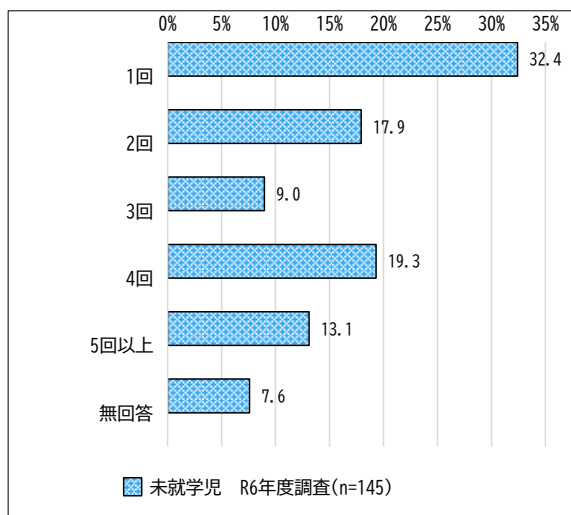
○「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」24.2%となっています。

○今後新たに利用したい月当たり回数については、「1回」が32.4%と最も高く、次いで「4回」19.3%となっています。

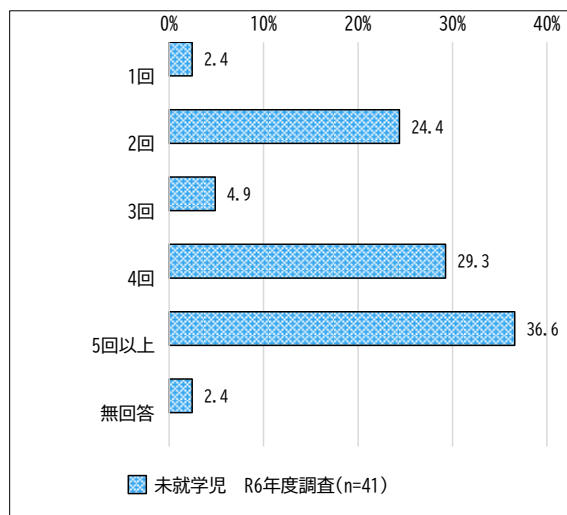
○今後利用を増やしたい月当たり回数については、「5回以上」が36.6%と最も高く、次いで「4回」29.3%となっています。



【今後新たに利用したい月当たり回数】



【今後利用を増やしたい月当たり回数】



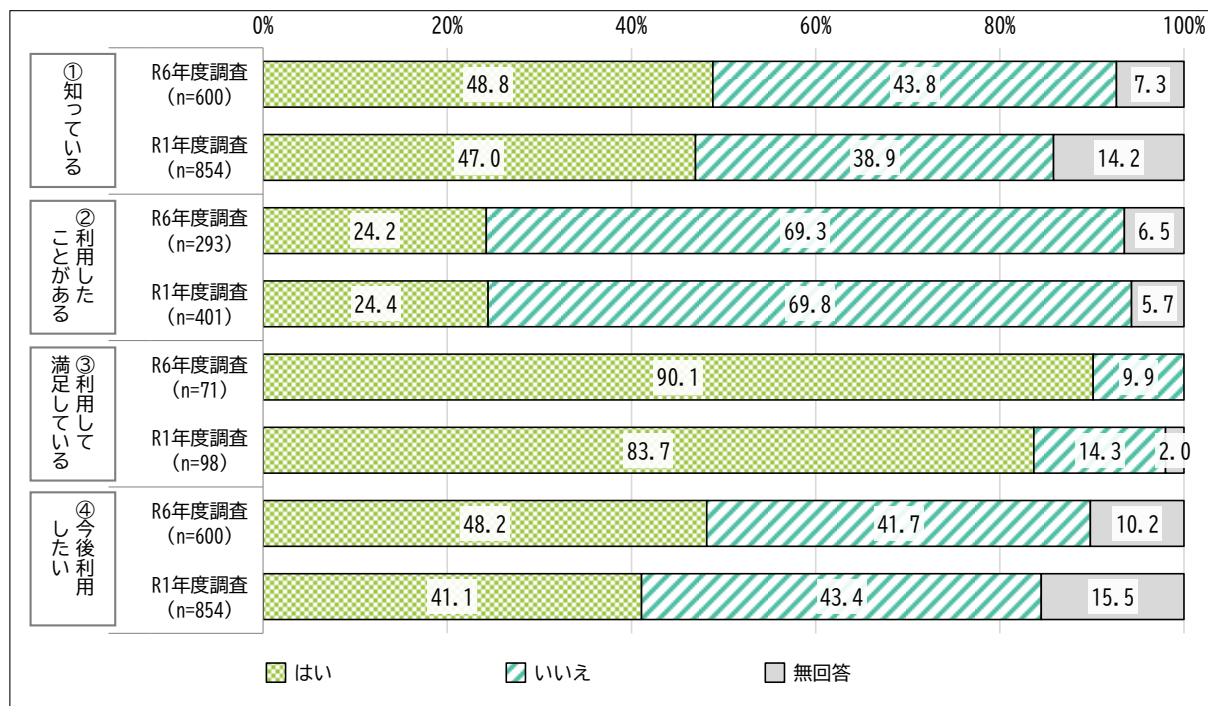
問22 本市では、令和5年4月1日より、あすてらす内に「こども家庭支援センター」を設置しています。こども家庭支援センターについてお答えください。
(単数回答)

○認知度については、「知っている」が48.8%、「知らない」が43.8%となっています。

○利用状況については、「利用したことがある」が24.2%、「利用したことがない」が69.3%となっています。

○満足度については、「満足している」が90.1%、「満足していない」が9.9%となっています。

○今後の利用意向については、「今後利用したい」が48.2%、「今後利用したくない」が41.7%となっています。



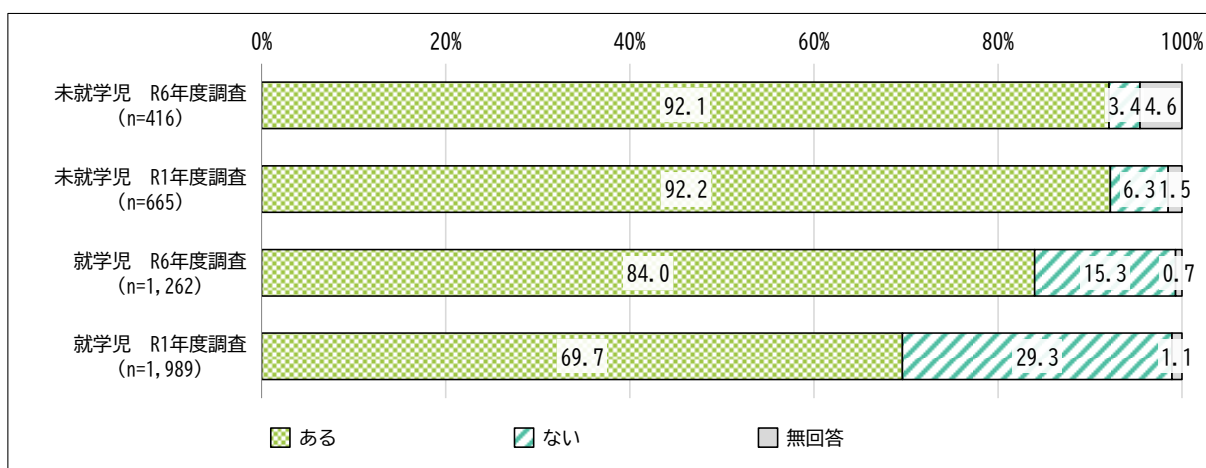
7. 病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している（問 16-1 で「1」「3」「4」）を回答した方のみ

問23 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等（学校）を休んだことはありますか。（単数回答）

○未就学児及び就学児ともに「ある」（未就学児：92.1%、就学児：84.0%）が8割を超えており、「ない」（未就学児：3.4%、就学児：15.3%）を上回っています。

○前回調査との比較をみると、就学児では「ある」が14.3ポイント高くなっています。

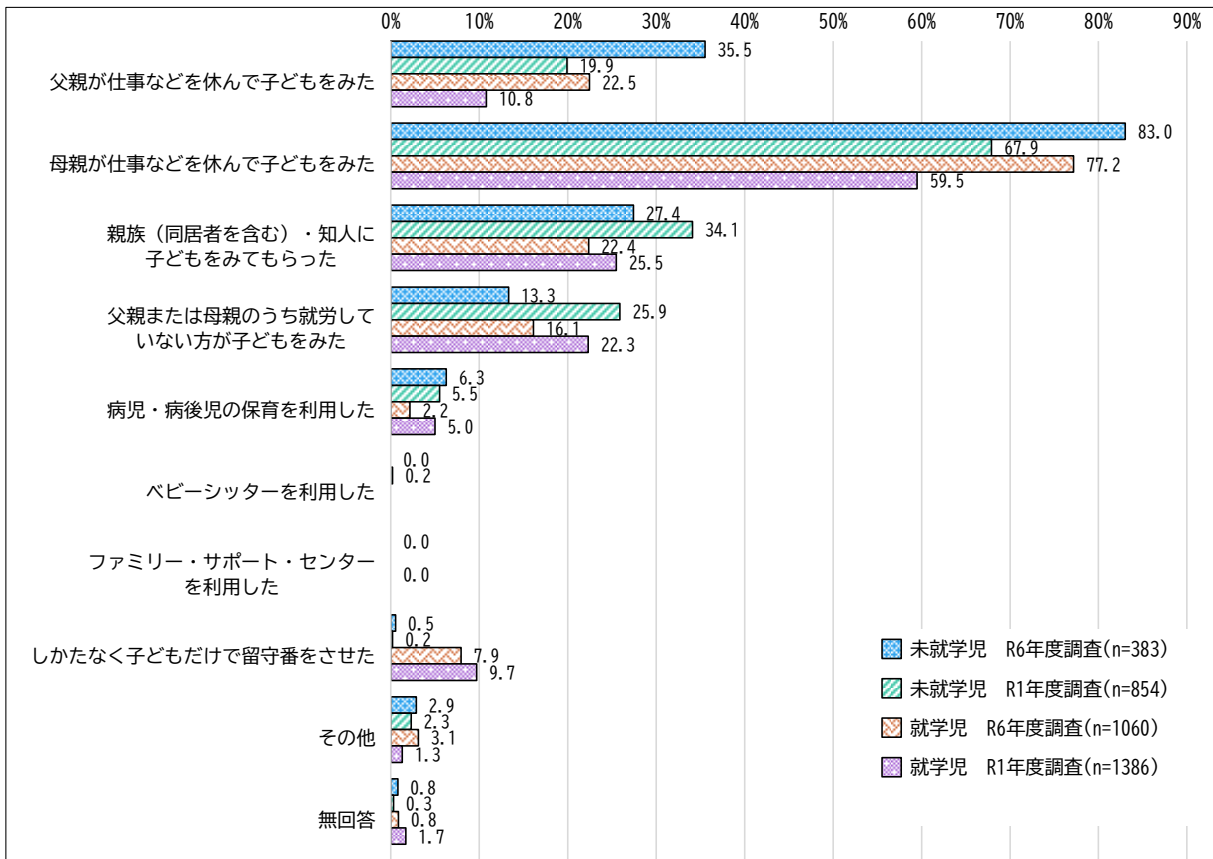


問23で「1. あった」と回答した方のみ

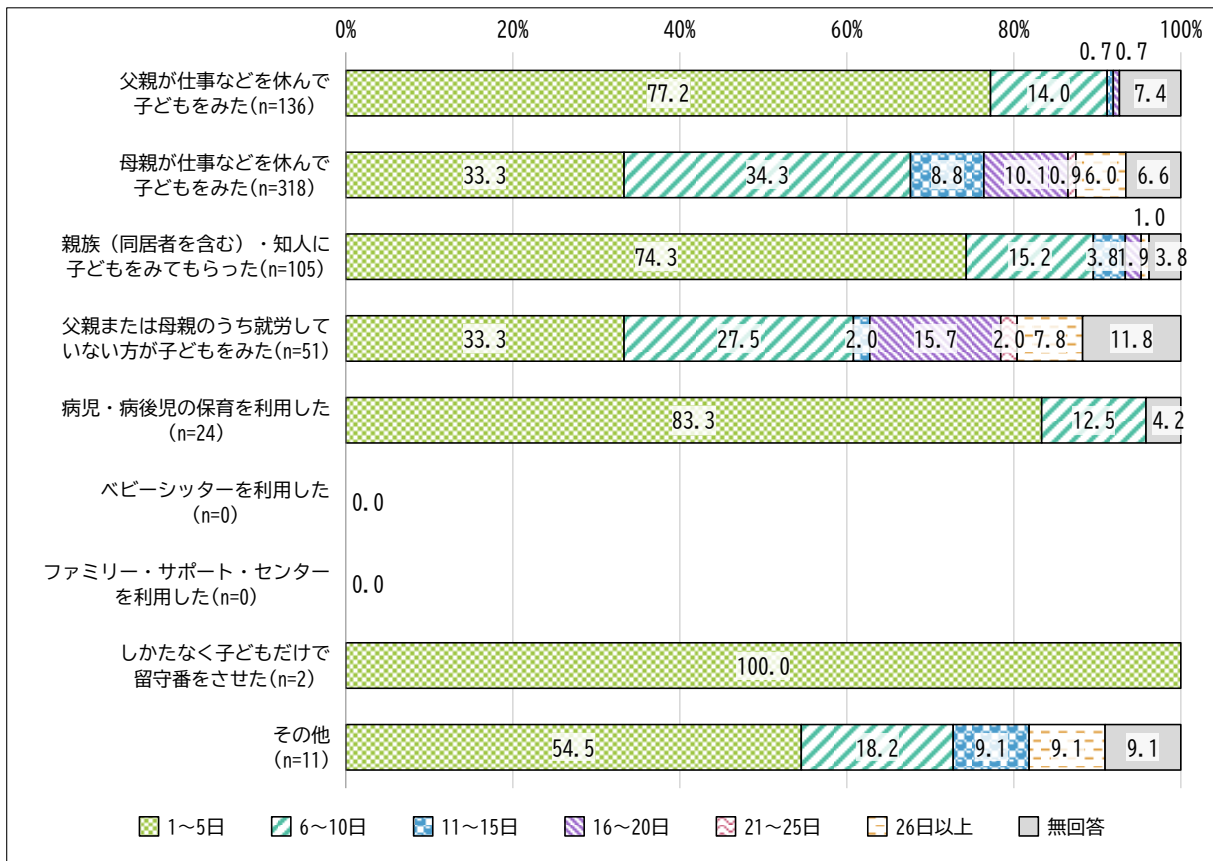
問23-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所等を休んだとき、
どうしましたか。(複数回答)

- 未就学児及び就学児ともに「母親が仕事などを休んで子どもをみた」(未就学児：83.0%、就学児：77.2%)が最も高く、次いで「父親が仕事などを休んで子どもをみた」(未就学児：35.5%、就学児：22.5%)となっています。
- 前回調査との比較をみると、未就学児及び就学児ともに「母親が仕事などを休んで子どもをみた」及び「父親が仕事などを休んで子どもをみた」が10ポイント以上高くなっています。また、未就学児では「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が12.6ポイント低くなっています。
- 1年間の対処日数をみると、未就学児の「母親が仕事などを休んで子どもをみた」では「6～10日」が最も高く、それ以外では「1～5日」が最も高くなっています。また、就学児ではいずれも「1～5日」が最も高くなっています。

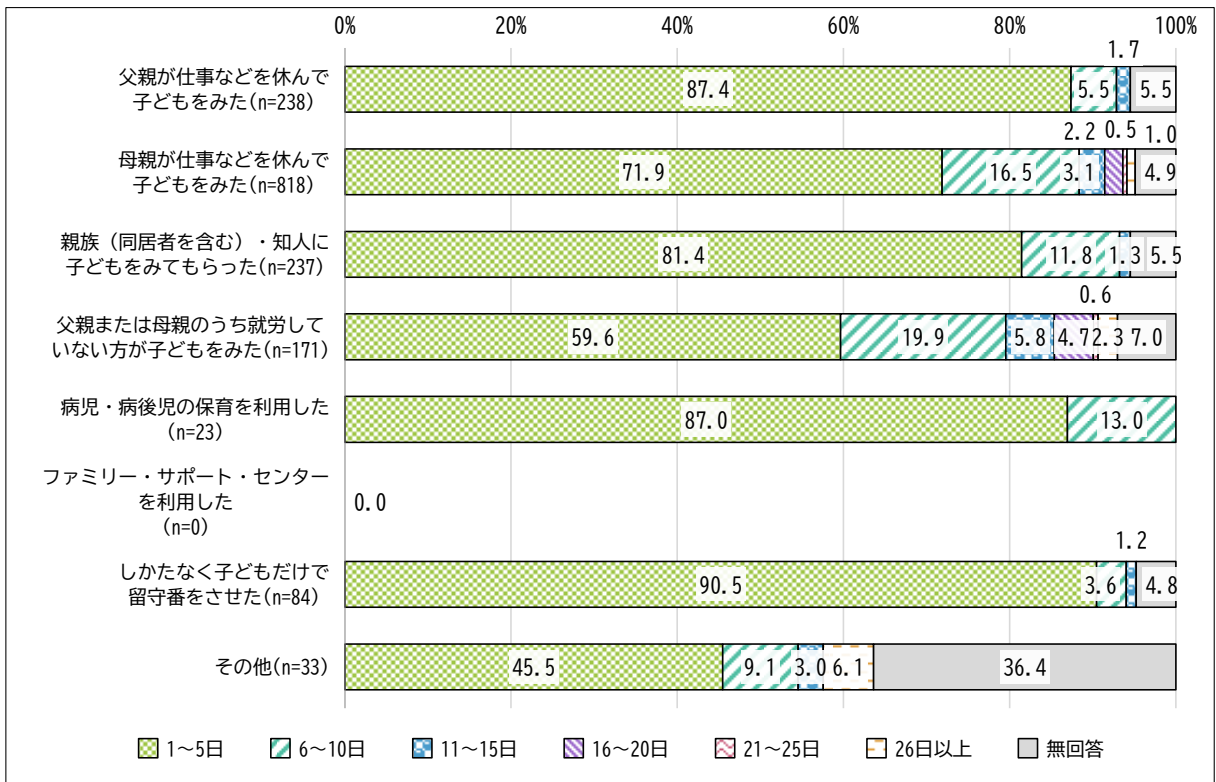
【1年間の対処方法】



【1年間の対応日数：未就学児】



【1年間の対応日数：就学児】

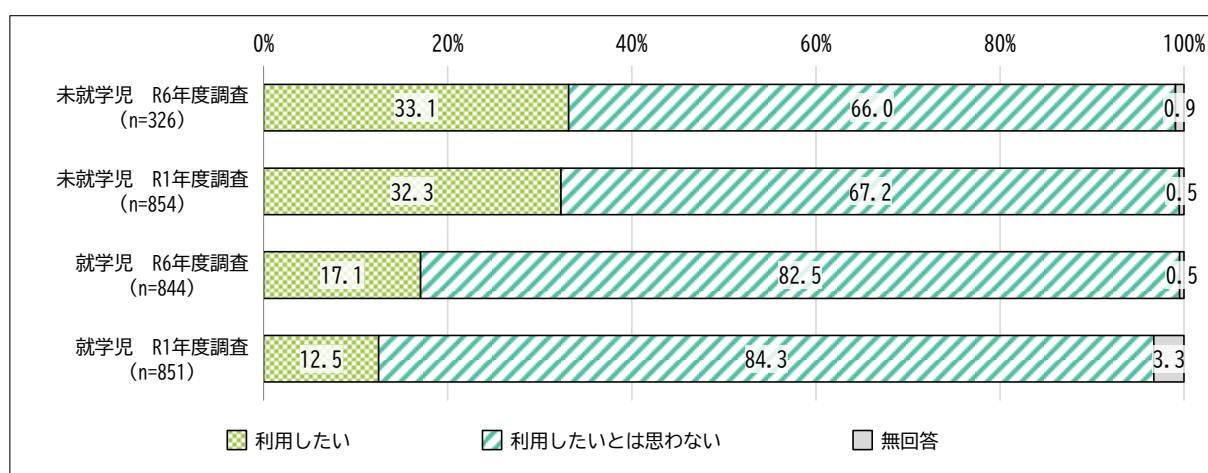


問23-1で「1」または「2」のいずれかを回答した方のみ

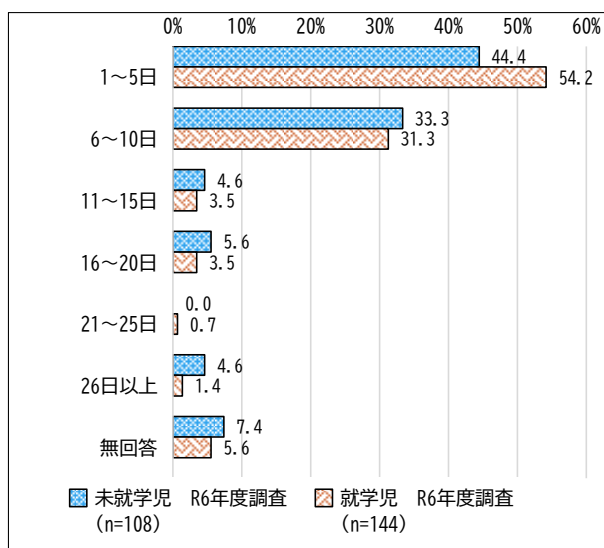
問23-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。(単数回答)

○「利用したい」(未就学児：33.1%、就学児：17.1%)、「利用したいとは思わない」(未就学児：66.0%、就学児：82.5%)となっています。

○利用したい年間日数では、未就学児及び就学児ともに「1～5日」が最も高く、4割を超えています。



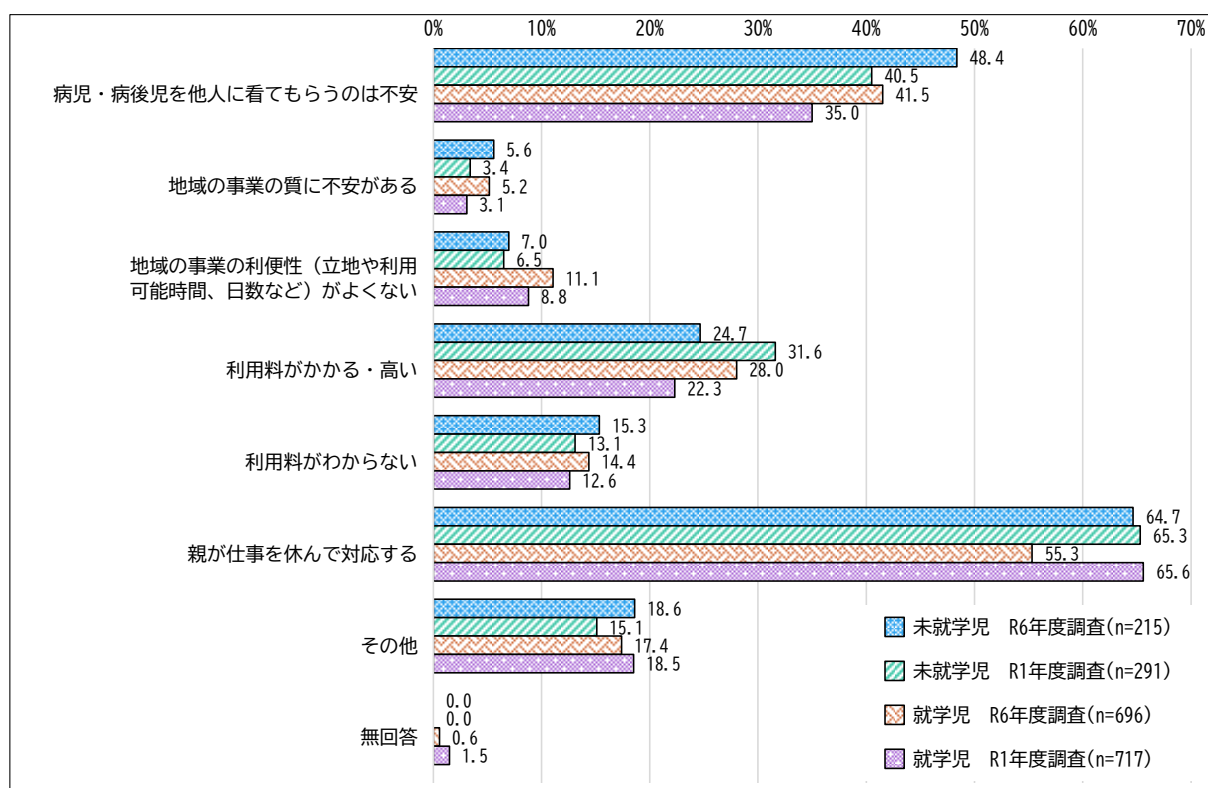
【病児・病後児保育施設等を利用したい年間日数】



問23-3 その理由は何ですか。(複数回答)

○未就学児及び就学児ともに「親が仕事を休んで対応する」(未就学児：64.7%、就学児：55.3%)が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(未就学児：48.4%、就学児：41.5%)となっています。

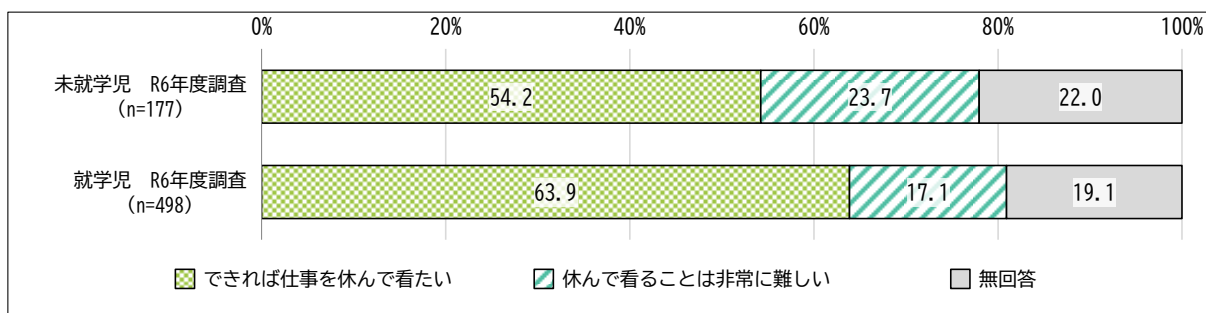
○前回調査との比較をみると、就学児では「親が仕事を休んで対応する」が10.3ポイント低くなっています。



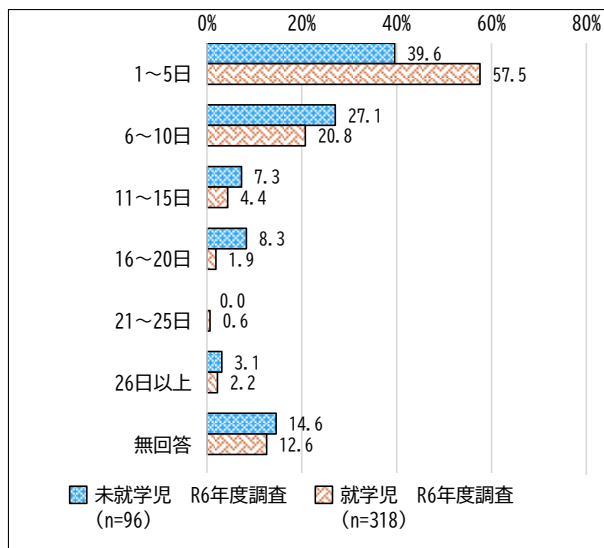
問23-4 その際、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
(単数回答)

○「できれば仕事を休んで看たい」(未就学児：54.2%、就学児：63.9%)が最も高く、次いで「休んで看ることは非常に難しい」(未就学児：23.7%、就学児：17.1%)となっています。

○休んで見たかった年間日数では、「1～5日」(未就学児：39.6%、就学児：57.5%)が最も高く、次いで「6～10日」(未就学児：27.1%、就学児：20.8%)となっています。



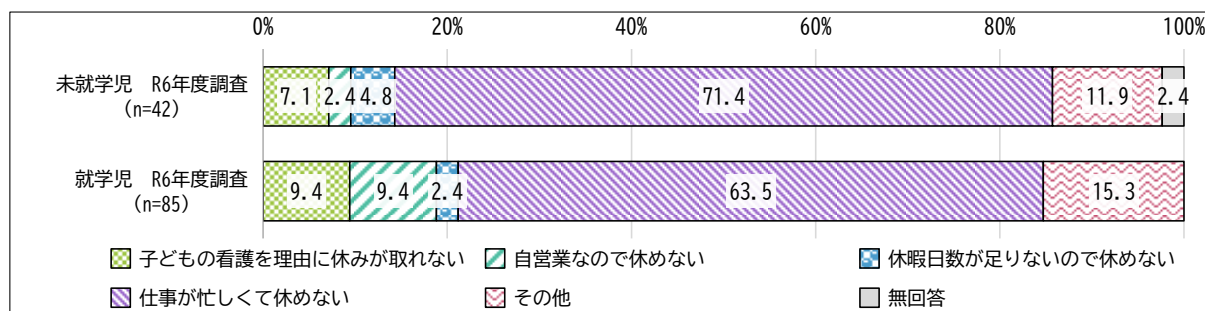
【できれば仕事を休んで看たい年間日数】



問23-4で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と回答した方のみ

問23-5 その理由は何ですか。

○「仕事が忙しくて休めない」(未就学児：71.4%、就学児：63.5%)が最も高く、次いで「その他」(未就学児：11.9%、就学児：15.3%)となっています。

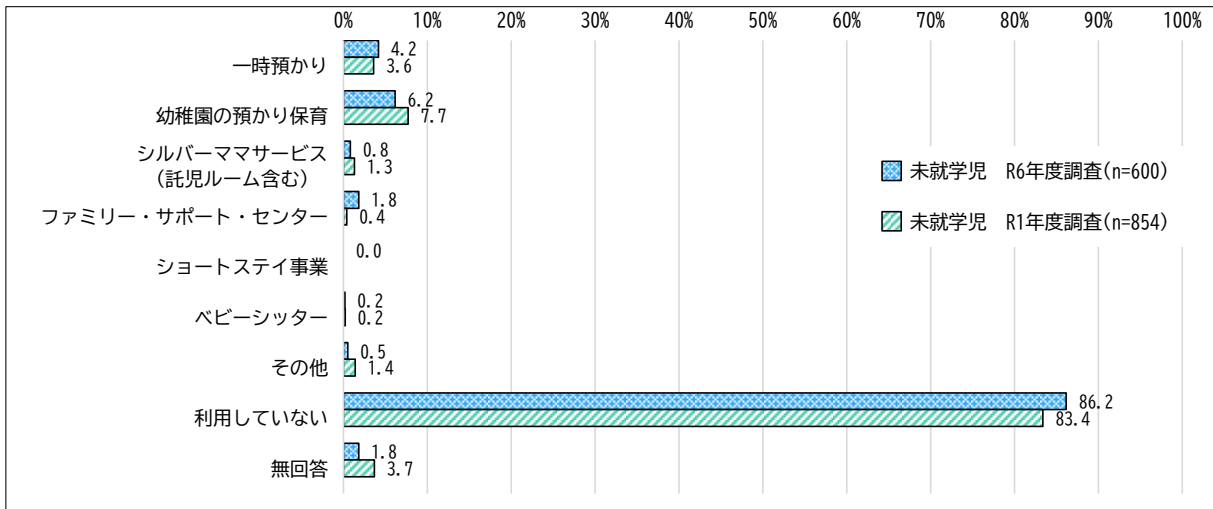


8. 「不定期」の預かりなどの利用について

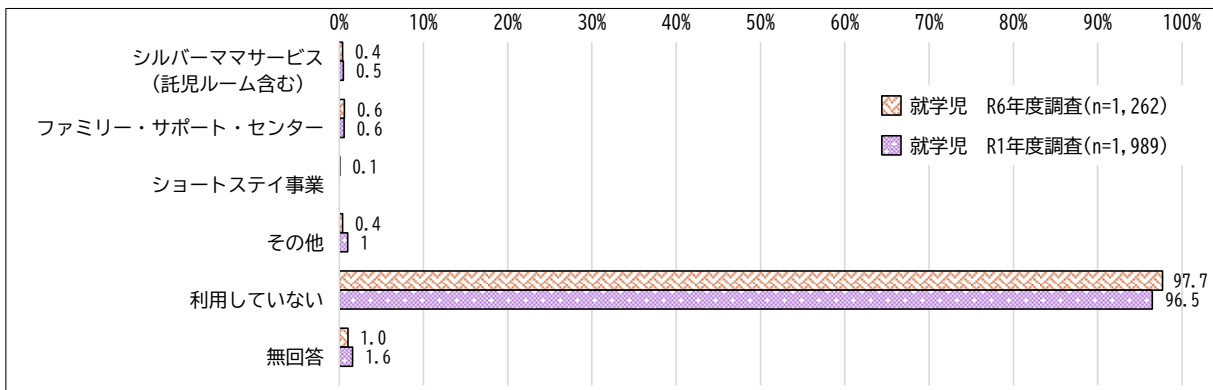
問24 お子さんが、幼稚園、保育所への通園（通学）や病気の時以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。

○「利用していない」（未就学児：86.2%、就学児：97.7%）が最も高く、8割を超えています。

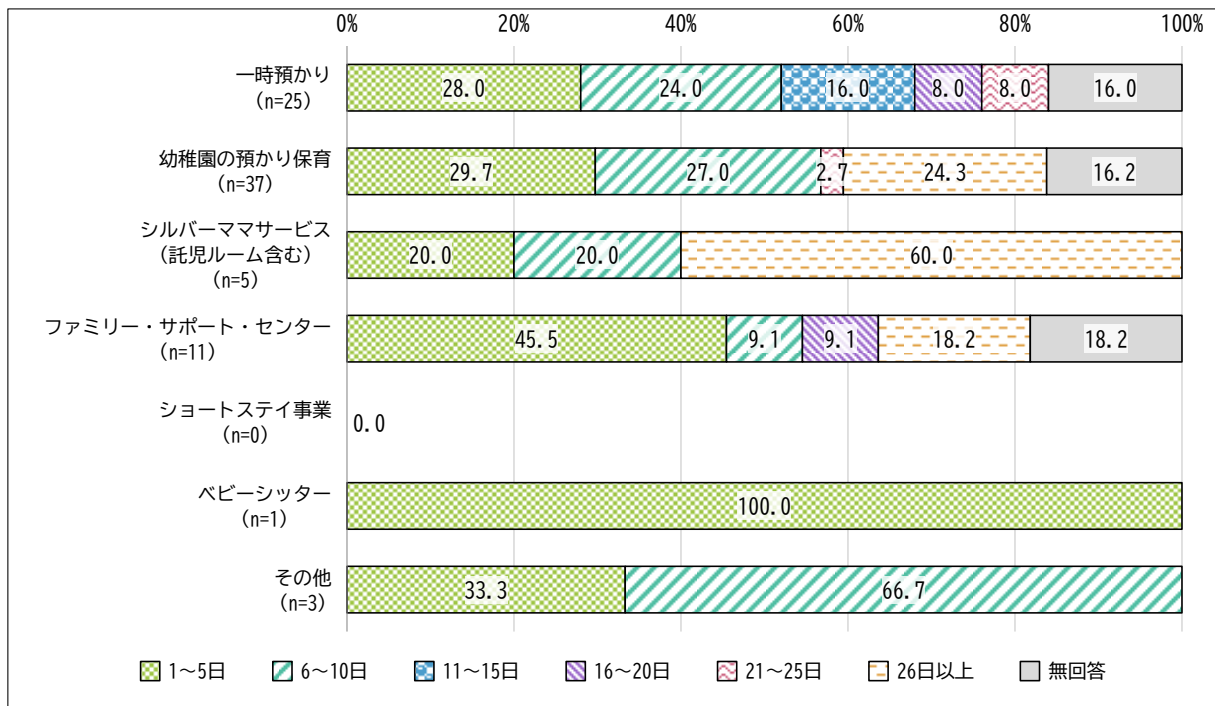
【1年間の対処方法：未就学児】



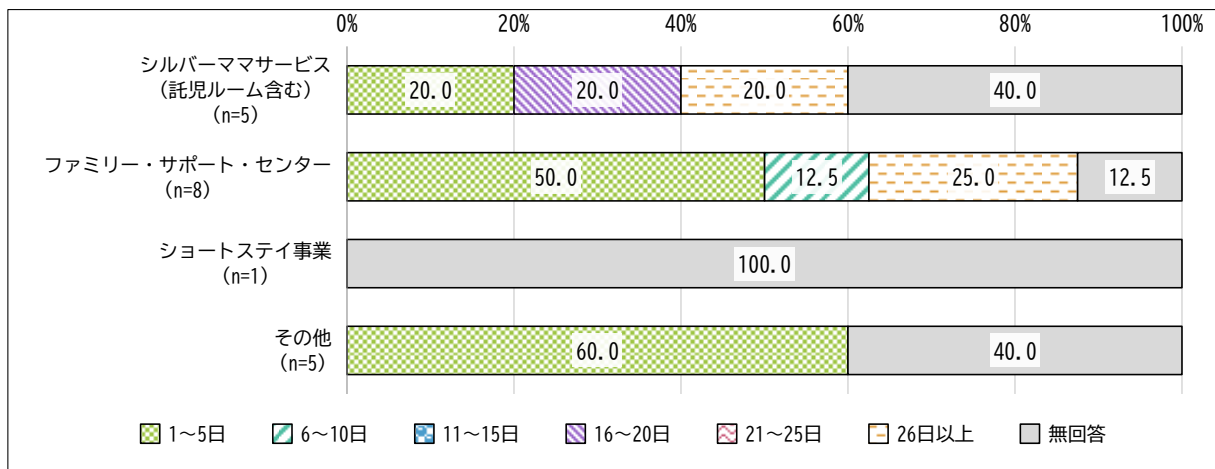
【1年間の対処方法：就学児】



【1年間の利用日数：未就学児】



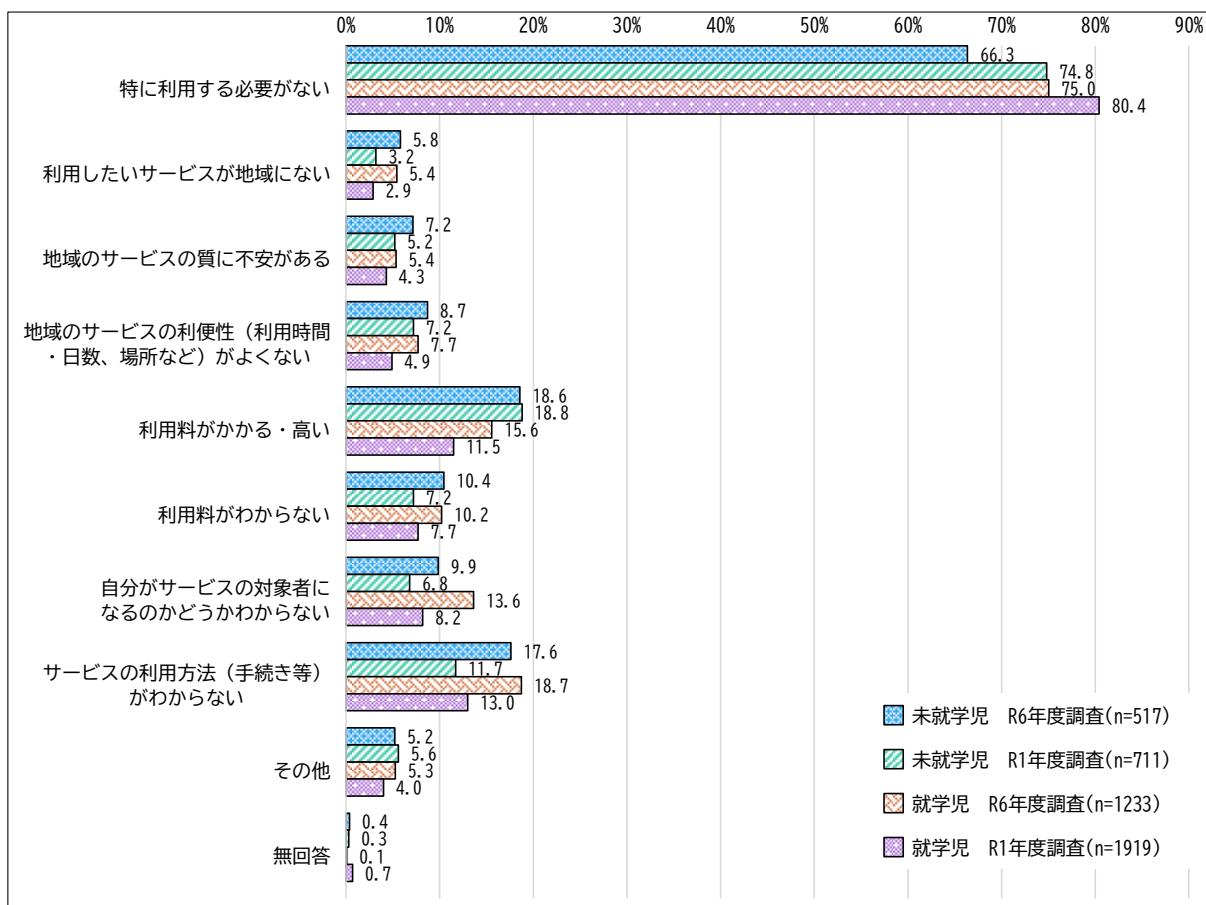
【1年間の利用日数：就学児】



問24で「8. 利用していない」と回答した方のみ

問24-1 利用していない理由は何ですか。(複数回答)

○未就学児及び就学児ともに「特に利用する必要がない」(未就学児：66.3%、就学児：75.0%)が最も高く、次いで未就学児では「利用料がかかる・高い」18.6%、就学児では「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」18.7%となっています。



問25 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、問24の事業を年間何日くらい利用する必要がありますか。

○利用希望については、「利用したい」（未就学児：39.8%、就学児：15.9%）、「利用する必要はない」（未就学児：58.8%、就学児：81.9%）となっています。

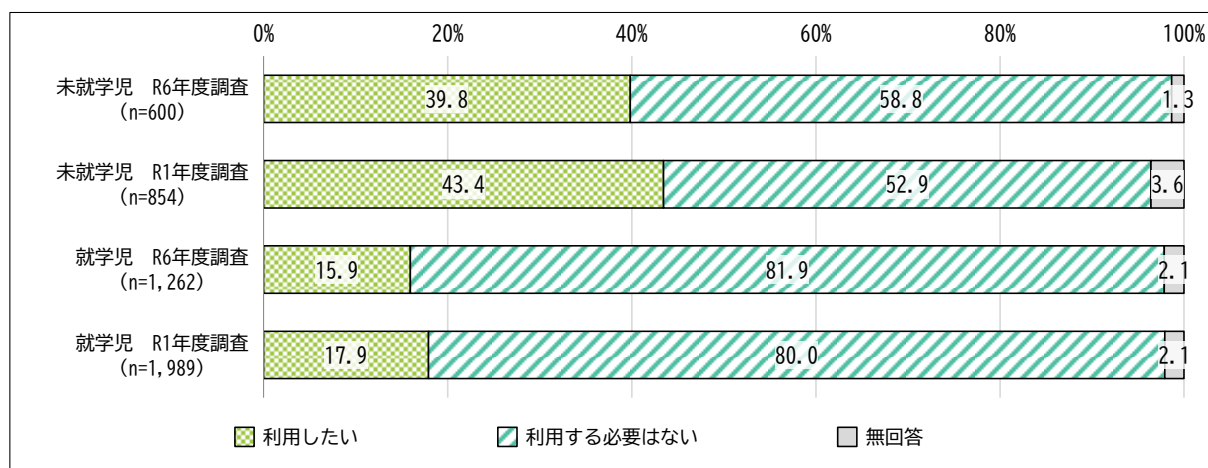
○利用目的について、未就学児では「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が75.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」66.9%となっています。就学児では「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が65.2%と最も高く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」63.2%となっています。

○前回調査との比較をみると、未就学児及び就学児ともに「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が25ポイント以上高くなっています。また、未就学児では「不特定の就労」が13.8ポイント低くなっています。

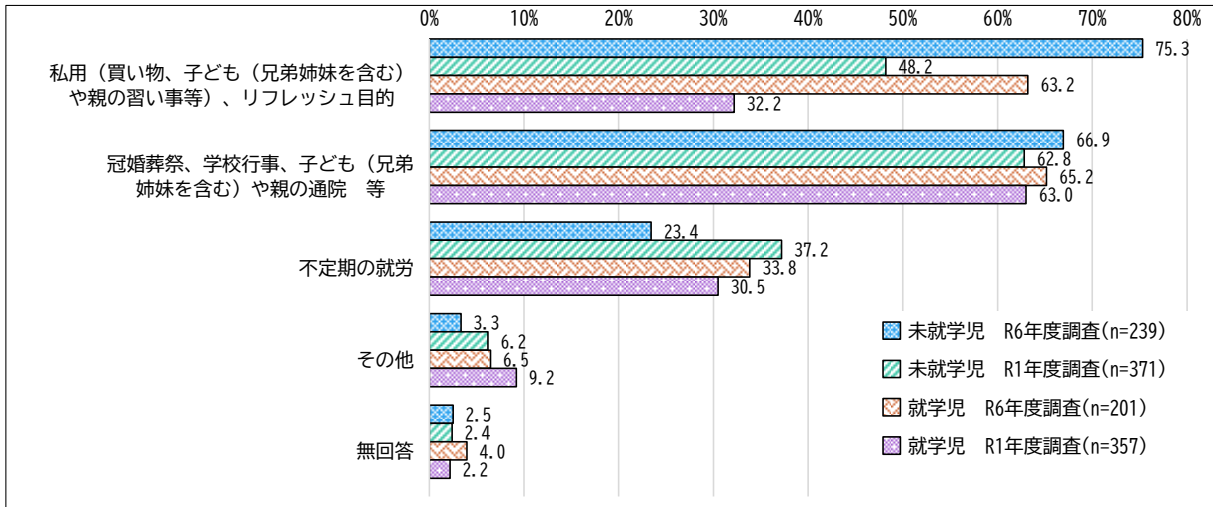
○年間の利用希望日数については、「10日以上」（未就学児：54.0%、就学児：53.2%）が最も高く、次いで「5日」（未就学児：11.3%、就学児：9.5%）となっています。

○目的別の利用希望日数について、全ての項目で「10日以上」が最も高くなっています。

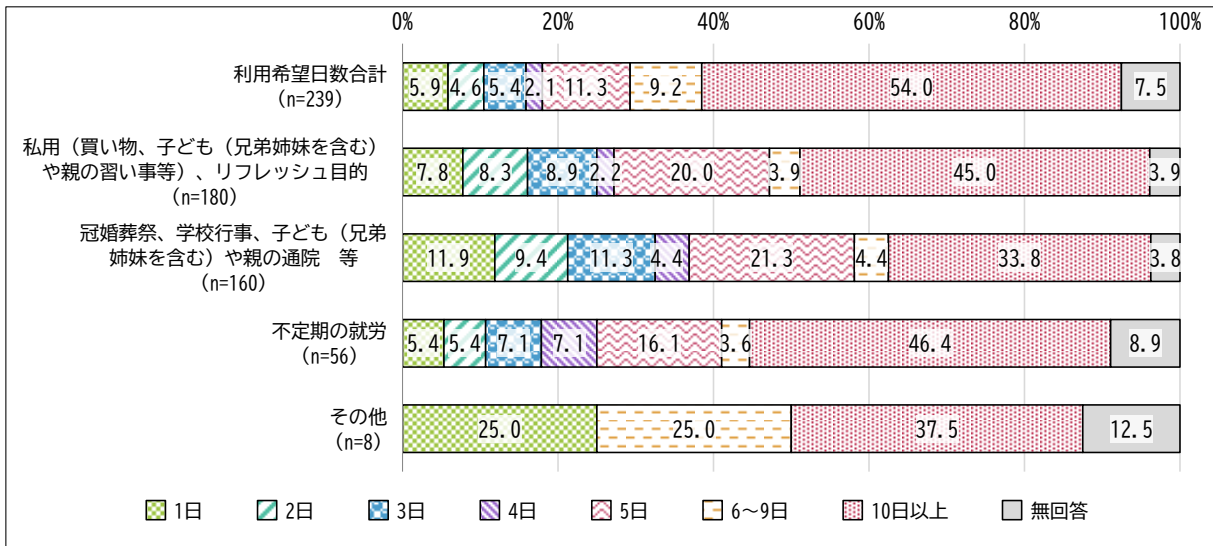
【利用希望の有無】



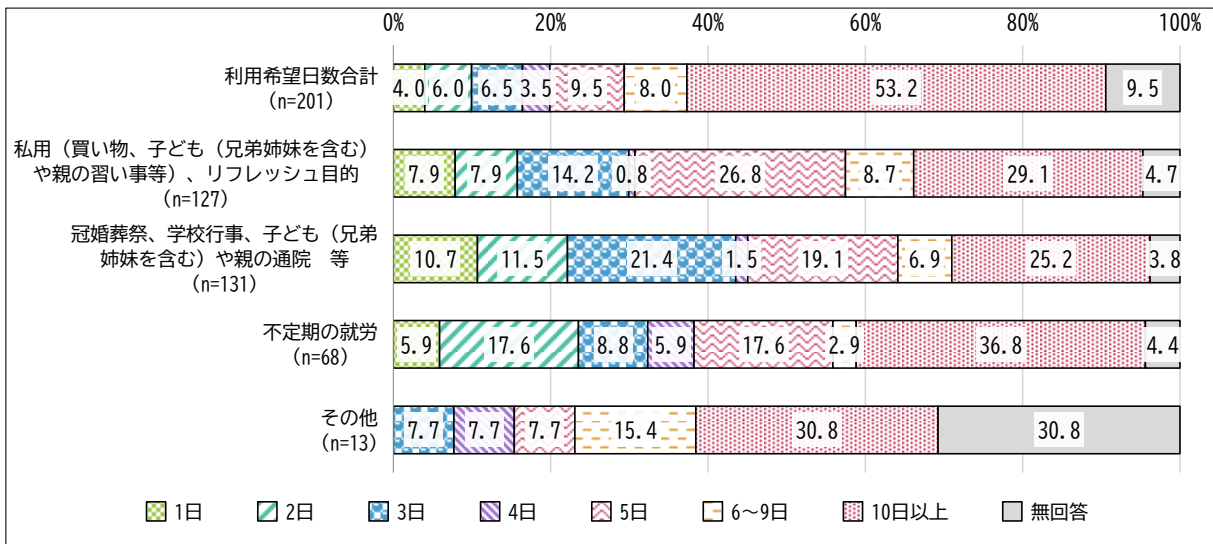
【利用目的】



【年間の利用希望日数：未就学児】



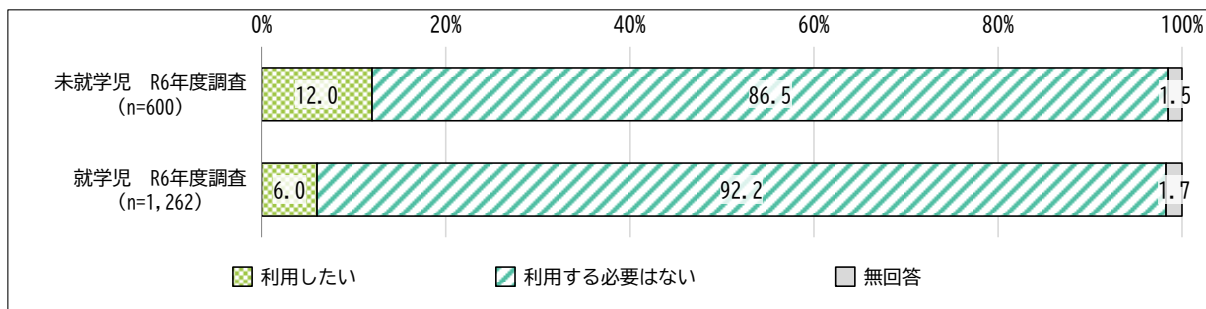
【年間の利用希望日数：就学児】



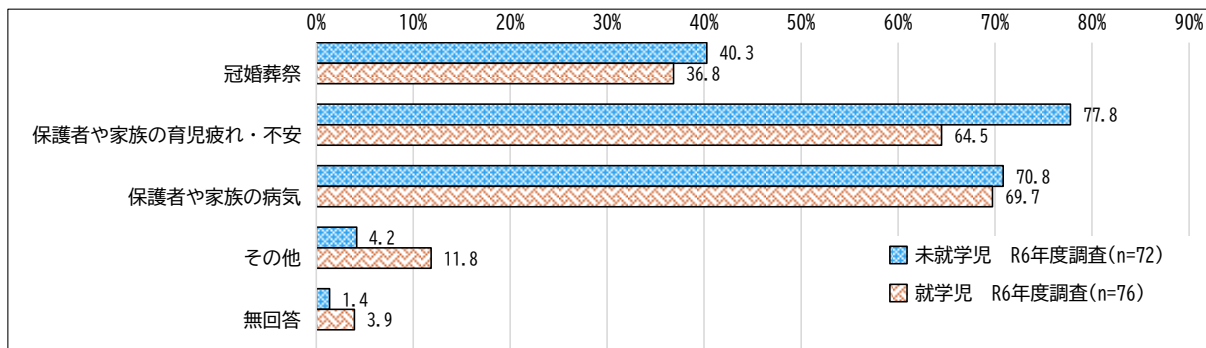
問26 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

- 「利用したい」（未就学児：12.0%、就学児：6.0%）、「利用する必要はない」（未就学児：86.5%、就学児：92.2%）となっています。
- 利用目的について、未就学児では「保護者や家族の育児疲れ・不安」が77.8%、就学児では「保護者や家族の病気」が69.7%と最も高くなっています。
- 年間の利用希望日数については、「10日以上」（未就学児：29.2%、就学児：26.3%）が最も高く、次いで未就学児では「1日」が15.3%、就学児では「6～9日」が18.4%となっています。
- 目的別の利用希望日数については、未就学児及び就学児ともに冠婚葬祭及び保護者や家族の育児疲れ・不安では「1日」が最も高くなっています。また、保護者や家族の病気については、未就学児では「5日」、就学児では「2日」が最も高くなっています。

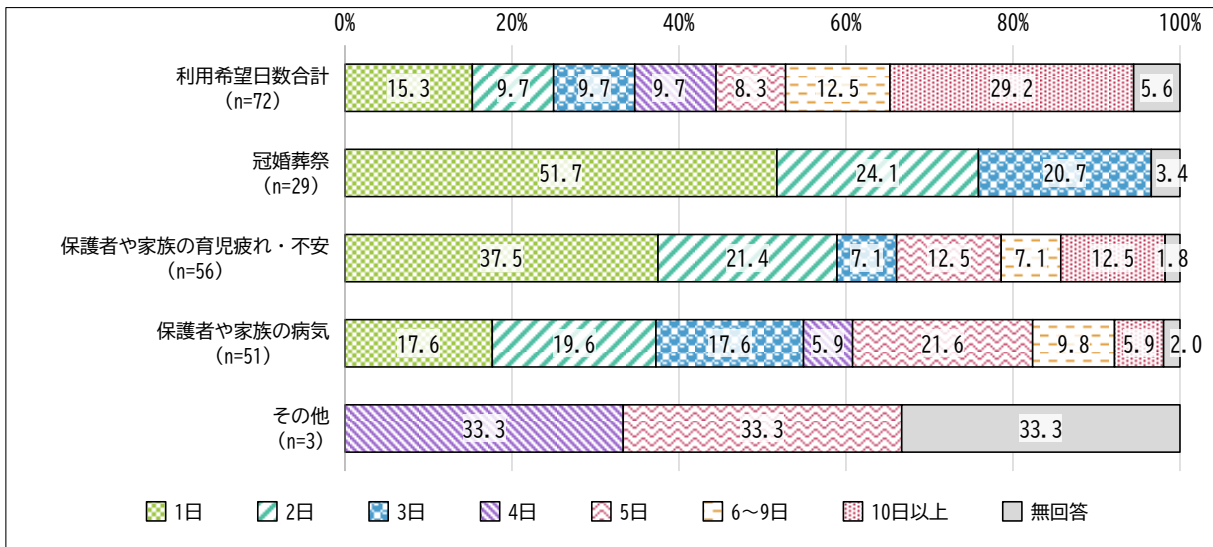
【利用希望の有無】



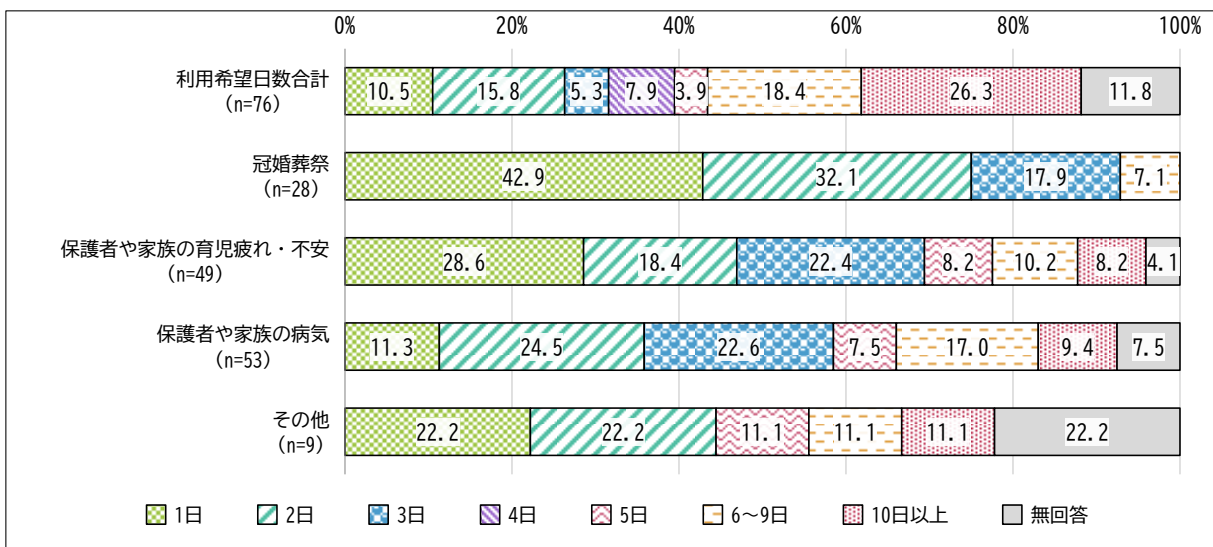
【利用目的】



【年間の利用希望日数：未就学児】



【年間の利用希望日数：就学児】



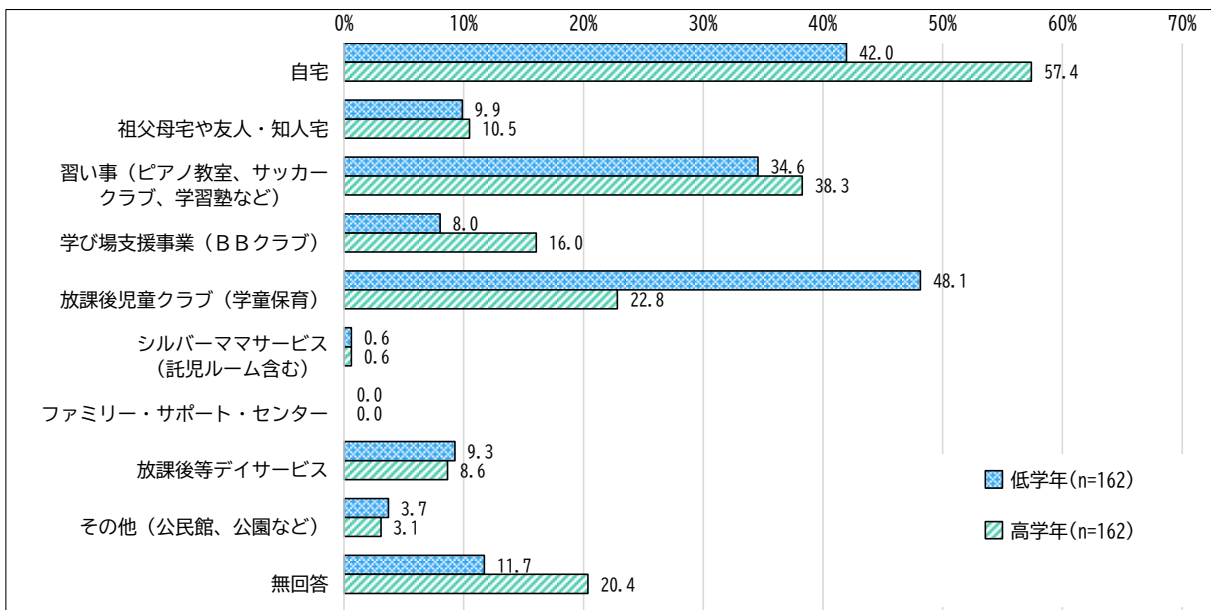
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(お子さんが5歳以上の方のみ)

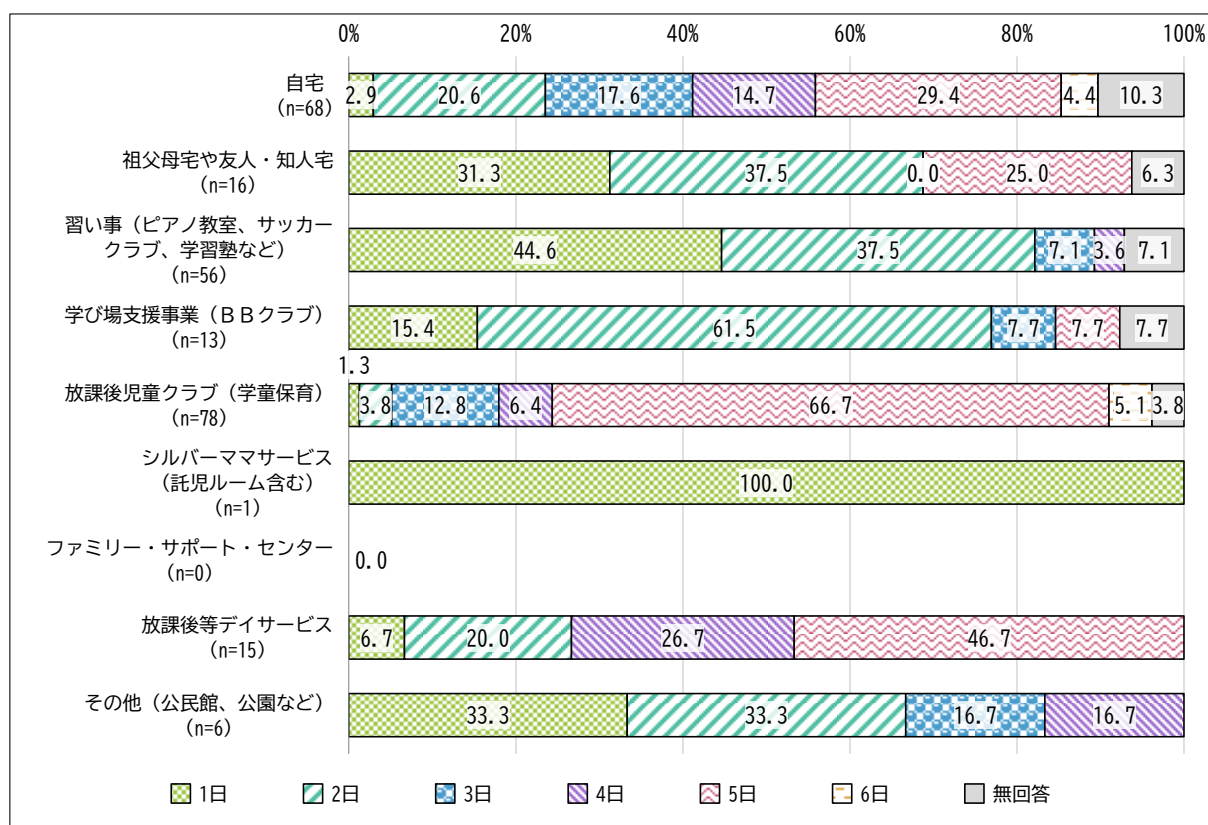
問27 お子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

○放課後過ごさせたい場所について、低学年の間では「放課後児童クラブ（学童保育）」が48.1%と最も高く、次いで「自宅」42.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」34.6%となっています。高学年の間では「自宅」が57.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」38.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」22.8%となっています。

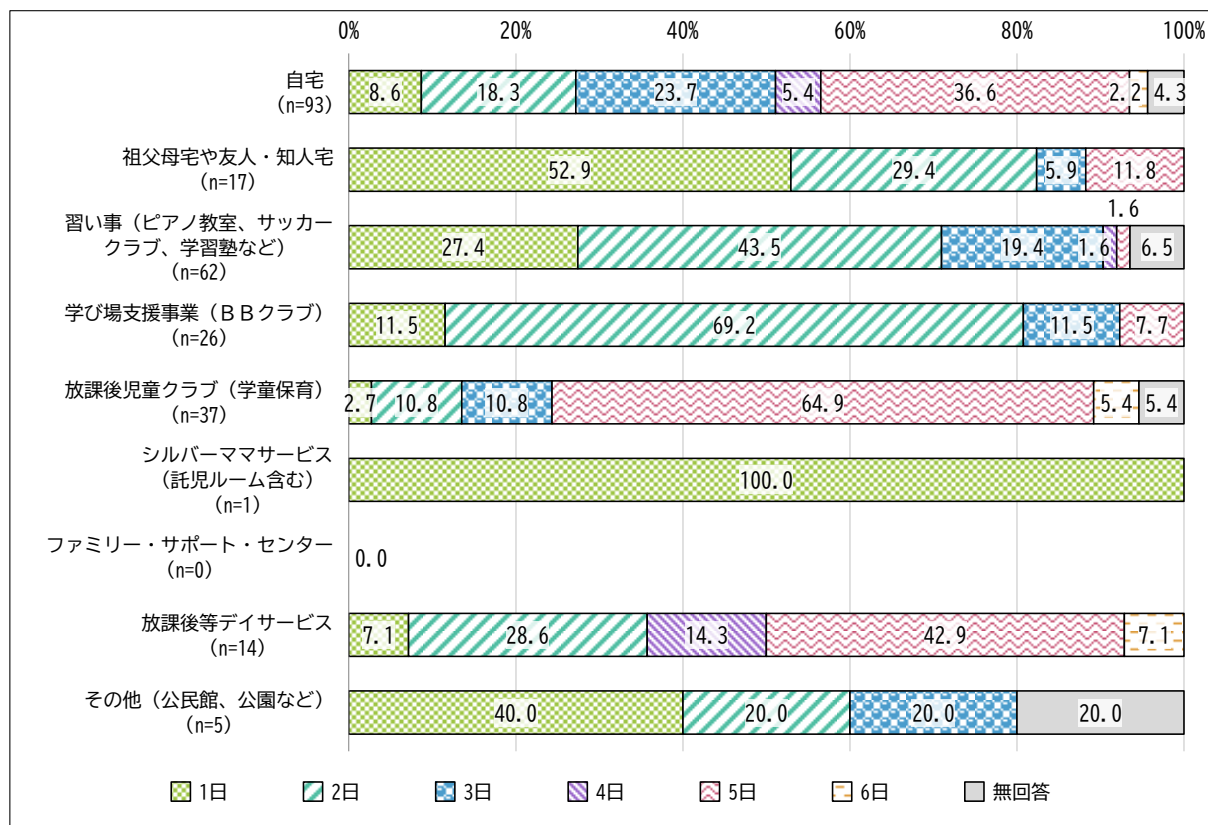
○放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望終了時間については、低学年及び高学年ともに「17時台」（低学年：41.0%、高学年：43.2%）が最も高くなっています。



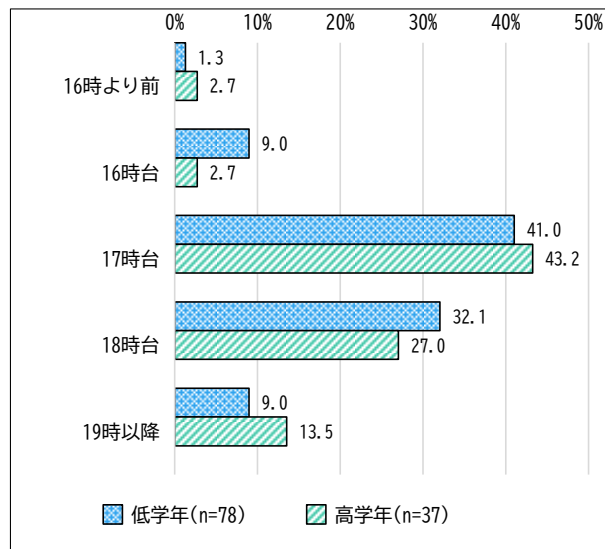
【週当たりの日数：低学年】



【週当たりの日数：高学年】



【放課後児童クラブ（学童保育）の終了時刻】



(お子さんが5歳以上の方のみ)

問27-1 選んだ場所を希望する理由は何ですか。(自由記述)

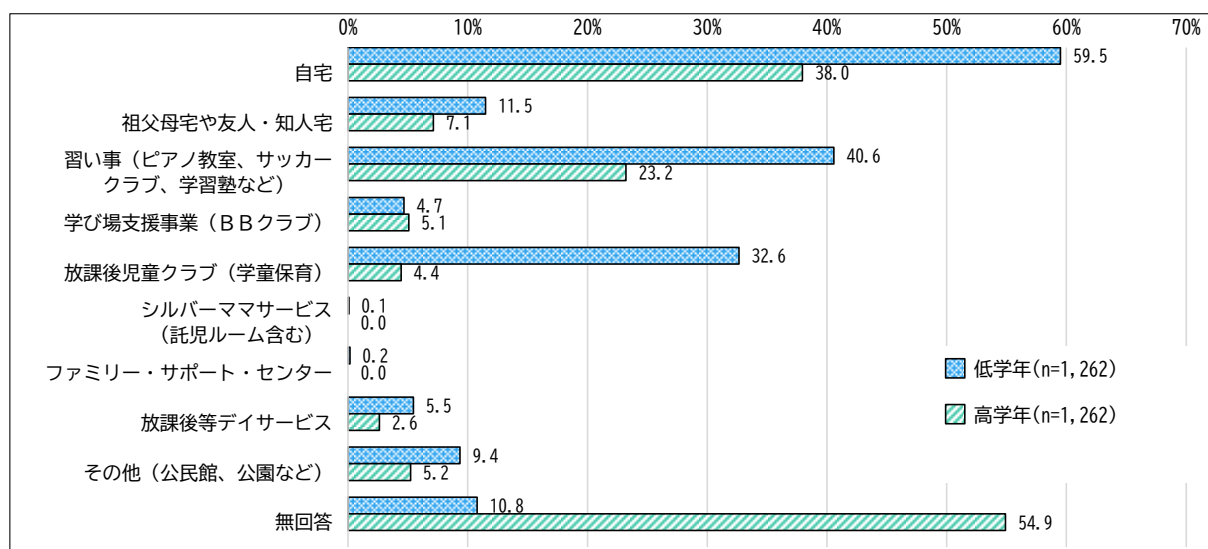
安全・安心・心配 (73)
親の就労 (47)
経験を積ませたい (22)
家族がいる (16)
利便性 (11)
支援が必要 (10)
きょうだいと同じ (9)
本人や親の希望 (7)
学習や生活の習慣 (5)
友達と遊ぶ (4)
留守番 (4)
子どもや家族の負担を減らす (4)
学童利用不可 (4)
他にない (2)
その他 (9)

(小学生向け調査のみ)

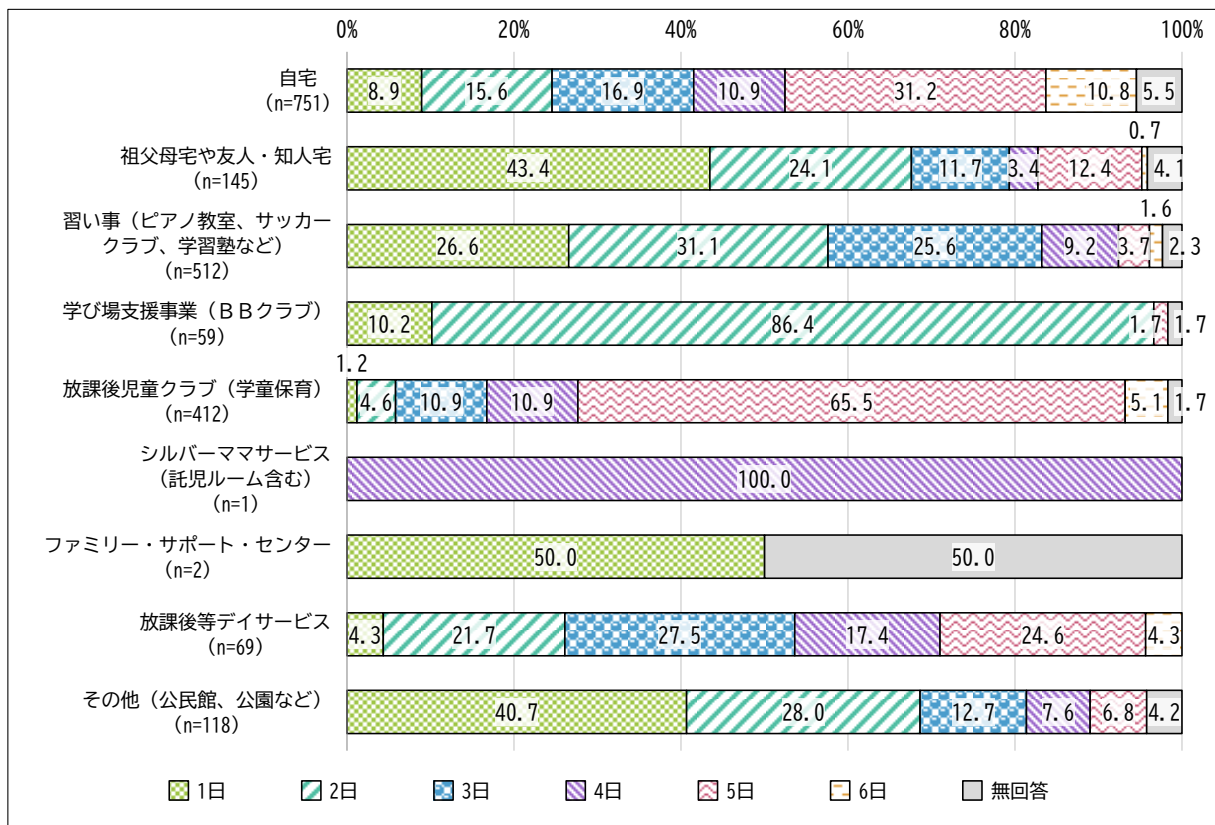
■ お子さんは、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか (いましたか)。

○放課後過ごしている場所について、低学年の間では「自宅」が59.5%と最も高く、次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」40.6%、「放課後児童クラブ (学童保育)」32.6%となっています。高学年の間では「自宅」が38.0%と最も高く、次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」23.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」7.1%となっています。

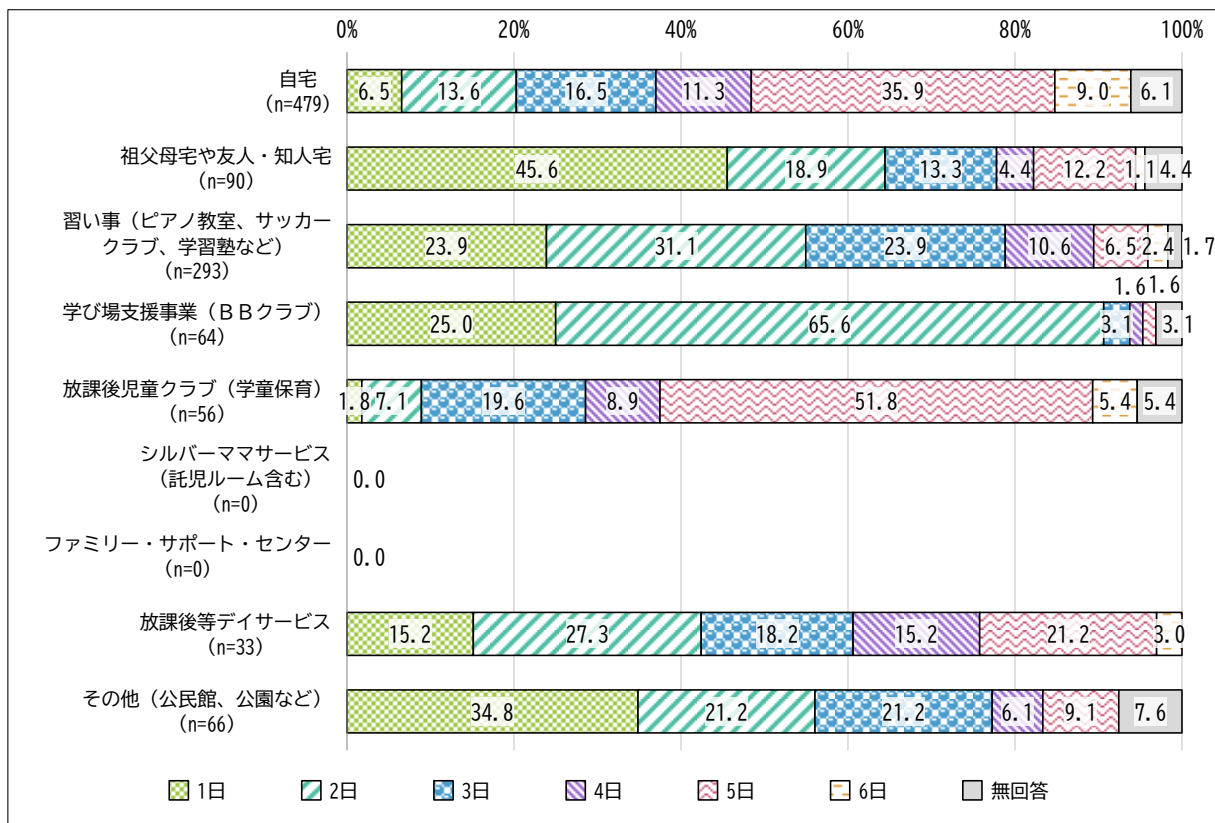
○放課後児童クラブ (学童保育) の利用希望終了時間については、低学年及び高学年ともに「17時台」(低学年：49.0%、高学年：53.6%) が最も高くなっています。



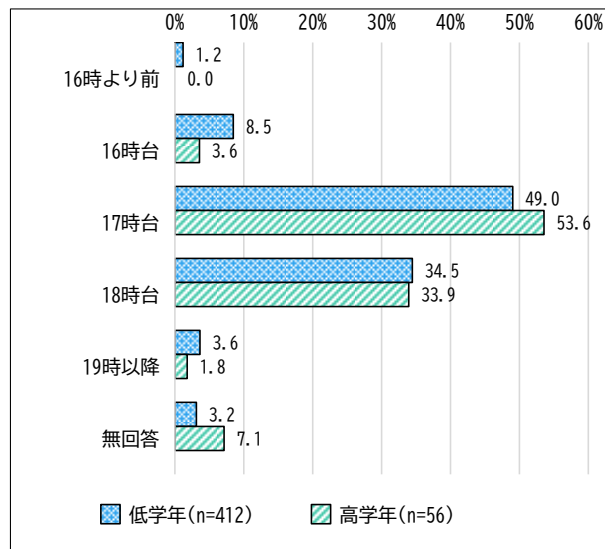
【週当たり日数：低学年】



【週当たり日数：高学年】



【放課後児童クラブ（学童保育）の終了時刻】



(小学生向け調査のみ)

■ 上記で選んだ場所で過ごす（過ごした）理由は何ですか。（自由記述）

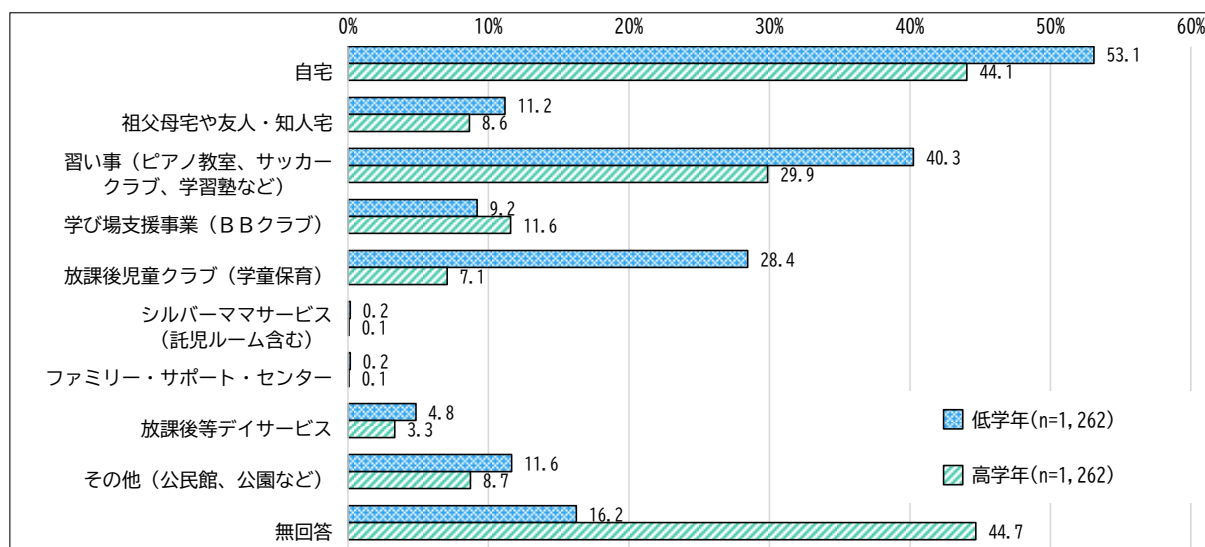
安全・安心・心配（114）
親の就労（96）
家族がいる（86）
本人や親の希望（70）
友達と遊ぶ（42）
経験を積ませたい（24）
留守番（23）
利便性（20）
学童をやめた・利用できない（18）
他にない（18）
支援が必要（17）
子どもや家族の負担をへらす（8）
学習や生活の習慣（7）
きょうだいと同じ（6）
自宅にいる（6）
経済的な問題（4）
自宅に誰もいない（4）
1人で居る時間が少なくなった（2）
その他（22）

(小学生向け調査のみ)

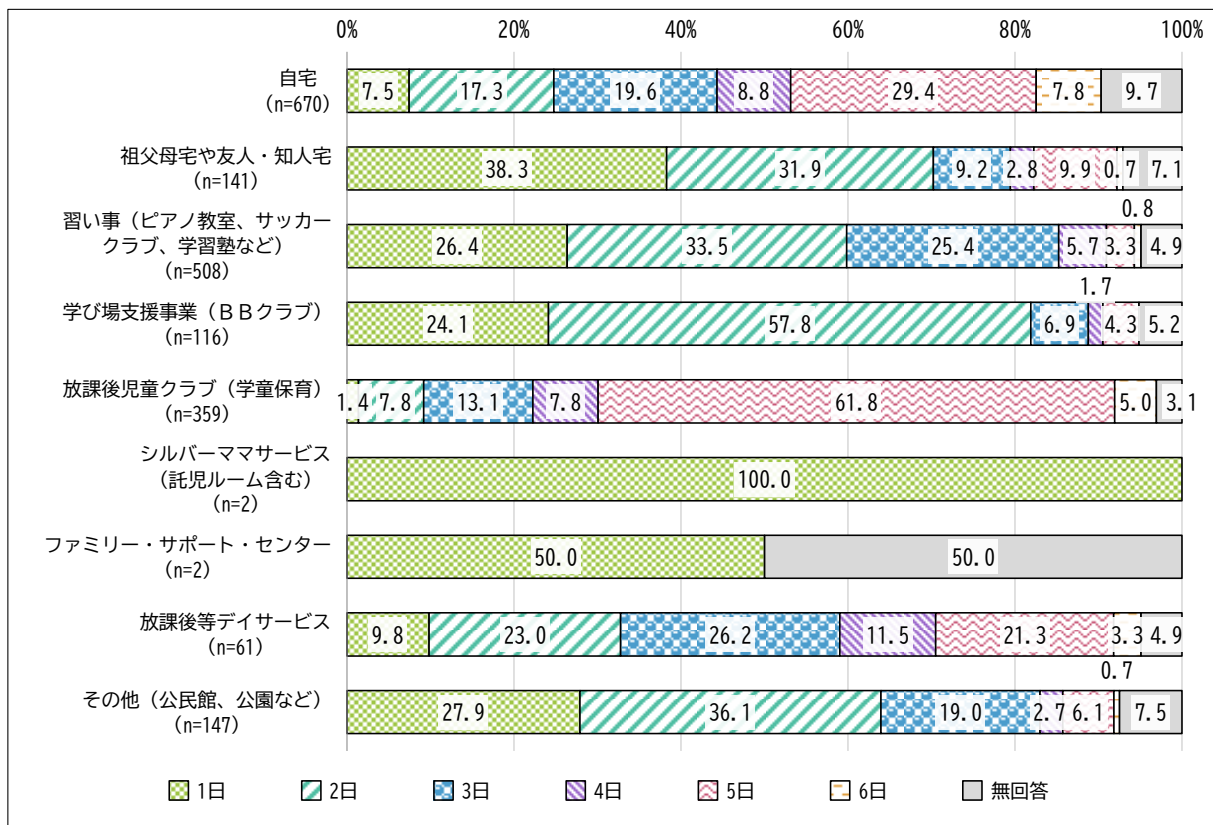
問22 放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

○放課後過ごさせたい場所について、低学年の間では「自宅」が53.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」40.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」28.4%となっています。高学年の間では「自宅」が44.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」29.9%、「学び場支援事業（BBクラブ）」22.8%となっています。

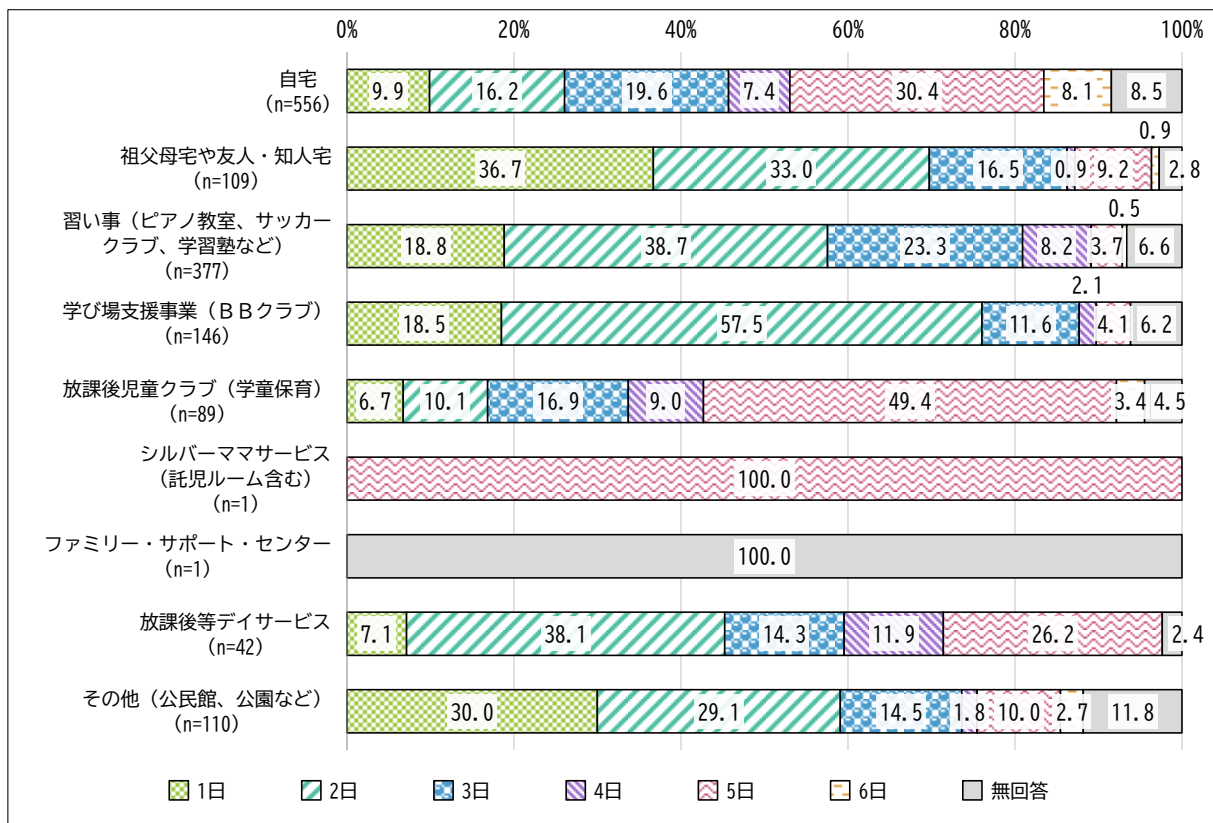
○放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望終了時間については、低学年及び高学年ともに「17時台」（低学年：45.7%、高学年：44.9%）が最も高くなっていますが、高学年では「18時台」も41.6%と4割を超えています。



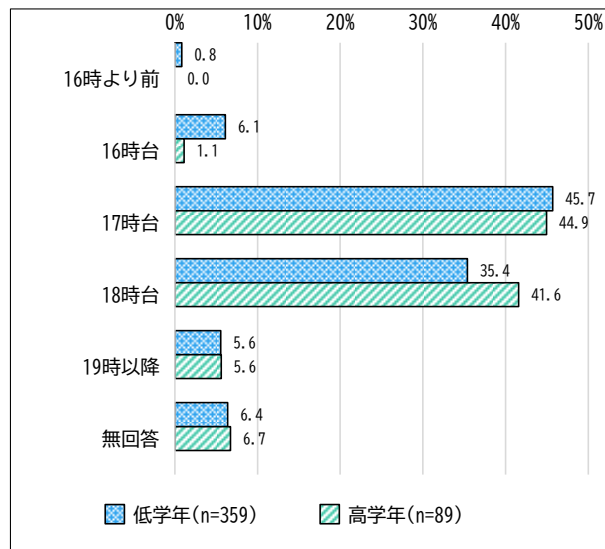
【週当たり日数：低学年】



【週当たり日数：高学年】



【放課後児童クラブ（学童保育）の終了時刻】



(小学生向け調査のみ)

■ 上記で選んだ場所で過ごす（過ごした）理由は何ですか。（自由記述）

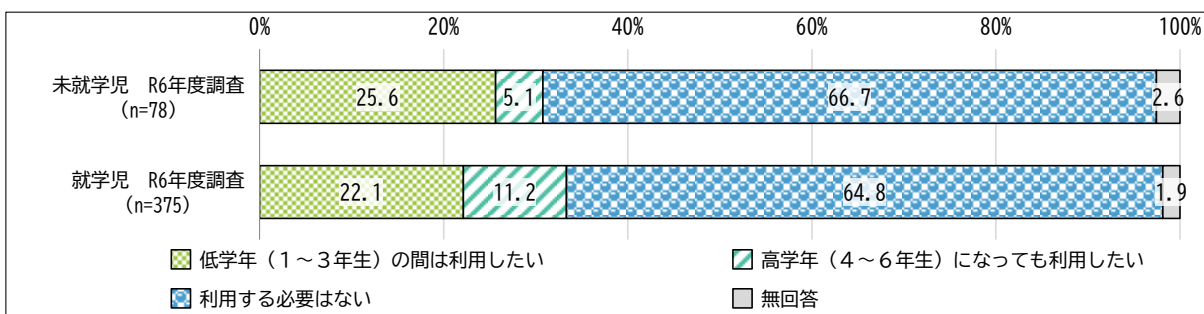
経験を積ませたい（108）
安全・安心・心配（106）
本人や親の希望（57）
友達と遊ぶ（38）
学習や生活習慣（28）
子どもや家族の負担をへらす（28）
親の就労（27）
現状維持（25）
家族がいる（24）
留守番（13）
利便性（12）
学童をやめた・利用できない（9）
他にない（6）
経済的な問題（6）
きょうだいと同じ（5）
家で充分（2）
送り迎えが間に合わない（2）
その他（13）

**問28 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
（単数回答）**

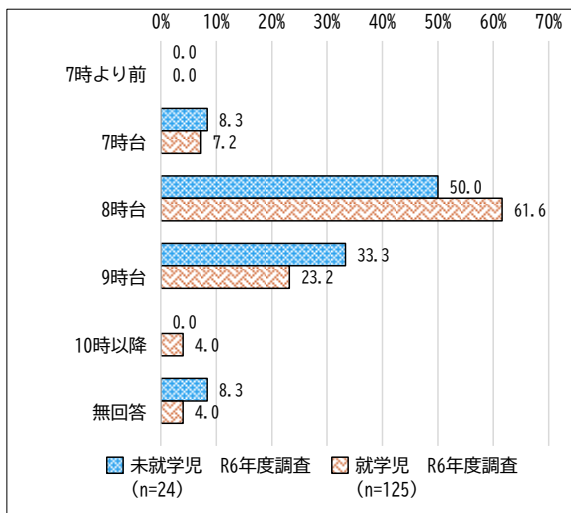
（1）土曜日

○土曜日の利用希望については、未就学児及び就学児ともに「利用する必要はない」（未就学児：66.7%、就学児：64.8%）が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（未就学児：25.6%、就学児：22.1%）となっています。

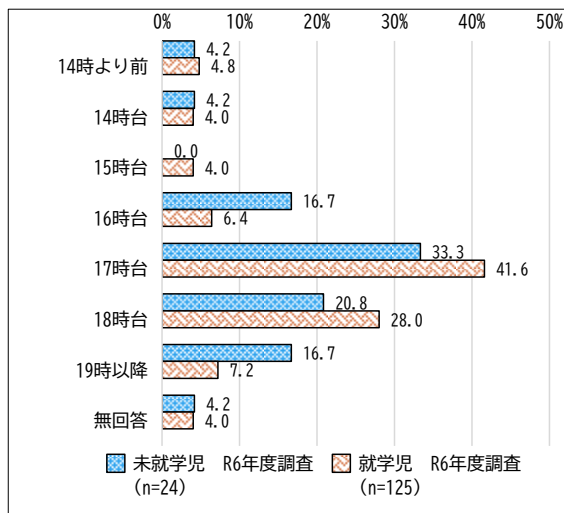
○土曜日の利用希望時刻について、開始時刻では未就学児及び就学児ともに「8時台」（未就学児：50.0%、就学児：61.6%）が最も高く、5割を超えています。また、終了時刻では未就学児及び就学児ともに「17時台」（未就学児：33.3%、就学児：41.6%）が最も高くなっています。



【利用希望：開始時間】



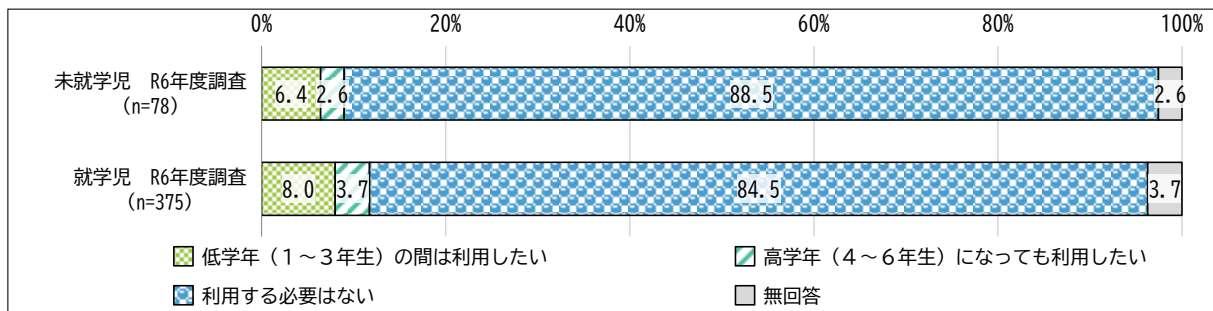
【利用希望：終了時間】



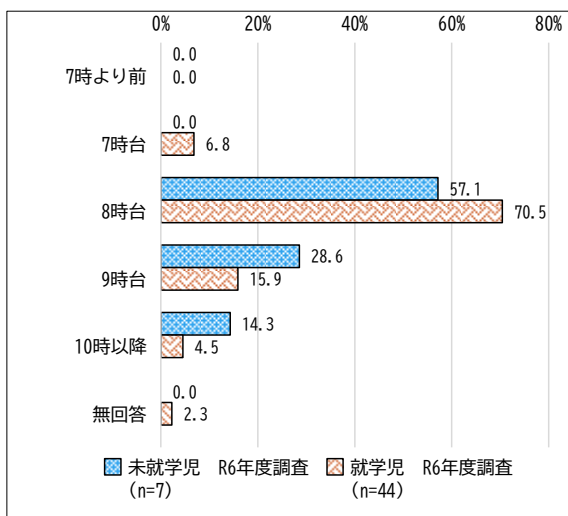
(2) 日曜・祝日

○日曜・祝日の利用希望については、未就学児及び就学児ともに「利用する必要はない」(未就学児：88.5%、就学児：84.5%)が最も高く、8割を超えています。

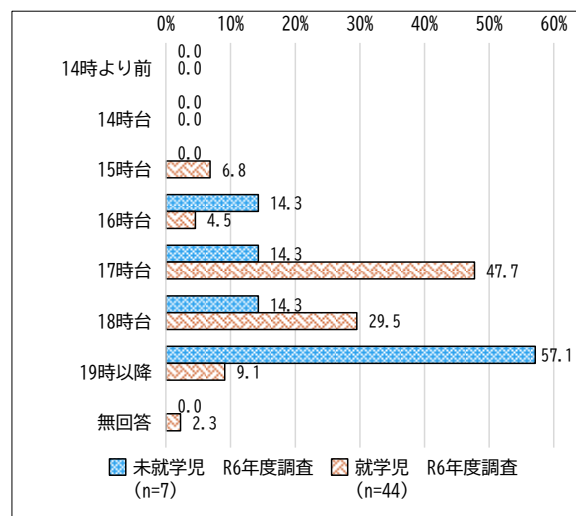
○日曜・祝日の利用希望時刻について、開始時刻では未就学児及び就学児ともに「8時台」が最も高く、特に就学児では70.5%と7割台となっています。また、終了時刻では未就学児では「19時以降」が57.1%、就学児では「17時台」が47.7%と最も高くなっています。



【利用希望：開始時間】



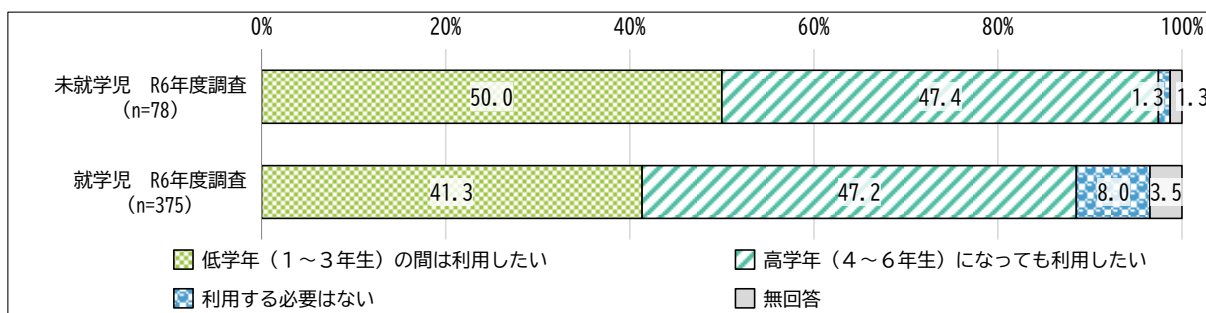
【利用希望：終了時間】



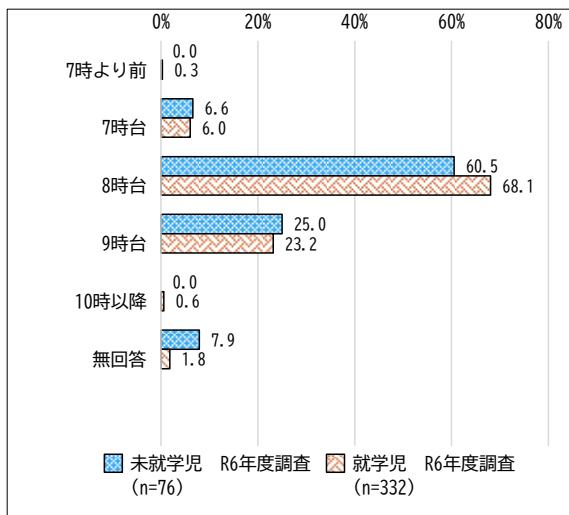
問29 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（単数回答）

○長期休暇期間中の利用希望について、未就学児では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が50.0%、就学児では「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が47.2%と最も高くなっています。

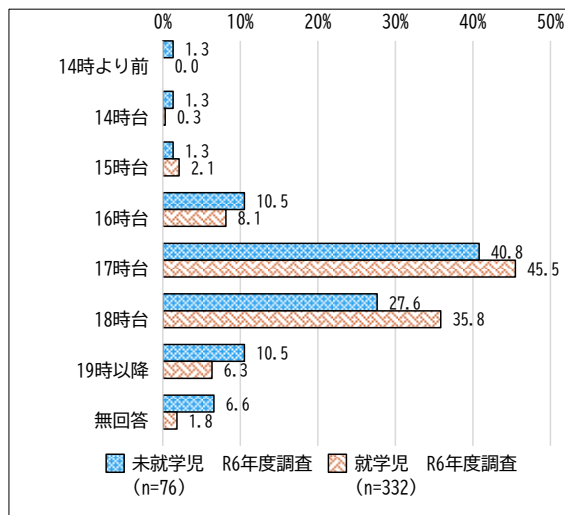
○長期休暇期間中の利用希望時刻について、開始時刻では未就学児及び就学児ともに「8時台」（未就学児：60.5%、就学児：68.1%）、終了時刻では未就学児及び就学児ともに「17時台」（未就学児：40.8%、就学児：45.5%）が最も高くなっています。



【利用希望：開始時間】



【利用希望：終了時間】



10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問30 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

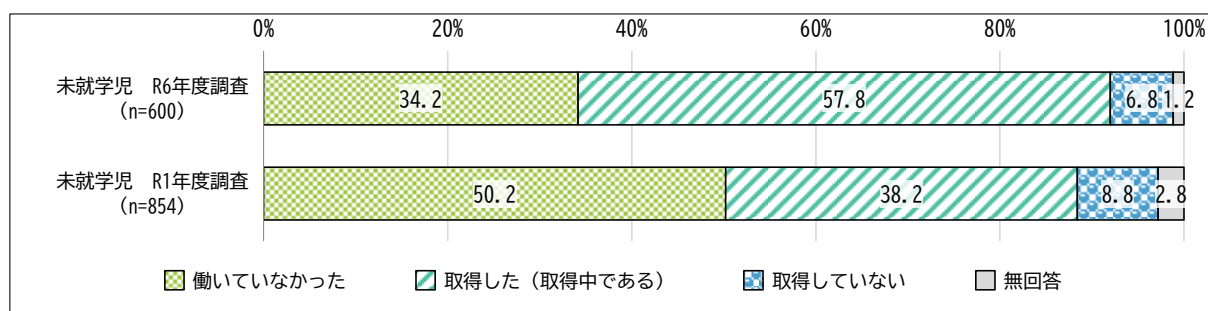
(1) 母親

○育児休業の取得について、母親では「取得した（取得中である）」が57.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」34.2%となっています。

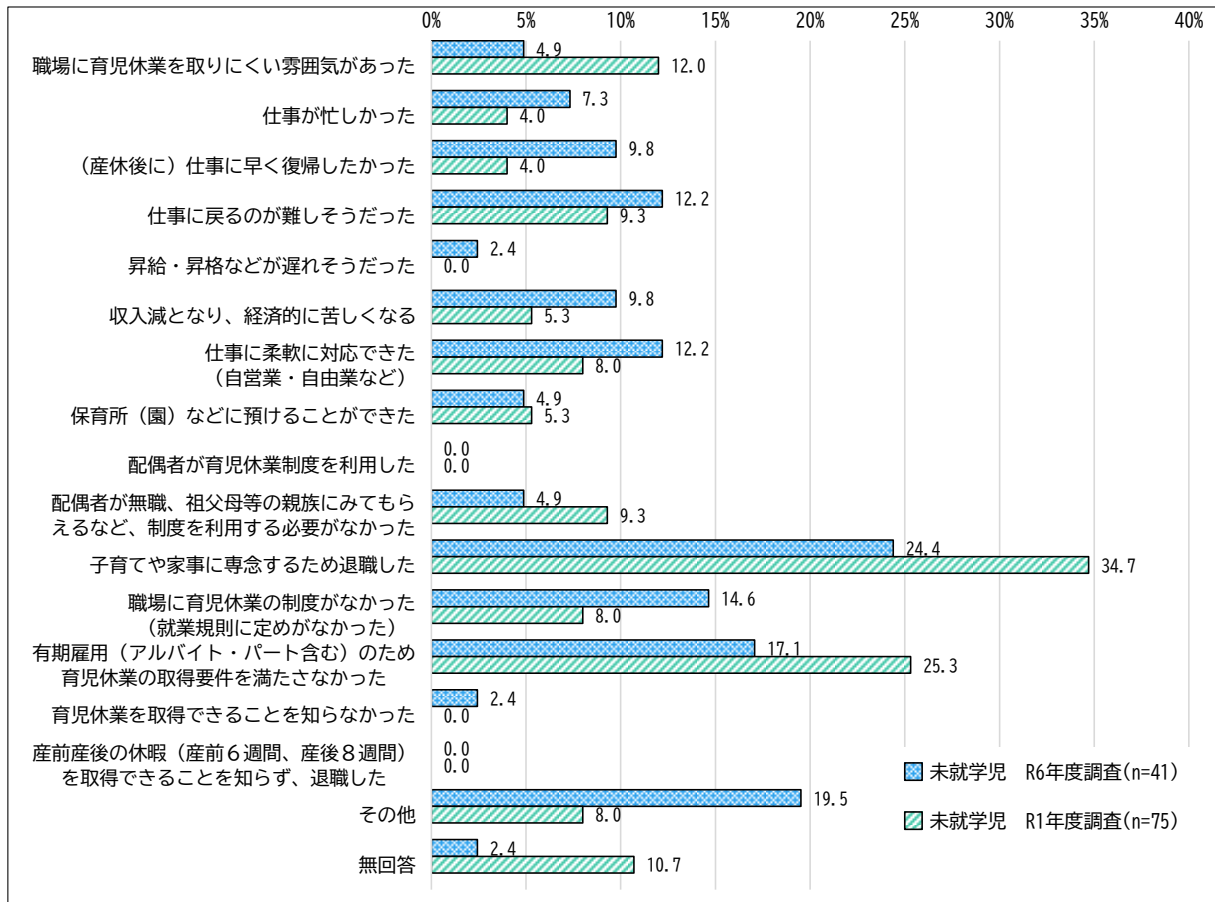
○前回調査との比較をみると、「取得した（取得中である）」が高く、「働いていなかった」が低くなっており、15ポイント以上差が生じています。

○取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が24.4%と最も高く、次いで「その他」19.5%、「有期雇用（アルバイト・パートを含む）のため育児休業の取得要件を満たさなかった」17.1%となっています。

○前回調査との比較をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が10.3ポイント低くなっています。

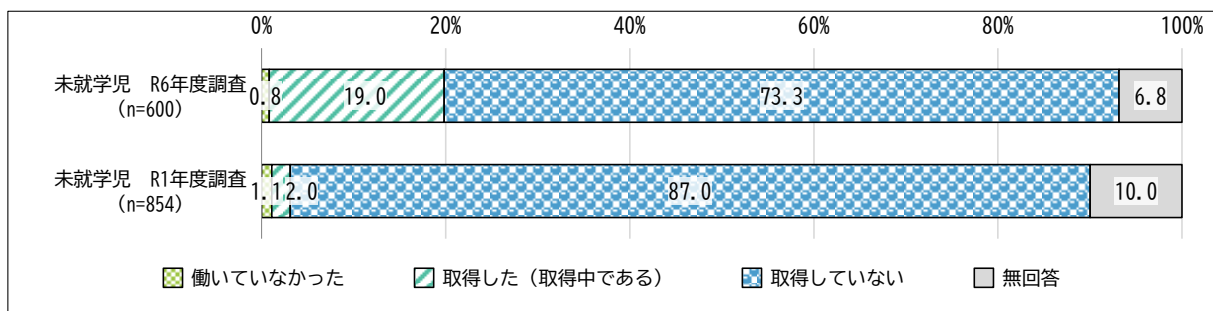


【取得していない理由】

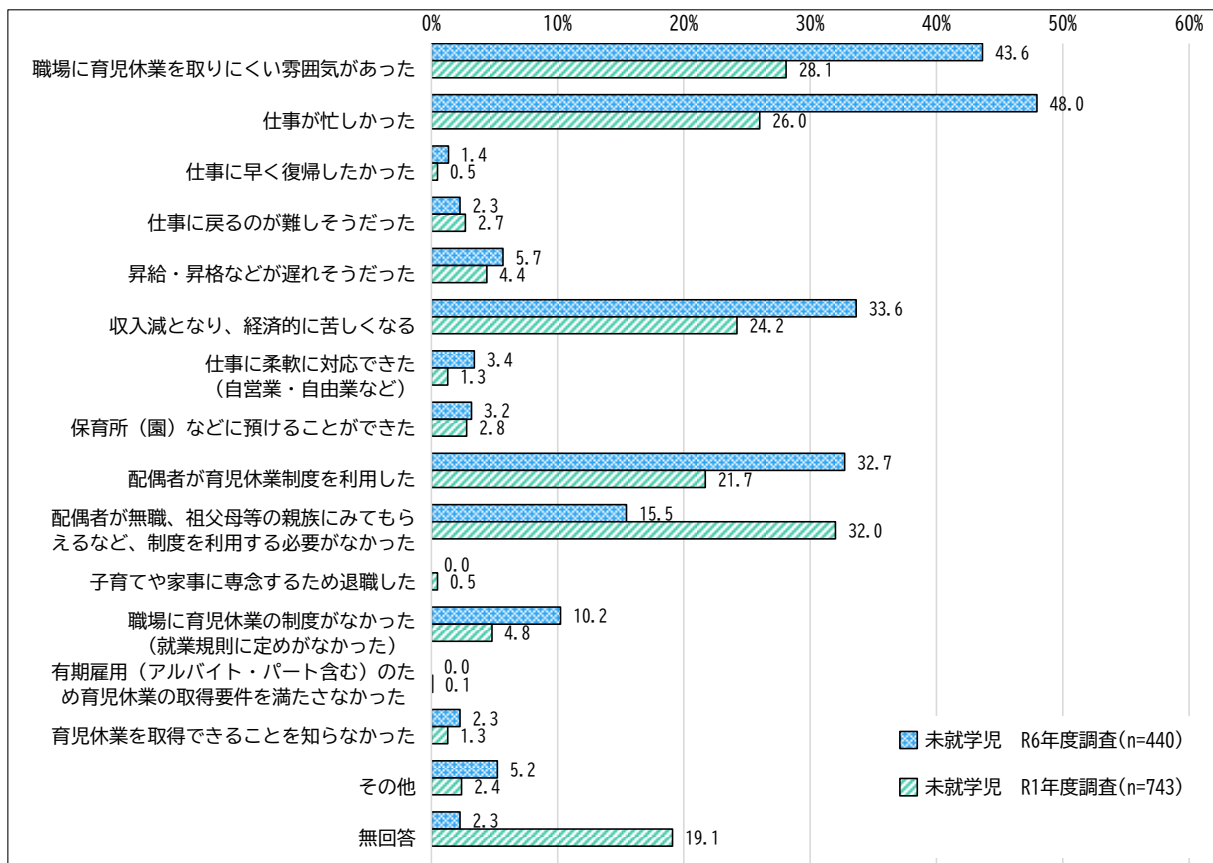


(2) 父親

- 育児休業の取得について、父親では7割強が「取得していない」(73.3%)と回答しています。
- 前回調査との比較をみると、「取得した(取得中である)」が17.0ポイント高くなっています。
- 取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が48.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」43.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」33.6%となっています。
- 前回調査との比較をみると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」「配偶者が育児休業制度を利用した」が高く、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

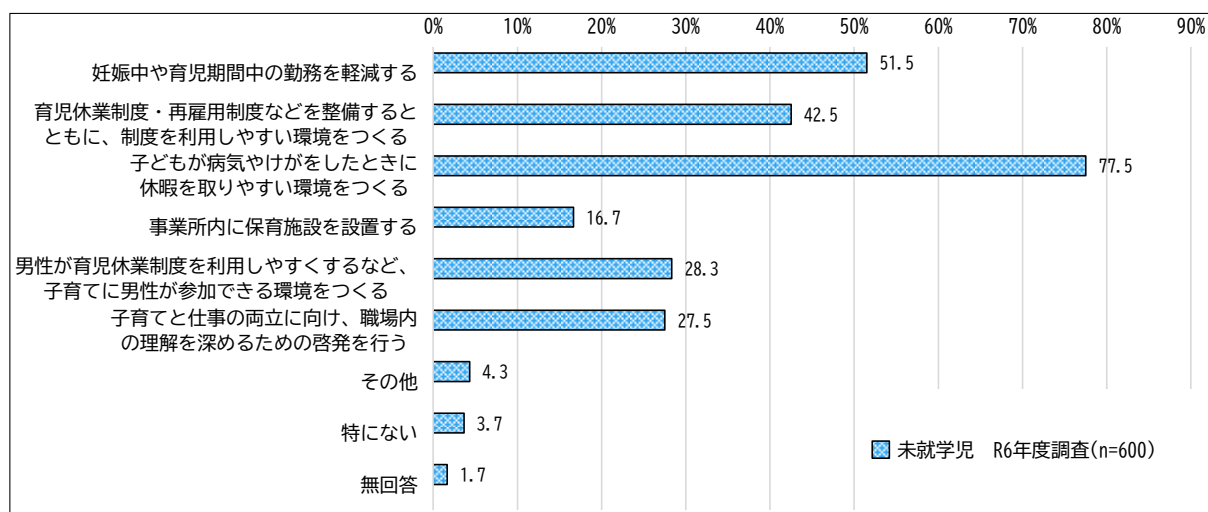


【取得していない理由】



問3 1 子育てと仕事の両立支援として、勤務先にどのようなことを期待しますか。
(複数回答)

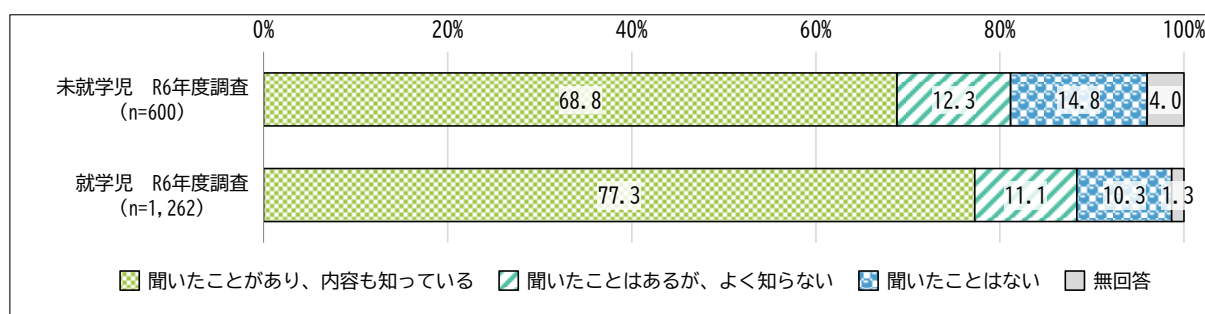
○「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」が77.5%と最も高く、次いで「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」51.5%、「育児休業制度・再雇用制度などを整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」42.5%となっています。



11. ヤングケアラーについて

問32 「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(単数回答)

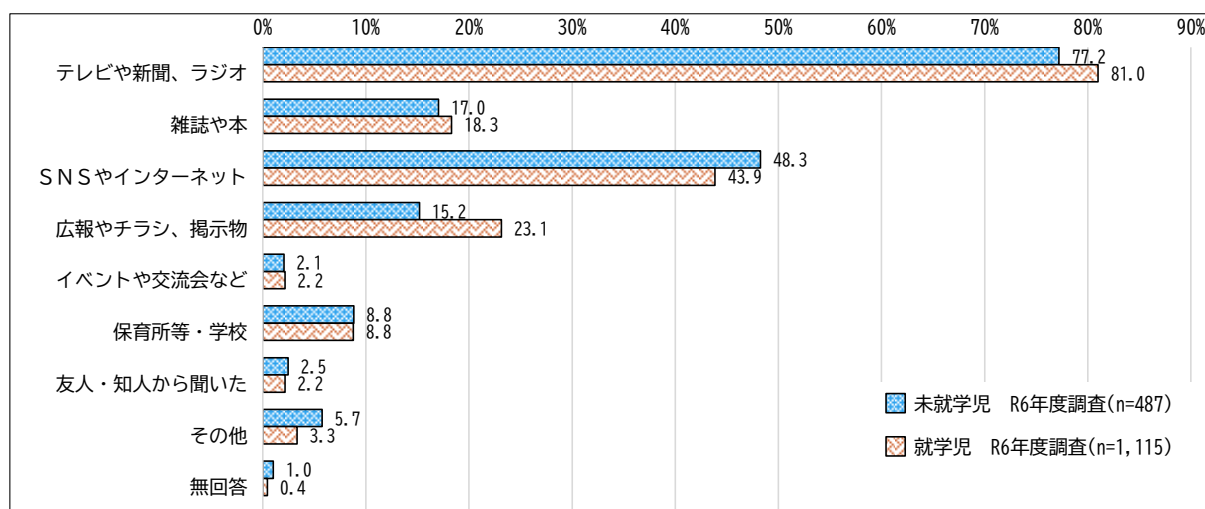
○未就学児及び就学児ともに「聞いたことがあり、内容も知っている」(未就学児：68.8%、就学児：77.3%)が最も高く、6割を超えています。



問32で「1」または「2」と回答した方のみ

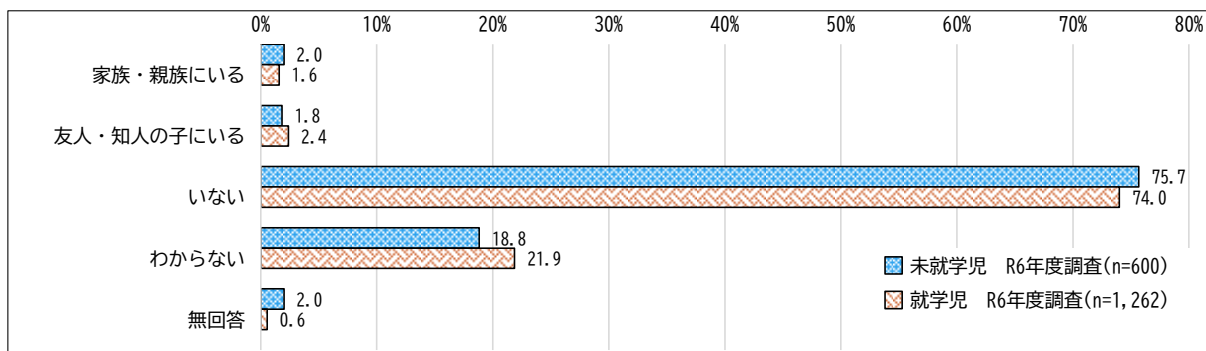
問32-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(複数回答)

○未就学児及び就学児ともに「テレビや新聞、ラジオ」(未就学児：77.2%、就学児：81.0%)が最も高く、次いで「SNS やインターネット」(未就学児：48.3%、就学児：43.9%)となっています。



問33 あなたの家族や親族、または友人・知人のお子さまに「ヤングケアラー」にあてはまる子どもがいますか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「いない」(未就学児：75.7%、就学児：74.0%)が最も高く、7割を超えています。

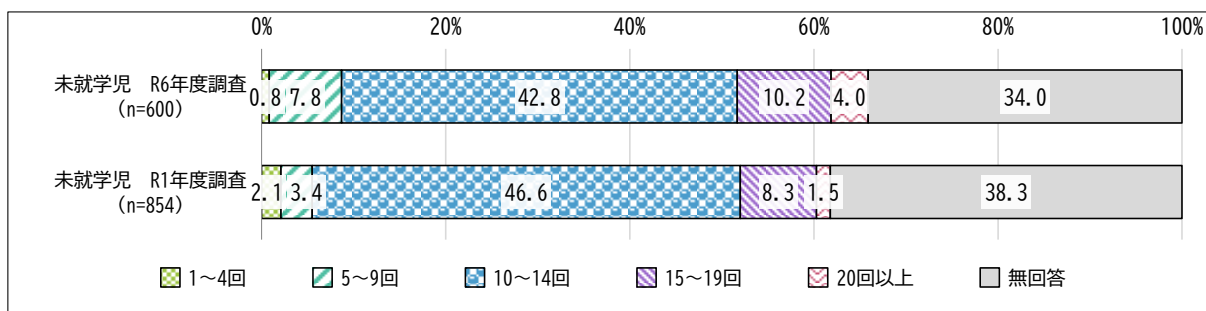


12. これからの子ども・子育て支援全般について

対象のお子さんを出産した方のみ

問34 妊娠中に妊婦健診を何回受けましたか。(単数回答)

○「10～14回」が42.8%と最も高く、次いで「15～19回」10.2%となっており、5割以上が妊婦健診を10回以上受けています。



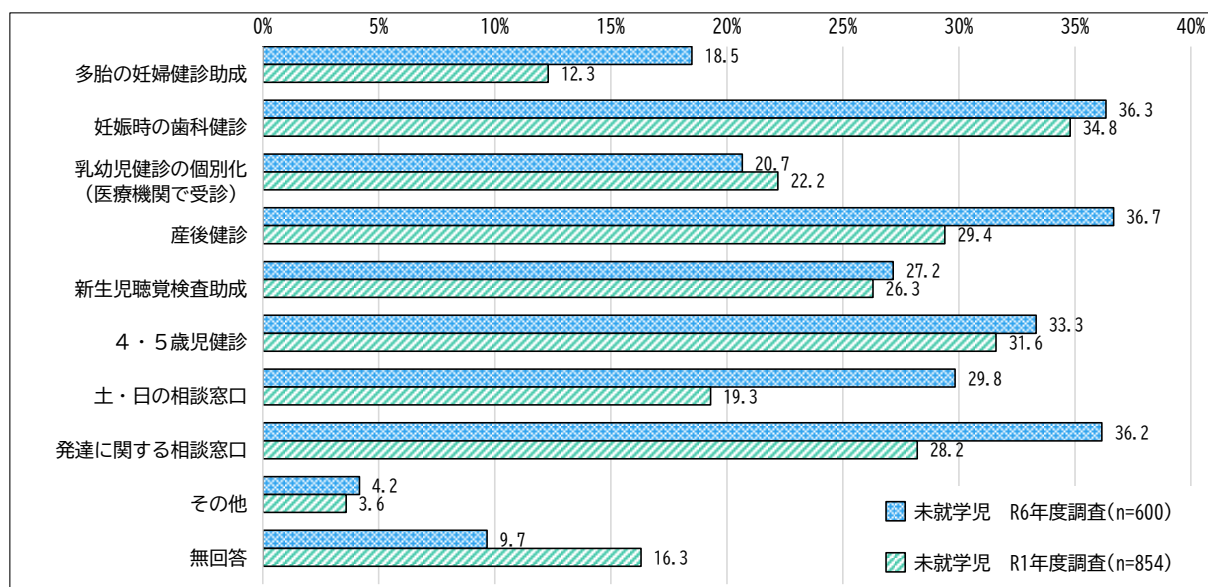
問35 乳児家庭全戸訪問事業を受けてどのようなことを感じましたか。(自由記述)

安心した (50)
負担だった (13)
不必要だった (4)
何回か来てほしい (3)
受けていない (2)
その他 (10)

問36 次の事業のなかで特に新規の実施や充実・拡充をした方がいい事業は何ですか。(単数回答)

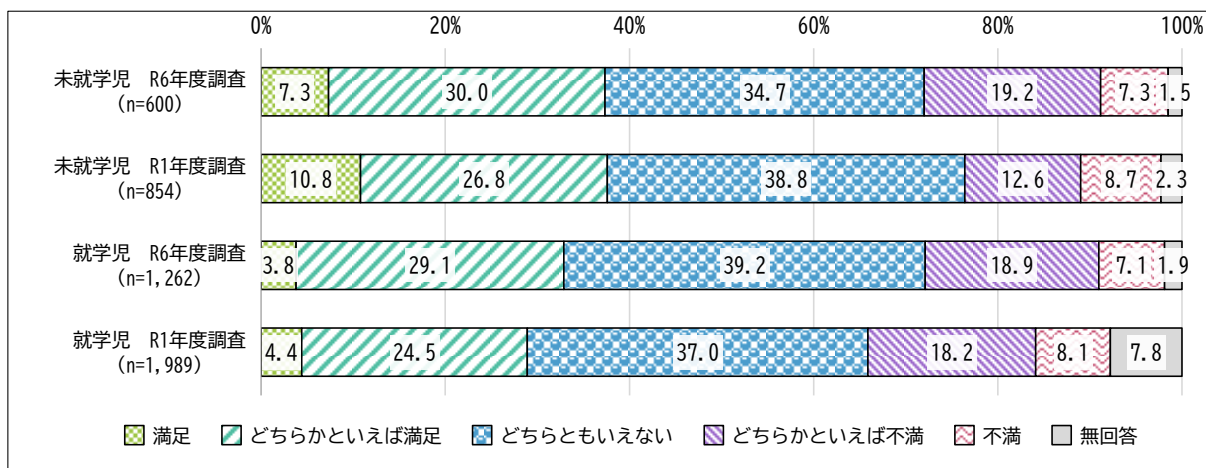
○「産後健診」が 36.7%と最も高く、次いで「妊娠時の歯科健診」36.3%、「発達に関する相談窓口」36.2%となっています。

○前回調査との比較をみると、「土・日の相談窓口」が10.5ポイント高くなっています。



問37 小都市における子育ての環境や支援に満足していますか。(単数回答)

○未就学児及び就学児ともに「どちらともいえない」(未就学児：34.7%、就学児：39.2%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足」(未就学児：30.0%、就学児：29.1%)となっています。



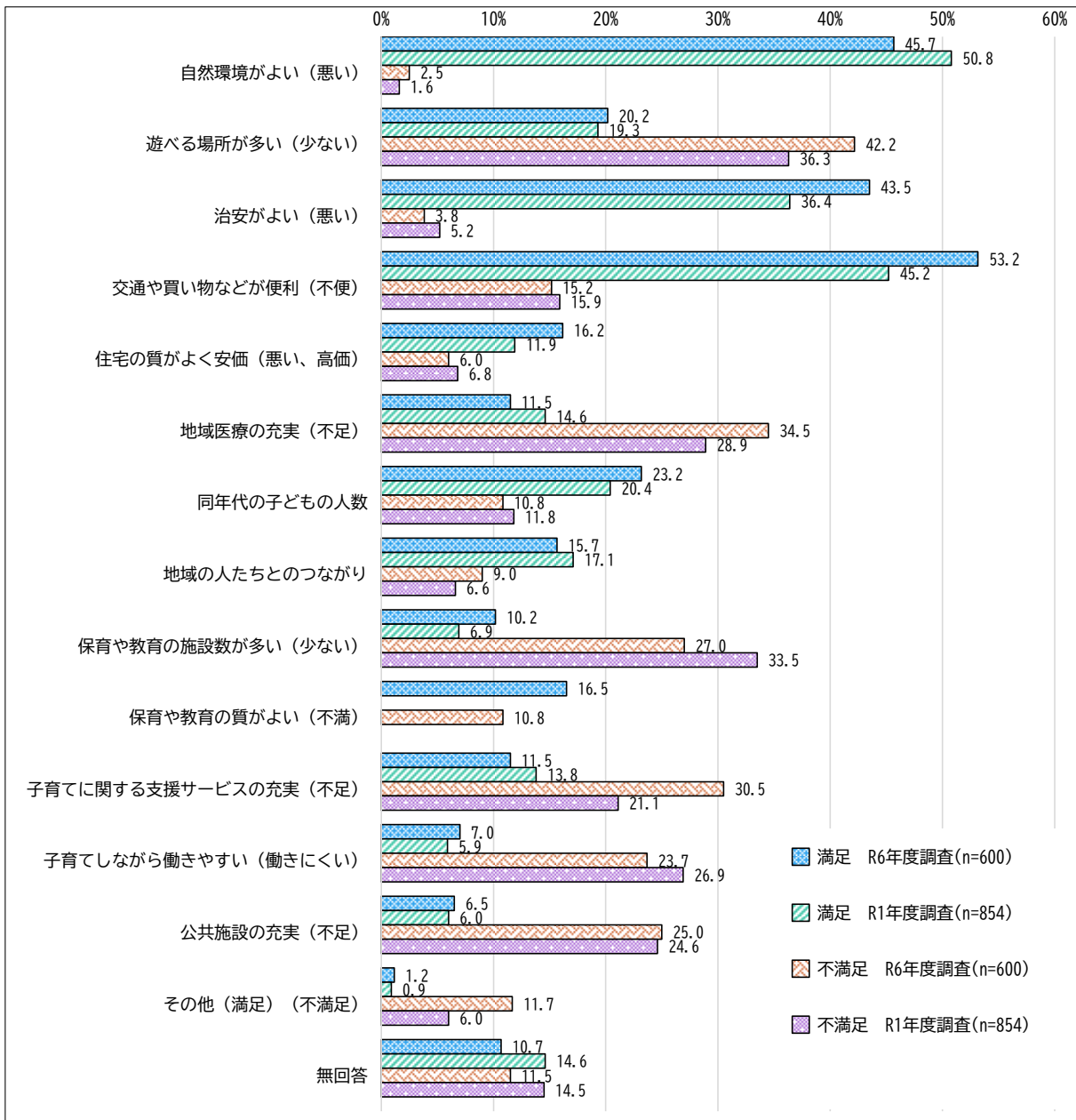
問38 小郡市の子育ての環境や支援について満足している点、不満足な点は何ですか。
(単数回答)

○満足している点について、未就学及び就学児ともに「交通や買い物などが便利」(未就学児：53.2%、就学児：47.9%)が最も高く、次いで「自然環境がよい」(未就学児：45.7%、就学児：44.4%)、「治安が良い」(未就学児：43.5%、就学児：38.4%)となっています。

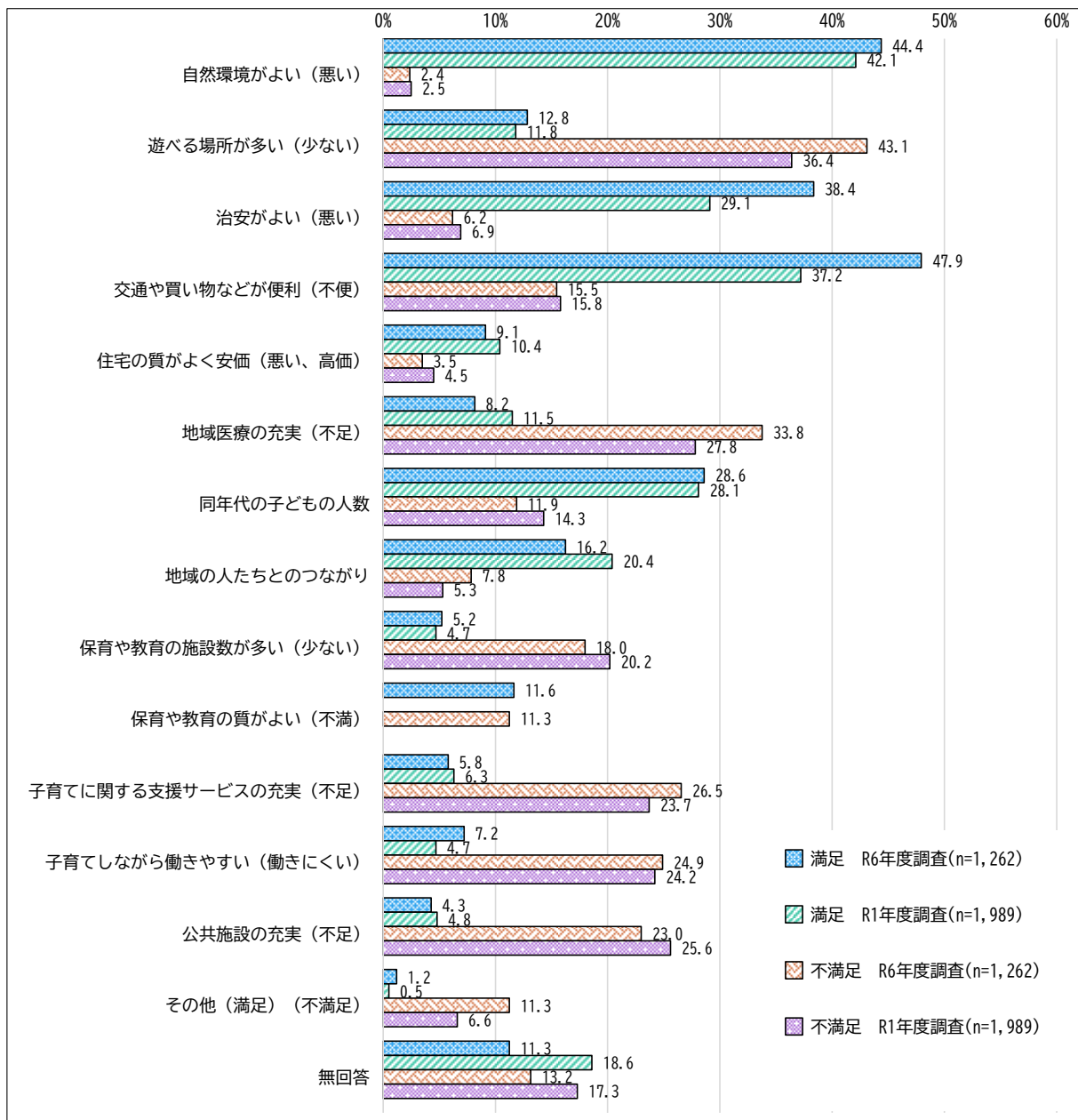
○不満足な点について、未就学及び就学児ともに「遊べる場所が少ない」(未就学児：42.2%、就学児：43.1%)が最も高く、次いで「地域医療の不足」(未就学児：34.5%、就学児：33.8%)、「子育てに関する支援サービスの不足」(未就学児：30.5%、就学児：26.5%)となっています。

○前回調査との比較をみると、就学児では「交通や買い物などが便利」が10.7ポイント高くなっています。

【未就学児】



【就学児】



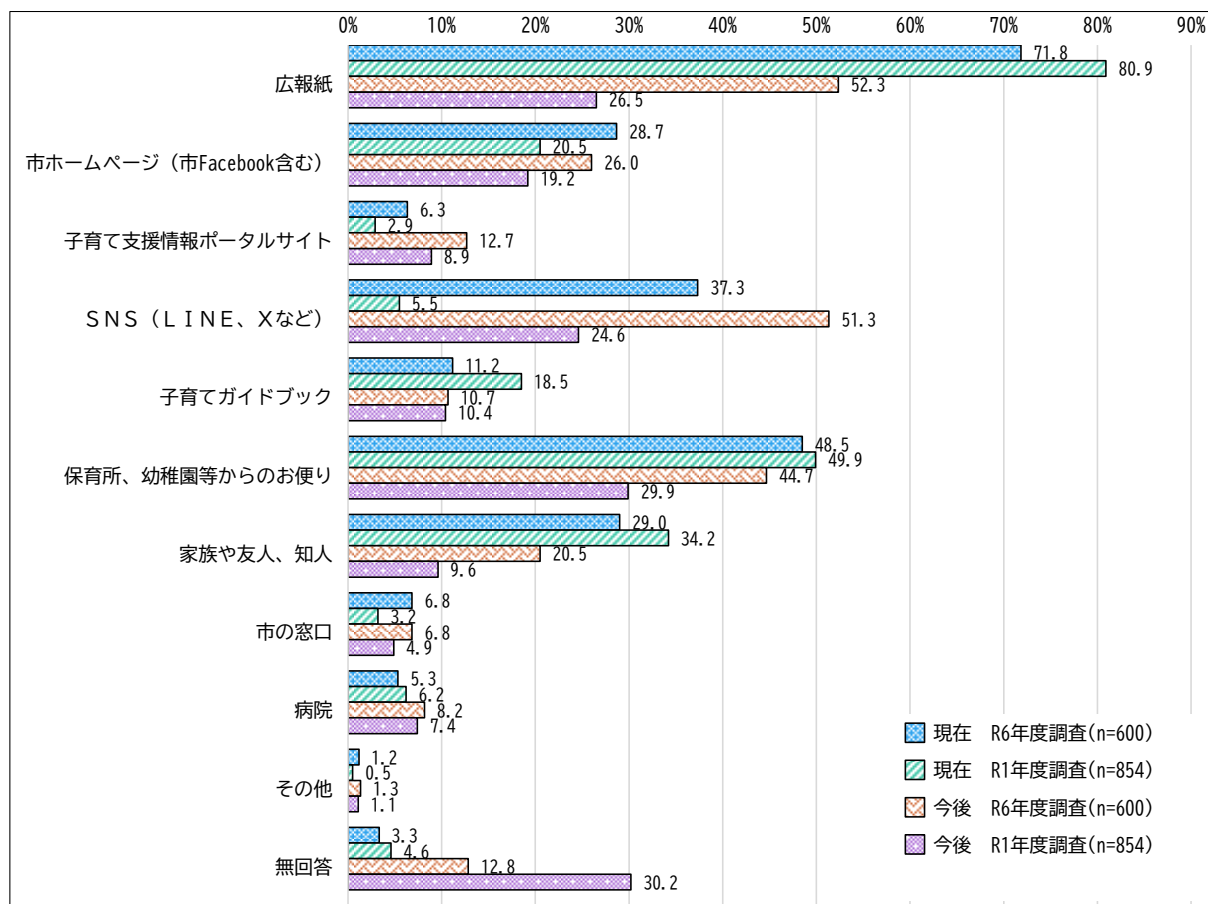
問39 子育てに関する制度、事業などの情報をどのような方法で入手していますか。
また、今後入手したいですか。(複数回答)

○情報の入手先について、未就学児及び就学児ともに「広報紙」(未就学児：71.8%、就学児：78.7%)が最も高く、次いで「保育所、幼稚園(学校)等からのお便り」(未就学児：48.5%、就学児：64.9%)となっています。

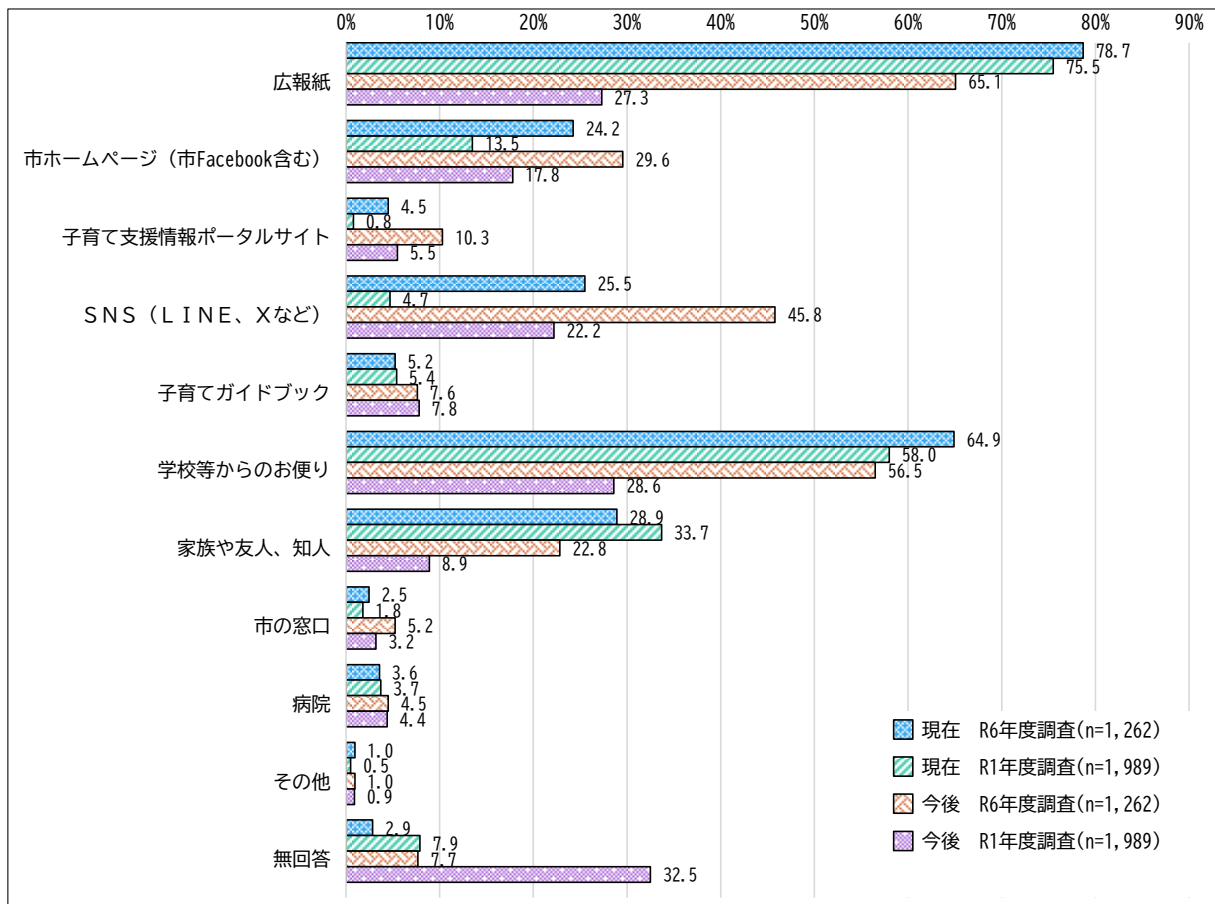
○今後の情報の入手先について、未就学児及び就学児ともに「広報紙」(未就学児：52.3%、就学児：65.1%)が最も高く、次いで未就学児では「SNS(LINE, Xなど)」が51.3%、就学児では「学校等からのお便り」が56.5%となっています。

○前回調査との比較をみると、情報の入手先について未就学児では「SNS(LINE, Xなど)」が31.8ポイント高くなっています。就学児では「市ホームページ(市Facebook含む)」「SNS(LINE, Xなど)」が10ポイント以上高くなっています。また、今後の情報の入手先について未就学児では「広報紙」「SNS(LINE, Xなど)」「保育所、幼稚園等からのお便り」「家族や友人、知人」が10ポイント以上高くなっています。就学児では「広報紙」「市ホームページ(市Facebook含む)」「SNS(LINE, Xなど)」「学校等からのお便り」「家族や友人、知人」が10ポイント以上高くなっています。

【未就学児】



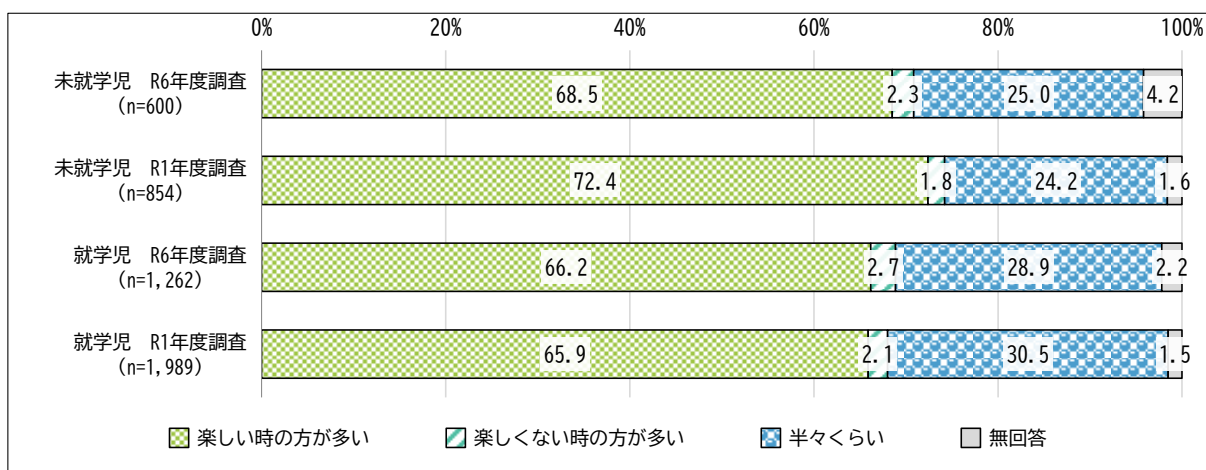
【就学児】



問 4 0 下記の各項目について、あなたの気持ちに近い番号はどれですか。
(複数回答)

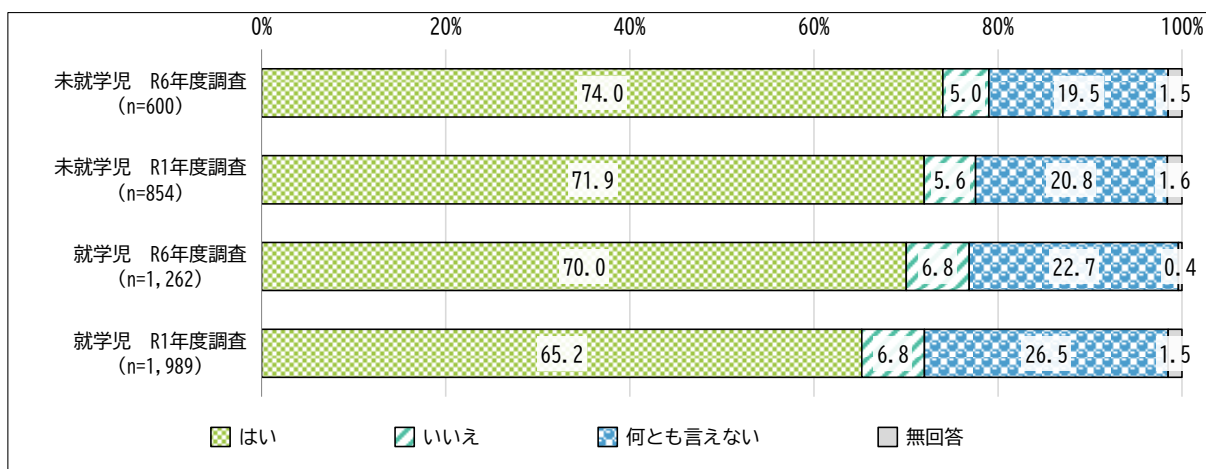
①子育ては楽しいですか

○未就学児及び就学児ともに「楽しい時の方が多い」（未就学児：68.5%、就学児：66.2%）が最も高く、次いで「半々くらい」（未就学児：25.0%、就学児：28.9%）となっています。



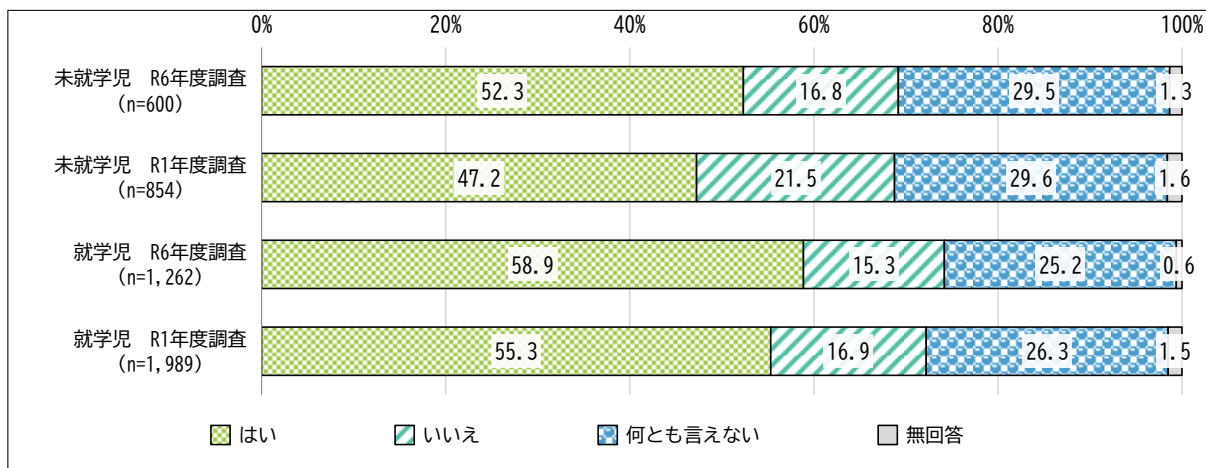
②ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか

○ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間があるかについて、未就学児及び就学児ともに「はい」（未就学児：74.0%、就学児：70.0%）が最も高く、次いで「何とも言えない」（未就学児：19.5%、就学児：22.7%）となっています。



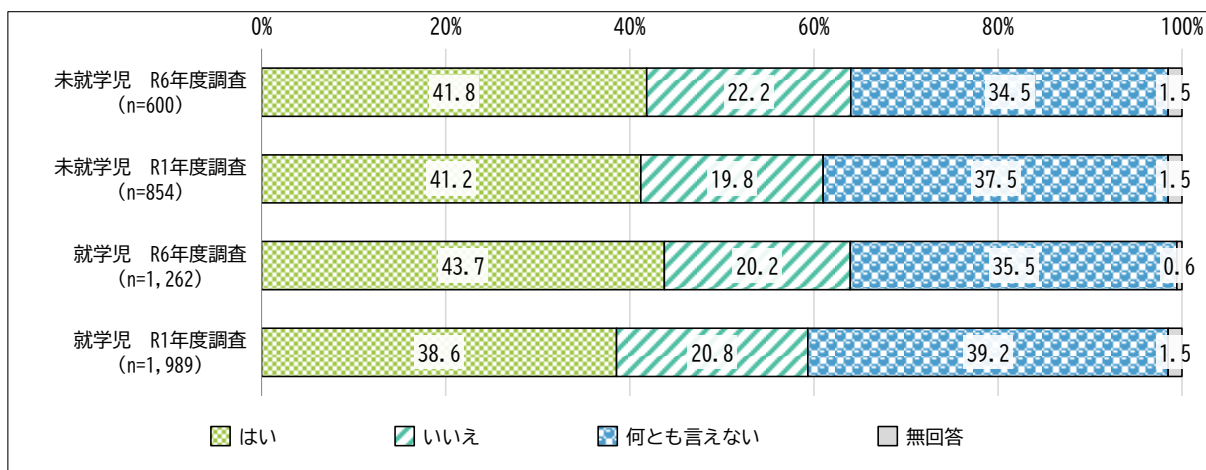
③自分のために使える時間を持てますか

○自分のために使える時間を持てるかについて、未就学児及び就学児ともに「はい」（未就学児：52.3%、就学児：58.9%）が最も高く、次いで「何とも言えない」（未就学児：29.5%、就学児：25.2%）となっています。



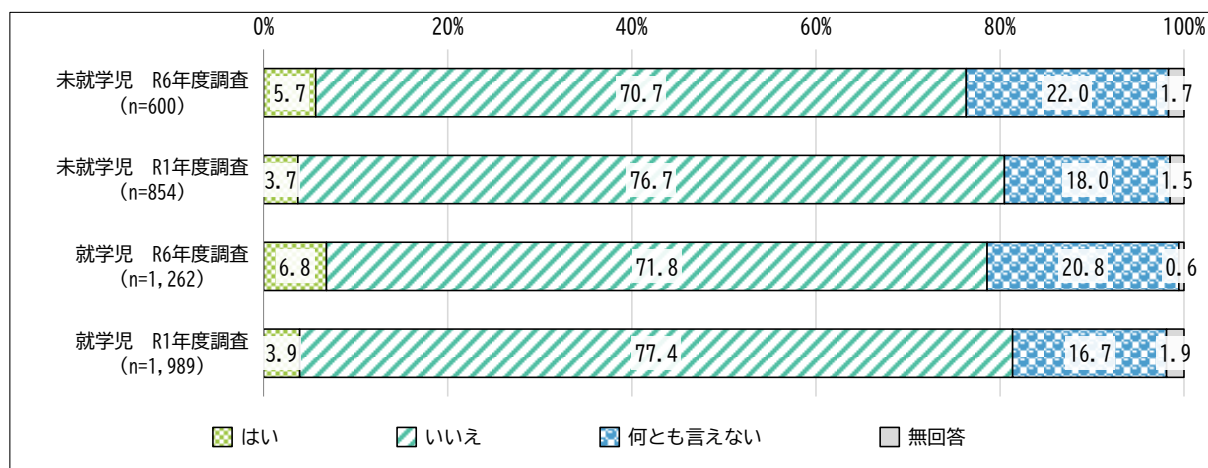
④子育てに自信が持てないことがありますか

○子育てに自信が持てないことがあるかについて、未就学児及び就学児ともに「はい」（未就学児：41.8%、就学児：43.7%）が最も高く、次いで「何とも言えない」（未就学児：34.5%、就学児：35.5%）となっています。



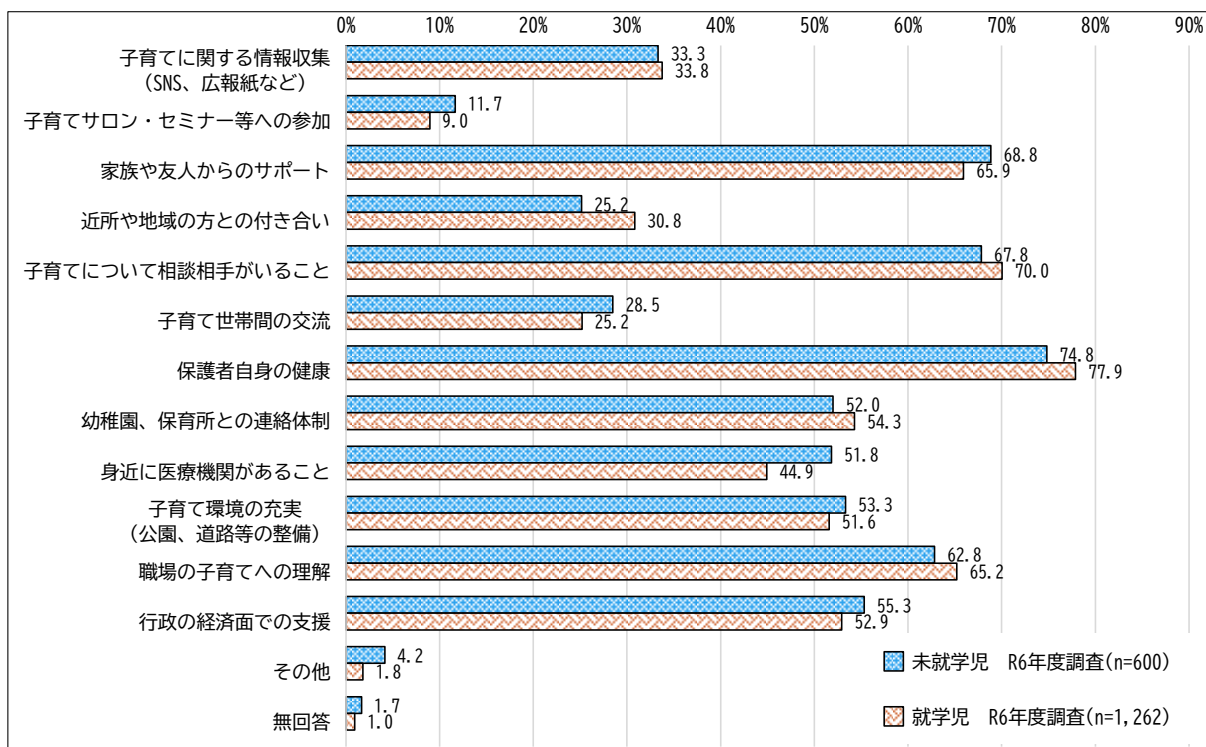
⑤子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか

○子どもを虐待しているのではないかと思うことがあるかについて、未就学児及び就学児ともに「いいえ」(未就学児：70.7%、就学児：71.8%)が最も高く、次いで「何とも言えない」(未就学児：22.0%、就学児：20.8%)となっています。



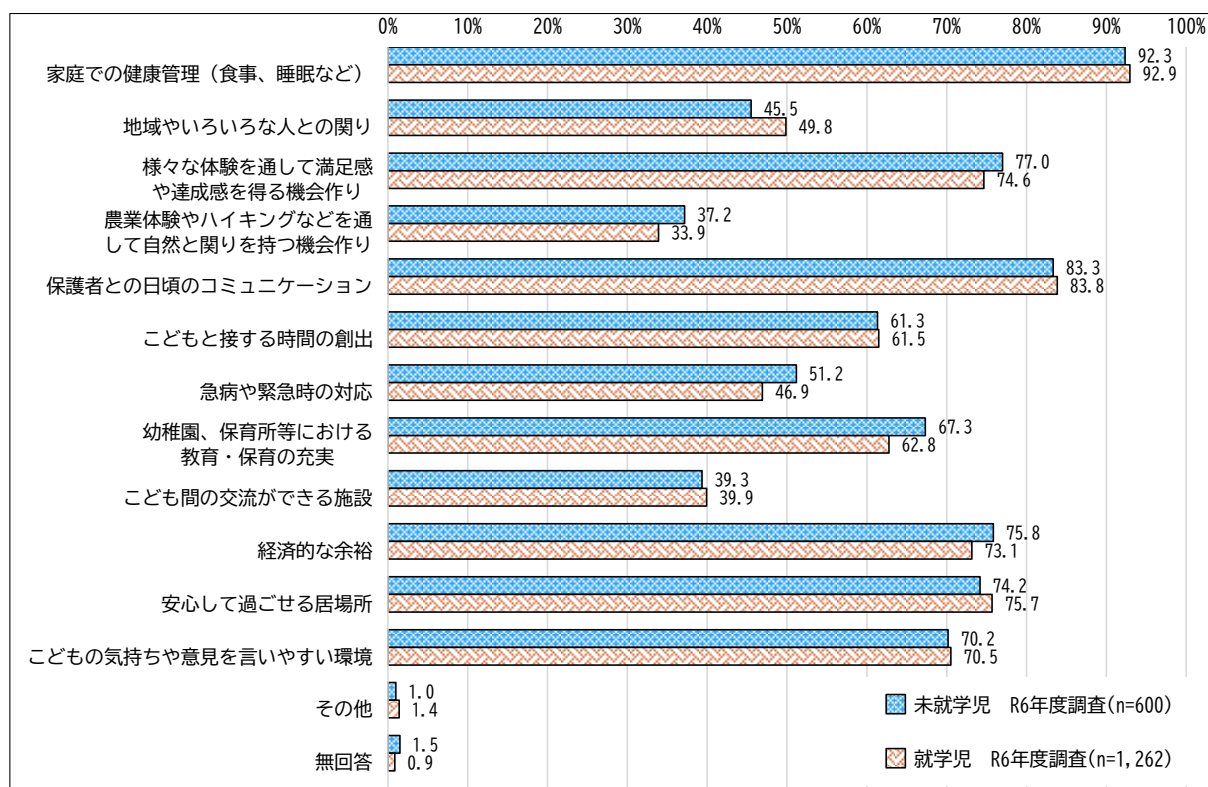
問4 1 保護者が安心して子育てするうえで大切だと思うことは何ですか。(複数回答)

○未就学児及び就学児ともに「保護者自身の健康」(未就学児：74.8%、就学児：77.9%)
 が最も高く、次いで未就学児では「家族や友人からのサポート」が68.8%、就学児で
 は「子育てについて相談相手がいること」が70.0%となっています。



問42 子どもたちが育つうえで大切だと思うことは何ですか。(複数回答)

○未就学児及び就学児ともに「家庭での健康管理（食事、睡眠など）」（未就学児：92.3%、就学児：92.9%）が最も高く、次いで「保護者との日頃のコミュニケーション」（未就学児：83.3%、就学児：83.8%）となっています。



問43 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見や、こども・子育てに関するエピソードがございましたら、ご自由にご記入ください。
(自由記述)

保育・学童施設について (112)
保育園が少ない (13)
学童保育が充実してほしい (11)
保育時間を拡大してほしい (9)
保育園への感謝 (9)
保育料無償化 (7)
病児保育が充実してほしい (6)
一時預かりが充実してほしい (6)
保育環境について (6)
保育料が高い (5)
高学年の学童保育がほしい (5)
学童が少ない (5)
保育士の待遇改善 (4)
待機児童解消 (3)
保育園の教育内容を充実してほしい (2)
きょうだいや多胎児の預かり (2)
インクルーシブ保育園
学童の地域格差をなくしてほしい
保育園や学童の入りやすさを改善してほしい
保育環境の充実
放課後の預け先を知らない
保育園の先生が怖かった
学童が高い
預けなくて済む環境
保育園が古い
学童の利用パターンを増やしてほしい
学童利用料の助成
学童役員が負担
保育園入園後の交流がない
心理職を配置してほしい
BBクラブがありがたい

医療について (93)
医療費の無償化 (25)
医療費が高い (18)
医療機関が少ない (15)
子ども医療費制度を充実してほしい (11)
インフルエンザ予防接種助成 (10)
小児の夜間・休日診療を増やしてほしい (8)
療育施設をふやしてほしい (2)
乳幼児健診
先生への感謝
身体障害者への支援が増えてほしい
個別での健診ができるようになってほしい

公園・公共施設について (92)
公園の設備が充実してほしい (14)
室内の遊び場がほしい (9)
通える施設がほしい (8)
支援センターへの感謝 (7)
施設が少ない (7)
公園の安全対策を強化してほしい (5)
支援センターが充実してほしい (5)
公園の数を充実してほしい (5)
公園の遊具が古い (2)
公民館を開放してほしい (2)
施設が古い (2)
ボールが使える場所がほしい (2)
洋式トイレの設置 (2)
安全な遊び場がほしい
公園が充実している
公園に遊具がほしい
高学年の遊び場がほしい
子どもが気軽に行ける施設がほしい
支援センターを利用したい
自習室がほしい
室内プールがほしい
自転車に乗れる場所がほしい
小学生が公園で遊べない
小学校グラウンドの設備充実
スポーツ施設がほしい
体育館が利用しづらい
トイレが汚い
バスケットゴールを設置してほしい
児童館が利用しやすい
ベビー用品店の誘致をしてほしい
複合施設がほしい
不登校児童のための施設がほしい
遊具が使えなかった

教育環境について (62)
不登校児の対応や支援について (8)
先生への感謝 (6)
保護者への連絡や対応について (5)
学校行事がない (4)
支援級・通級への理解がない (3)
三小の児童数が多すぎる (3)
学力別の対応をしてほしい (3)
教育環境整備の署名 (2)
タブレット使用について改善してほしい (2)
昼休みにサッカーができない (2)
先生の子どもへの対応 (2)
教員の環境改善 (2)
教育環境の改善 (2)
いじめ問題 (2)
教育環境の格差をなくしてほしい (2)
教員の質の向上 (2)
部活動継続の為に評価制度を設けてほしい (2)
同和教育について
修学旅行の同行ボランティアをしたい
防犯対策について
高校の学区を拡大してほしい
味坂小の児童減少
通級についての情報提供
学校以外の学習の場の整備
教員配置の改善
オンライン授業の整備
役員をなくしてほしい
検定試験の受験機会の充実

行政について (51)
行政の制度や支援への不満 (16)
行政や施設での対応への不満 (10)
アンケートの活用 (9)
小都市への意見 (6)
支援への良い意見 (3)
行政担当者への感謝 (3)
情報提供 (2)
支援の要望 (2)

子育て支援・サービスについて (42)
発達支援について (8)
子育て支援やサービスへの感謝 (5)
放課後や学校以外で過ごす場所 (5)
産後ケアについて (3)
支援を充実してほしい (3)
子どもや保護者の交流の場がほしい (2)
支援施設の設備を充実してほしい (2)
子育て支援への不満 (2)
子育て世帯全般への支援 (2)
相談機関がほしい (2)
一人親への支援
制服のリサイクルがほしい
犯罪防止の機関があるとよい
不登校支援
スポーツやパソコンの体験ができる施設がほしい
習いごとやクラブが充実してほしい
食料支援が助かっている
子ども食堂をやってほしい

経済的支援について (42)
経済的支援がほしい (23)
補助や助成 (10)
給食費無償化 (8)
非課税世帯以外への支援がほしい (5)
お金が足りない (4)
子ども手当の値上げ (3)
多胎児へのサポートがほしい
妊娠・出産時の手当がほしい
ローン払いがきつい
私立高校の所得制限をなくしてほしい
ひとり親への支援がほしい
就学援助の基準が厳しい

交通機関について (29)
通学路が不安 (6)
電車通学が不安 (6)
道路が狭い (3)
街灯がない (2)
歩道が危険 (2)
取締りを強化してほしい
道路の見通しが悪い
通学路の距離が長い
車がないと不便
横断歩道で止まらない車が多い
車のスピードが速い
バス通学ができるようになってほしい
観光バスが増えた
のろーと運行の増便
登下校の見守りを強化してほしい
フェンスを設置してほしい

地域活動や交流について (22)
PTA 活動が負担 (7)
親や子同士の関わりがない (3)
地域との交流がない (2)
地域のボランティアありがたい (2)
親同士のつながりをつくる仕組みがほしい
地域との交流が多い
交流が苦手な人も一緒に子育てを楽しみたい
子ども会を大切にしてほしい
署名活動での来宅はやめてほしい
保護者、地域、学校の連携がより重要
父親のコミュニティがほしい
一人親のコミュニティがほしい

親の就労について (10)
休暇など仕事と育児の両立がしやすい制度がほしい (3)
フルタイムで働ける環境がほしい (3)
シフトや夜勤の仕事がしやすい環境がほしい (2)
産前休暇のありかたを考えてほしい
男性社員が家庭生活に参加しやすくしてほしい

イベントについて (8)

子どもが参加できるイベントをやってほしい (4)

親子で参加できるイベントをやってほしい (2)

地域のイベントをやってほしい (2)

その他 (33)

子育て環境への意見 (9)

子どもとのコミュニケーションについて (6)

アンケート内容について (5)

防犯・防災対策について (3)

満足している (3)

近くに頼れる人がいない (2)

子育ての難しさ (2)

子どもへの支援

様々なサポートがほしい

余裕がない

